

資料 1 1 樹木調査結果

樹木診断リスト（世田谷区上用賀四丁目36番）

診断年度	樹木番号	種名	診断結果	H (cm)	W (cm)	C (cm)
R5	1	えのき	B	1200	700	193
R5	2	えのき	B	1250	900	132
R5	4	とうかえで	B	1400	1600	171
R5	5	えのき	B	1400	1060	140+89
R5	7	とうかえで	B	1500	950	190
R5	10	とうかえで	B	1400	800	180+86
R5	12	とうかえで	B	1500	1000	100+133
R5	14	えのき	A	1400	550	91
R5	15	えのき	B	1500	720	220
R5	17	えのき	B	1500	550	106
R5	19	えのき	B	1500	650	128
R5	20	とうかえで	B	1500	720	124
R5	21	とうかえで	B	1500	800	168+47
R5	22	とうかえで	B	1500	600	173
R5	24	えのき	B	1500	890	158+155
R5	25	とうかえで	B	670	560	51+68
R5	26	えのき	B	1500	1100	293
R5	27	とうかえで	B	650	620	186
R5	30	とうかえで	B	1500	690	167
R5	31	とうかえで	B	1500	520	106+62
R5	32	とうかえで	B	1500	650	48+170+66
R5	33	とうかえで	B	1500	850	68+220+90
R5	34	とうかえで	B	1500	890	210
R5	35	とうかえで	B	1500	970	122
R5	36	とうかえで	B	550	480	167
R5	37	とうかえで	B	1500	690	180+44+43
R5	38	とうかえで	B	1500	690	122+82
R5	39	とうかえで	B	1500	540	162
R5	40	いちょう	B	1500	540	230
R5	42	とうかえで	B	1500	800	255
R6	46	とうかえで	B	1200	1240	168+150+46
R6	47	えのき	B	1500	1940	220
R6	48	えのき	B	1100	980	149+78
R6	51	とうかえで	B	1300	820	148
R6	52	さくら	B	1100	610	112
R6	55	はりえんじゅ	C	850	750	103
R6	59	とうかえで	B	850	850	132
R6	64	さくら	C	450	430	128
R6	65	えのき	B	1000	750	103
R6	66	はりえんじゅ	C	1250	650	121
R6	71	はりえんじゅ	B	1500	1970	375
R6	73	とうかえで	B	900	940	211
R6	75	はりえんじゅ	A	1900	1040	164
R6	76	はりえんじゅ	A	1900	1520	185
R6	126	さくら	B	1200	1600	218+240

R6	135	さくら	B	1100	1430	265
R6	156	とうかえで	B	1100	1130	300
R6	160	えのき	B	900	1370	167
R6	163	えのき	B	800	1230	146
R6	164	さくら	B	800	1420	190+127
R6	166	ひまらやすぎ	B	2000	700	245
R6	167	ひまらやすぎ	B	2100	700	310
R6	168	えのき	B	900	920	140
R6	179	さくら	C	1500	1200	280
R6	182	えのき	C	1500	980	132
R6	188	えのき	B	1300	1450	200
R6	189	はりえんじゅ	B	1100	670	114
R6	199	さくら	B	1300	1980	348
R6	202	さくら	B	830	1650	300
R6	214	さくら	B	950	770	176
R6	215	えのき	B	1100	1360	142
R6	216	えのき	B	1700	1390	252
R6	217	もちのき	C	900	580	102+80+102
R6	223	すだじい	B	1200	1270	263
R6	224	すだじい	B	1150	930	131
R6	225	もちのき	C	1150	650	119+137+57
R6	226	すだじい	B	1200	430	143
R6	227	すだじい	C	1200	880	202
R6	228	あかまつ	B	1750	660	205
R6	229	けやき	B	1200	700	144
R6	230	すだじい	B	1500	900	161
R6	233	あかまつ	B	1900	860	170
R6	234	すだじい	B	1600	500	190
R6	236	けやき	B	900	950	139
R6	239	ひまらやすぎ	B	2100	750	288
R6	240	ひまらやすぎ	B	2100	710	272
R6	241	えのき	B	2100	1270	228
R6	242	ひまらやすぎ	B	2000	620	237
R6	243	ひまらやすぎ	B	2000	720	251
R6	244	もみじ	B	570	930	107
R6	245	えのき	B	2000	1570	284
R6	246	すだじい	B	1250	890	153
R6	247	すだじい	B	1350	1120	186
R6	248	すだじい	B	1700	1500	242
R6	249	すだじい	B	1450	1120	186
R6	250	すだじい	B	1700	2100	344
R6	251	さくら	C	800	790	142
R6	252	すだじい	B	1200	1550	229
R6	253	ひまらやすぎ	B	2000	800	270
R6	256	さくら	B	850	1000	138
R6	257	えのき	B	850	940	88+77
R6	258	とどまつ	B	700	380	62

R6	259	えのき	A	950	830	96
R6	260	かき	B	900	730	67
R6	261	えのき	B	1000	500	98
R6	262	かき	B	700	430	54
R6	263	さくら	C	1300	1580	260
R6	267	もちのき	C	600	550	106
R6	272	はりえんじゅ	B	900	450	43
R6	273	さくら	C	950	820	114
R6	275	もちのき	C	830	350	87
R6	277	さくら	B	1150	990	179
R6	289	もみじ	C	980	1100	98+61+105
R6	290	えのき	B	1500	1280	170
R6	291	けやき	B	1800	1870	245
R6	294	さくら	B	1250	1430	278
R6	297	えのき	B	1600	1800	278
R6	301	ひのき	C	1150	380	107
R6	302	さくら	B	1200	940	300
R6	304	さくら	C	520	530	135
R6	305	さくら	B	1100	1350	280
R6	318	くぬぎ	B	1900	1140	220
R6	319	さくら	C	1100	1000	339
R6	323	さくら	C	1000	1130	299
R6	324	さくら	C	1000	850	172
R6	326	さくら	B	1000	750	104
R6	327	さくら	B	900	570	73
R6	328	さくら	B	900	500	80
R6	329	さくら	B	800	750	88
R5	402	とうかえで	B	550	450	86
R5	403	とうかえで	B	450	370	85

診断結果

	A	B	C	合計
R5	1	31	1	33
R6	3	67	19	89
数量	4	98	20	122

凡	例
多角点	●
境界線	田
止水平	○ 止
湧水	○
下水	○
雨水	○
マンホール	○
制水弁	○ 弁
N・T	○
電気	○
電柱	○
電話柱	●
街路灯	○ 灯
(花壇)	(花)
消火栓	F
家屋	■
無雪倉	■
コンクリート壁	■
コンクリート壁	■
木戸	■
垣牆	■
生垣	■
フェンス	■
有刺鉄線	■
コンクリート護岸	■
石積護岸	■
開口ブロック	■
側溝	■
法面	■
崩土	■
土留め	■
ガードレール	■
遮断線	■
地籍界	■
緑地界	■
水田	■ ■
稲	■ ■
桑畑	■ ■
果樹園	■ ■
菜畑	■ ■
庭木	■ ■
荒地	■ ■
竹垣地	■ ■
針葉	■ ■
広葉	■ ■
やし科樹木	■ ■
針葉樹林	A A
広葉樹林	o o
草地	■ ■
陸段	■ ■
交通標識	■ ■
信号機	■ ■
記念碑	■ ■
立像	■ ■
カーブミラー	■ ■
駐	■ ■
案内標識	■ ■
掲示板	■ ■
アスファルト	A S
入り込み柱	○
低木(柵)目	■ ■

11

総評：

1. NO 1 ～NO14・NO24～NO27 の樹木は歩道脇、大谷石の擁壁上に植栽されている為、根鉢が確保できず移植不可の樹木が多い。

歩道脇の為、枯れ枝の処置を至急行った方が、良い。
2. NO31～NO72 の樹木は隣の樹木との間隔が近く根が競合している為、根鉢が確保できず移植不可の樹木が多い。

一部根元にササが密に生えている場所がある為、一緒に移植先にササを移動させない様に処置が大事である。
3. NO84～NO89 の樹木は、高い擁壁脇に植栽されていて、根鉢が確保できない為、すべて移植不可であるが、その内の NO84、NO85 のサクラは、被害が著しい為、早急に対処をした方が良い。
- 5.今回は根鉢径が確保できる為、移植可にした樹木があるが、周囲に実生木、根元にササが密に生えているものもある為、一緒に移植先にササを移動させない様に処置が大事である。
4. NO20、NO28、NO29 のさくらは、開口空洞等の被害は著しくなく、根鉢の確保もできるが、腐朽力の高いマンネンタケ・ベッコウタケが発生している為、精密診断の結果移植の可否を決定したほうが良い。

5. 全体的に実生木やササが根元に多数ある為、伐採等の処置が必要であり、枯れ枝も全体的に目立つ為、早めの枯枝の処置が必要である。

6. 土壌の状態は、測点 1, 3 箇所は粘性土もなく樹木の生育に適した黒土（畑土）である。

測点 2 箇所は、全体的に赤土（植込地用土）であった。

測点 4 箇所は 10～20 c m に多少砂利を確認したが、そのほかは、黒土（畑土）であった。

この為、全体的には樹木の生育に概ね問題の無い土壌である。

7. 樹木が密集している既存樹林内の樹木（NO31～69）について、このまま残していく為には、どのような状況で残していきたいかによりますが、現状では被圧を受けた樹木や枯枝が多い樹木が多い為、間伐や支障枝剪定を行い樹林の中に日が入る様にして、樹木の生育に良好な環境に整備することが、大事だと思います。

但し急に環境を変えると、樹木の生育に影響を与える場合がありますので、作業する時期に留意する必要があると思います。（例えば、寒い時期に常緑樹の強剪定を施工するなど）

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和5年度
樹 木 No.	T1 えのき
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和6年3月13日
点 検 者 名	竹内克己

<現況写真>



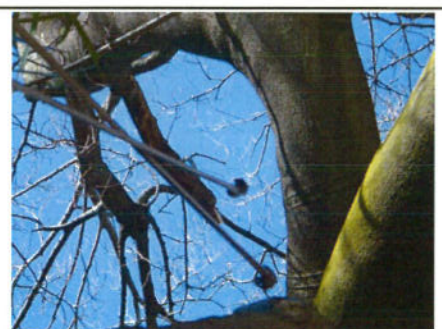
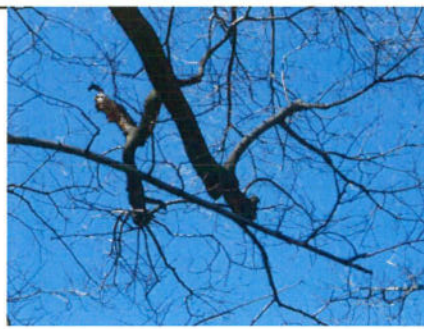
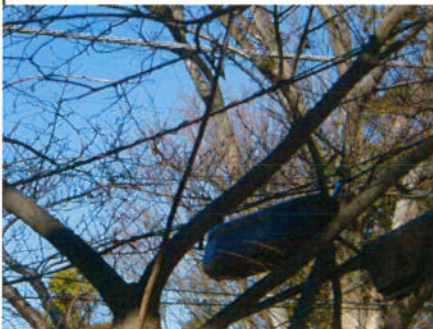
樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	えのき	樹木番号	T1
形状寸法	幹周り 193 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 電線と接触、枯枝があり剪定が必要(①②写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①電線接触あり

②枯枝

③主幹欠損部からの樹皮欠損

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T2 えのき
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	えのき	樹木番号	T2
形状寸法	幹周り 132 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
マンション側に枝が越境しているので剪定要。			
また、隣のシュロの木が接触しているので伐採要			
(③写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞

②枯枝 マンション側越境

③シュロの木

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度	
樹木 No.	T4 とうかえで	
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番	
点検日	令和6年3月13日	
点検者名	竹内克己	

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T4
形状寸法	幹周り 171 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
T5,T7の根と融合あり。			
また、融合している桜の枯木の伐採要			
(④写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)			(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)			約 cm

現況写真(異常箇所)



①ほぼ枯死している ②同上 ③同上 ④桜の枯木

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和5年度
樹 木 No.	T5
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和6年3月13日
点 検 者 名	竹内克己

<現況写真>



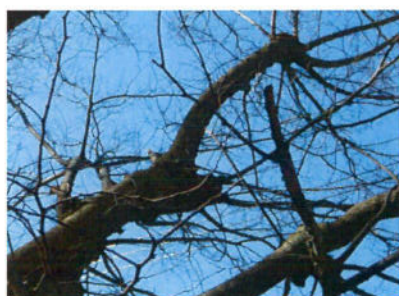
樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	えのき	樹木番号	T5
形状寸法	幹周り 140+89 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 歩道上の枯枝の剪定要 隣の期の枝との融合あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

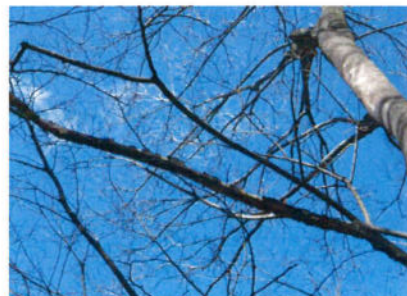
現況写真(異常箇所)



①枯死



②枝の融合



③枯枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T7 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T7
形状寸法	幹周り 190 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
欠損あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①欠損



②同上

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T10 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



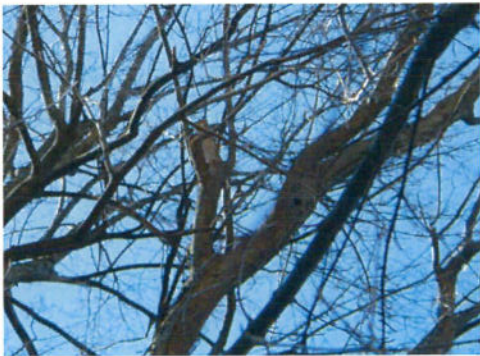
樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T10
形状寸法	幹周り 180+86 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯れ枝、枝割れあり。 融合している桜の木の枯死が進行しているので伐採要 (③写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 枯れ枝あり



② 同上



③ 桜の枯死

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T12 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



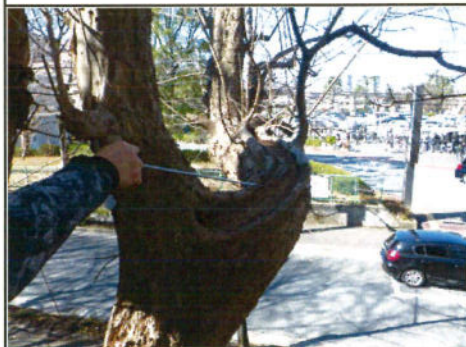
樹木点検調査シート

みどり政策課

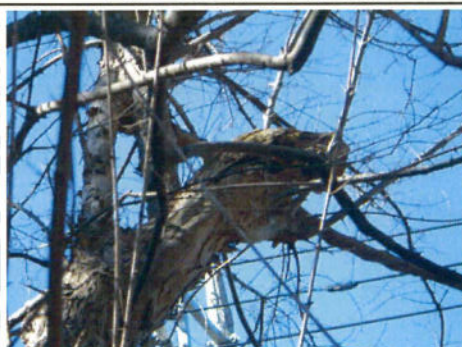
樹種名	とうかえで	樹木番号	T12
形状寸法	幹周り 100+133 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 T13の桜の木と幹が接触しているので伐採要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

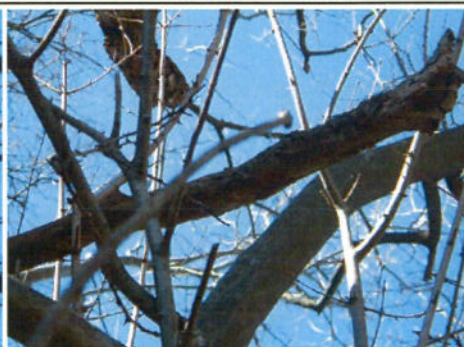
現況写真(異常箇所)



①開口空洞



②枯死



③枯枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T14 えのき
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

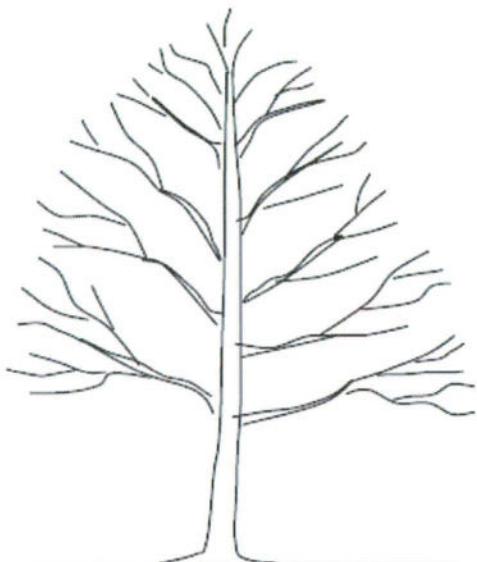
<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	えのき	樹木番号	T14
形状寸法	幹周り 91 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)	
全体	①開口空洞はないか		立面図 	
	②キノコがはえていないか			
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか			
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)			
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)			
幹・根元	④木を押したら揺れないか			
	⑤不自然に幹が傾いていないか			
枝	⑥枯れている枝がないか			
	⑦枝の分岐部に異常がないか			
	⑧建築限界を超えている枝はないか			
特記事項		※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。		
問題なし				
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)		
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm		

現況写真(異常箇所)

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A・B・C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可・不可・要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和5年度
樹 木 No.	T15 えのき
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和6年3月13日
点 検 者 名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	えのき	樹木番号	T15
形状寸法	幹周り 220 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 実生樹のクスノキとネズミモチがあるので伐採要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞



②枯死

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T17 えのき
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

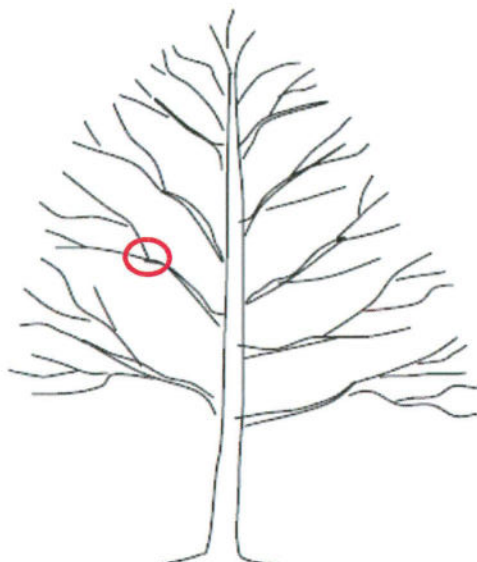
<現況写真>



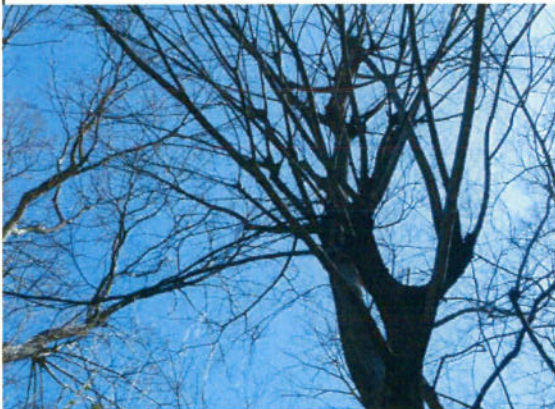
樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	えのき	樹木番号	T17
形状寸法	幹周り 106 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
枯枝あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



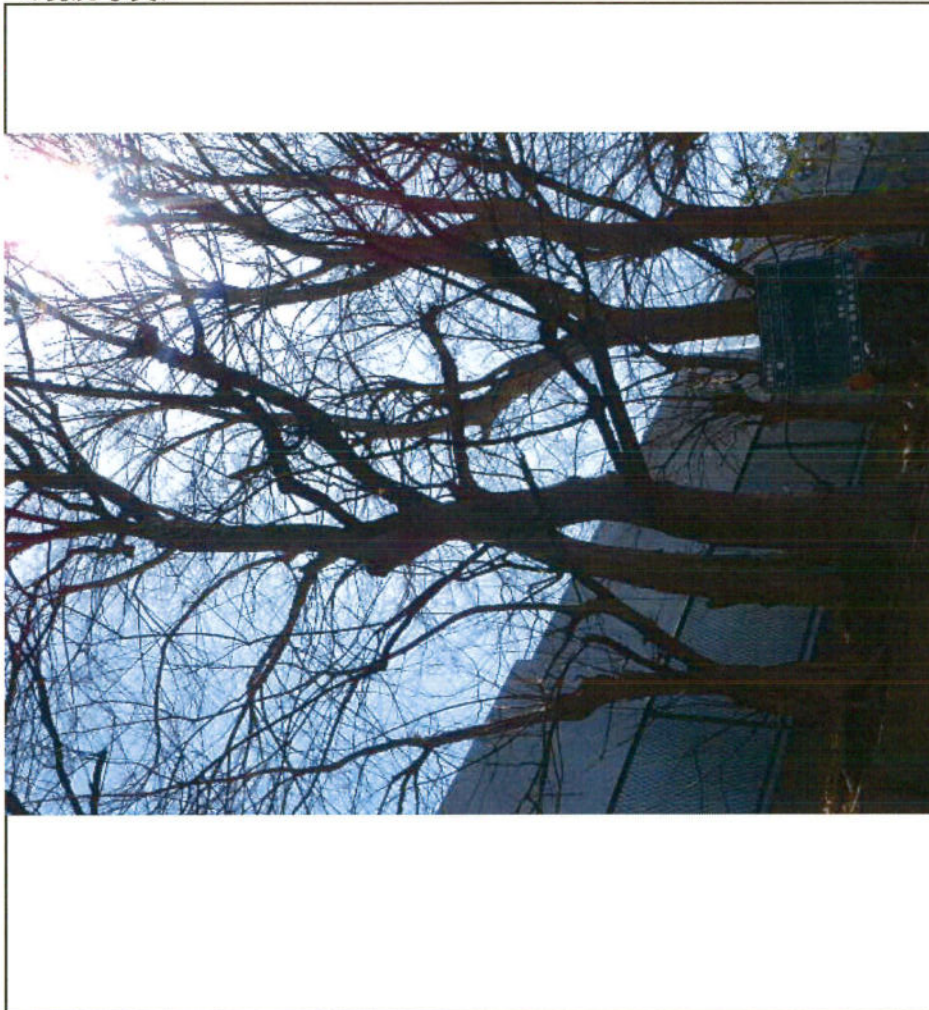
枯枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	四方に根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T19 えのき
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



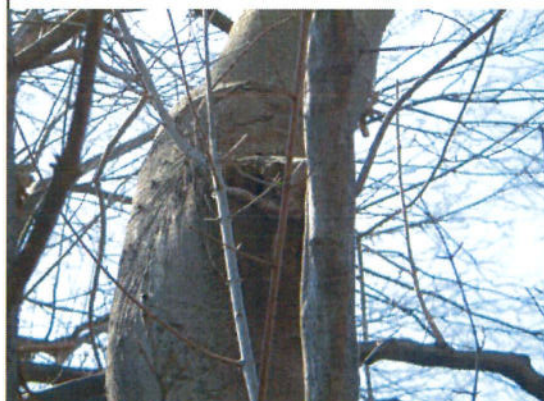
樹木点検調査シート

みどり政策課

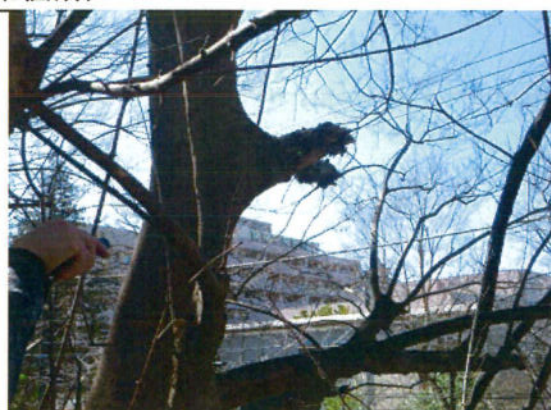
樹種名	えのき	樹木番号	T19
形状寸法	幹周り 128 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 20センチ程の枯枝があり剪定要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞あり



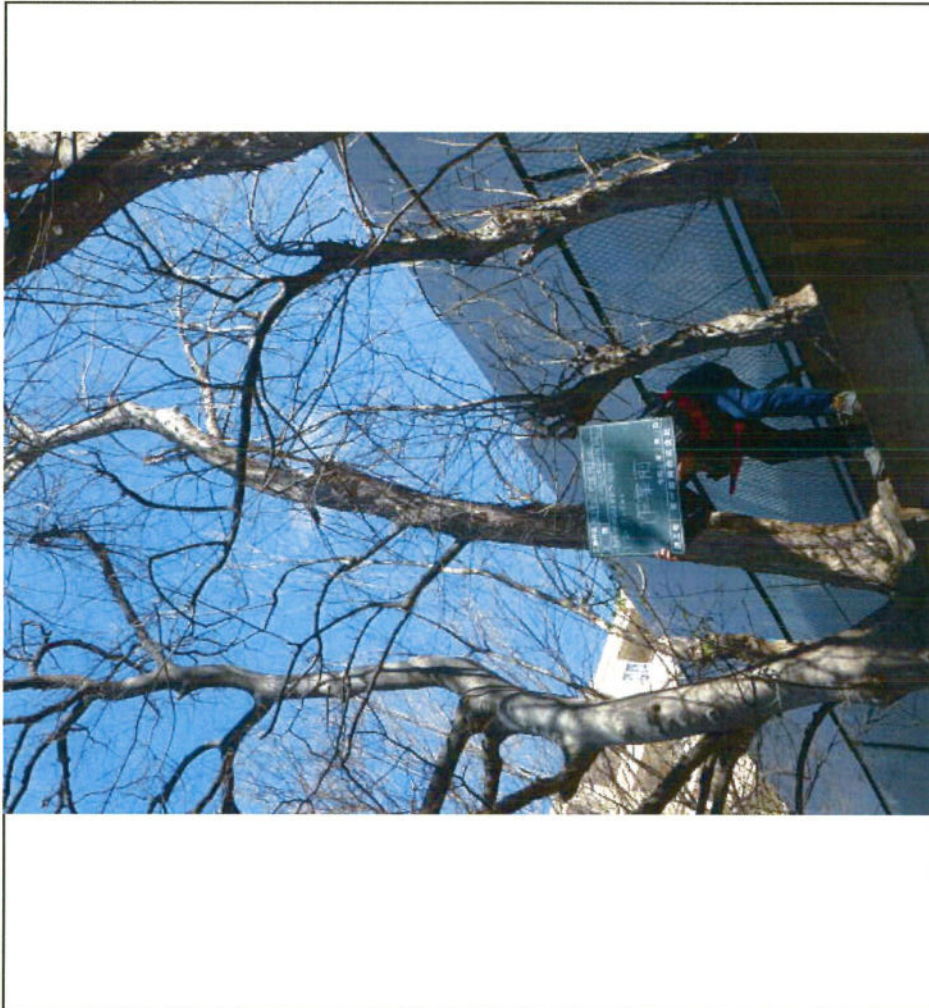
②枯枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和5年度
樹 木 No.	T20 とうかえで
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和6年3月13日
点 検 者 名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T20
形状寸法	幹周り 124 cm		

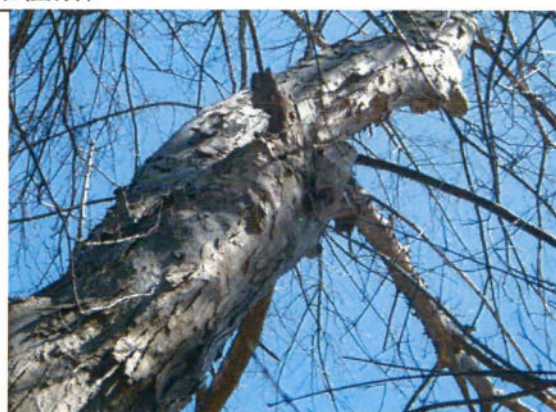
箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
樹皮の腐朽あり	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 10 cm

現況写真(異常箇所)



①開口空洞



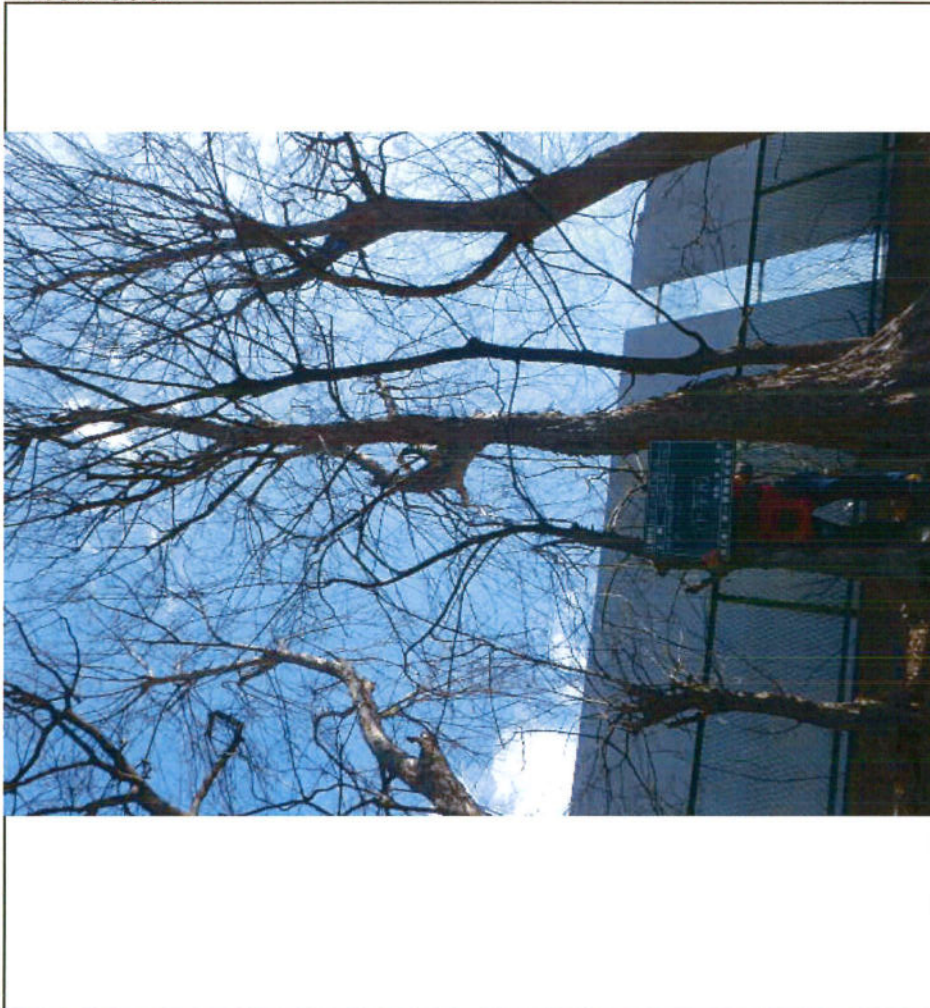
②腐朽

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T21 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



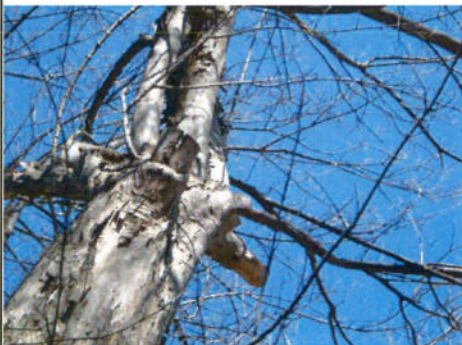
樹木点検調査シート

みどり政策課

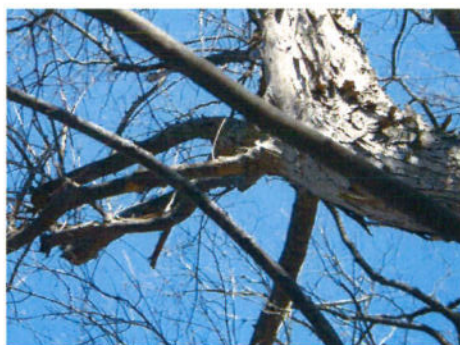
樹種名	とうかえで	樹木番号	T21
形状寸法	幹周り 168+47 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 樹皮の腐朽あり、また融合しているエノキの伐採要 (③写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①枯枝



②樹皮の腐朽



③融合しているエノキ

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T22 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T22
形状寸法	幹周り 173 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯枝あり剪定要。			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 15 cm	

現況写真(異常箇所)



診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T24 えのき
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

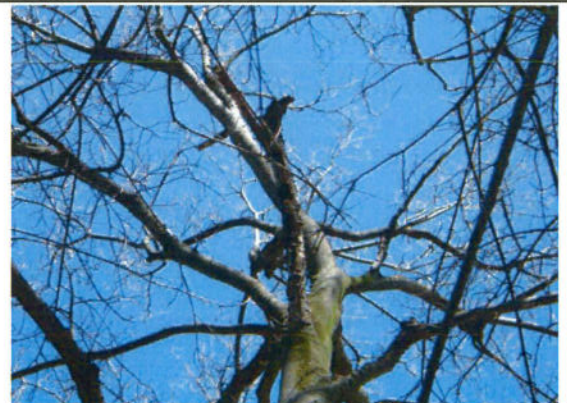
樹種名	えのき	樹木番号	T24
形状寸法	幹周り 158+155 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 歩道側の20センチ程の枯枝剪定要 (①写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①②枯枝



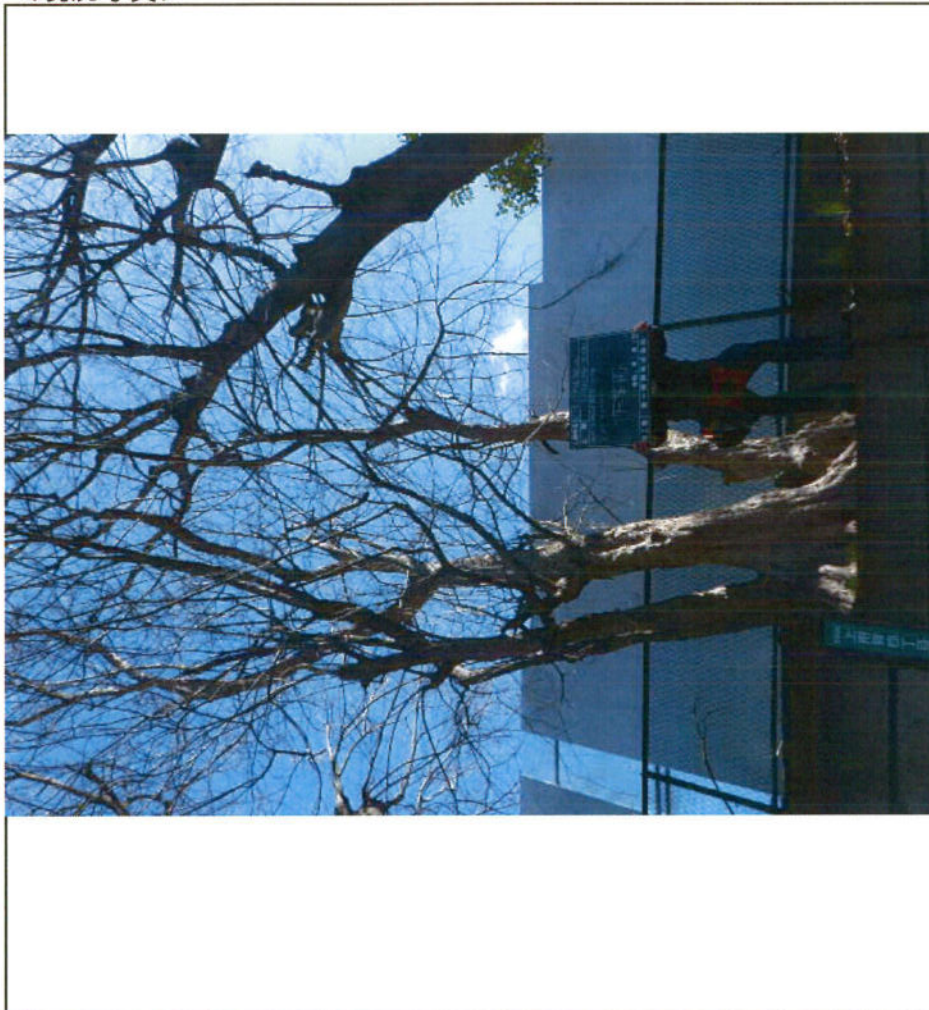
③同上

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T25 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	どうかえで	樹木番号	T25
形状寸法	幹周り 51+68 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
枯枝、腐朽あり剪定要 また、20センチほどのかかり枝があるので撤去要 (③写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①枯枝 腐朽

②開口空洞あり

③かかり枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T26 えのき
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	えのき	樹木番号	T26
形状寸法	幹周り 293 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯れ枝あり剪定要 となりに実生樹があるので伐採要 (④写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①枯枝

②同上

③同上

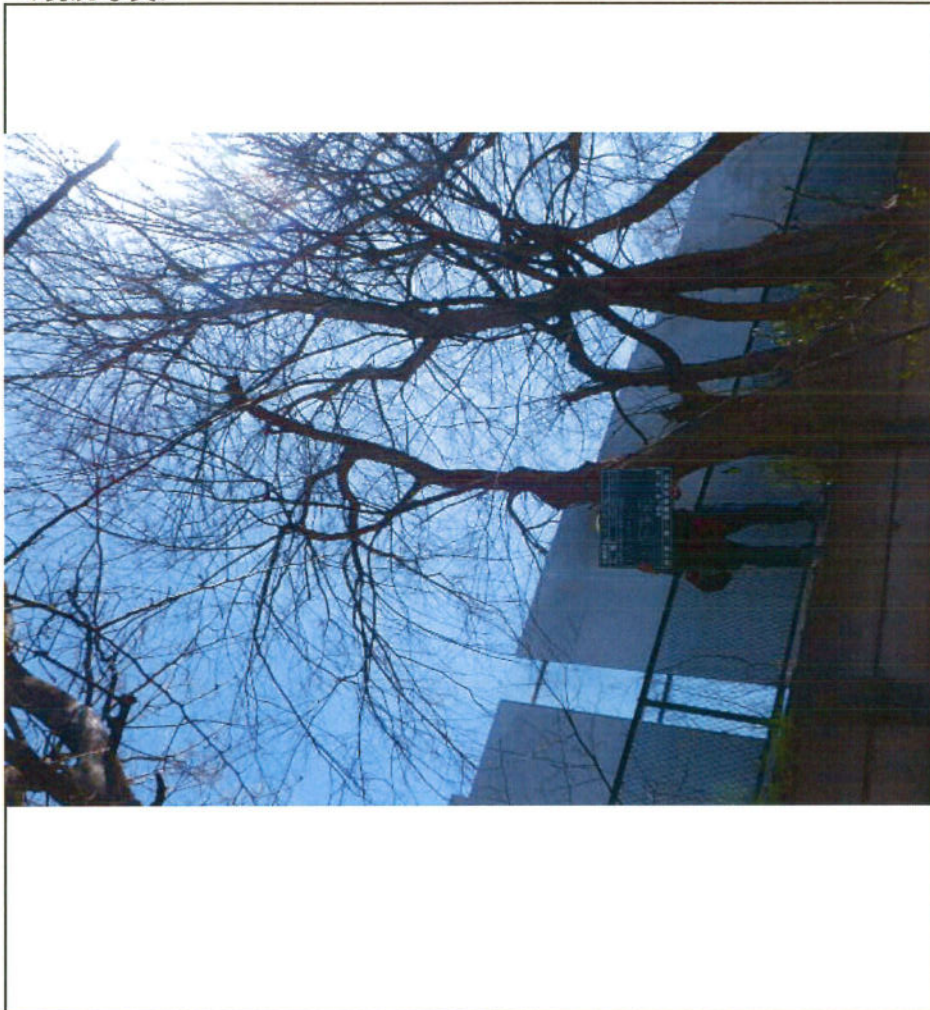
④実生樹

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T27 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

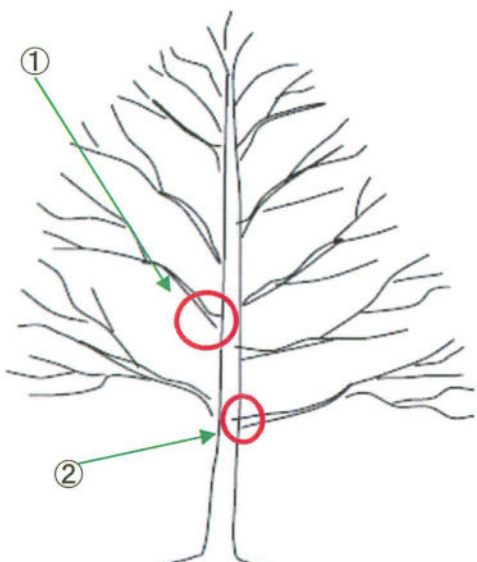
<現況写真>



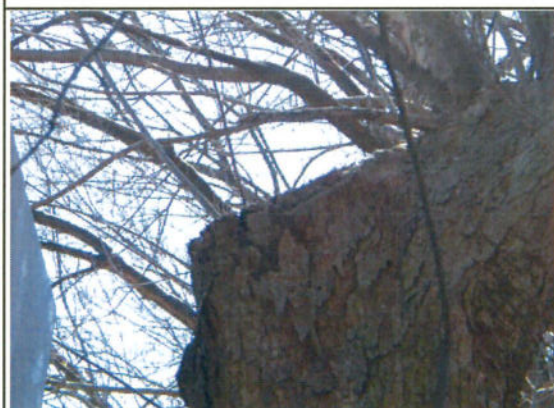
樹木点検調査シート

みどり政策課

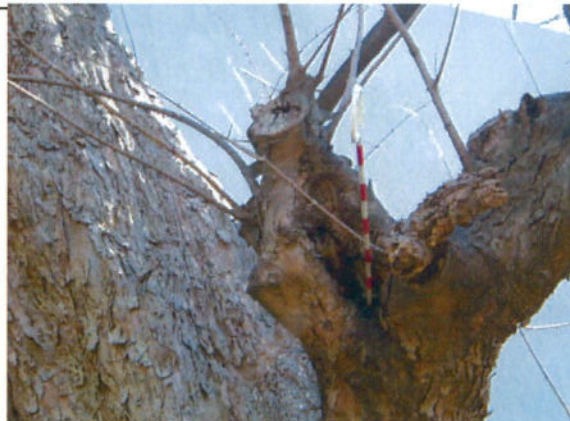
樹種名	とうかえで	樹木番号	T27
形状寸法	幹周り 186 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 開口空洞があり、枯損からの腐朽がみられる。			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 13 cm	

現況写真(異常箇所)



①切り口からの腐朽



②開口空洞

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T30 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

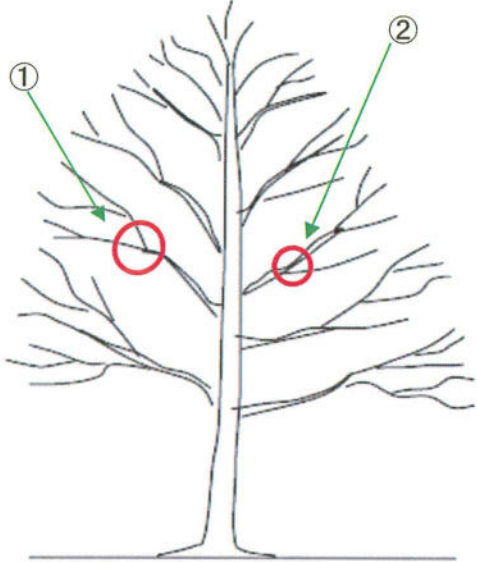
<現況写真>



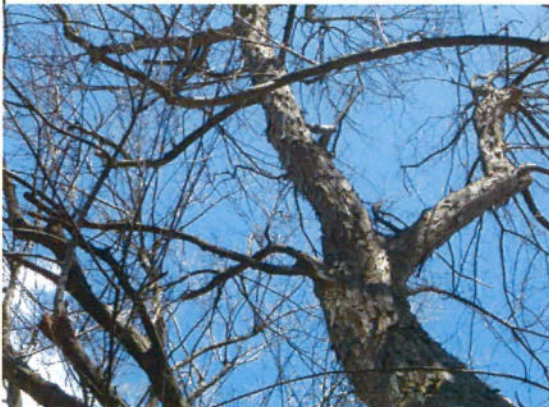
樹木点検調査シート

みどり政策課

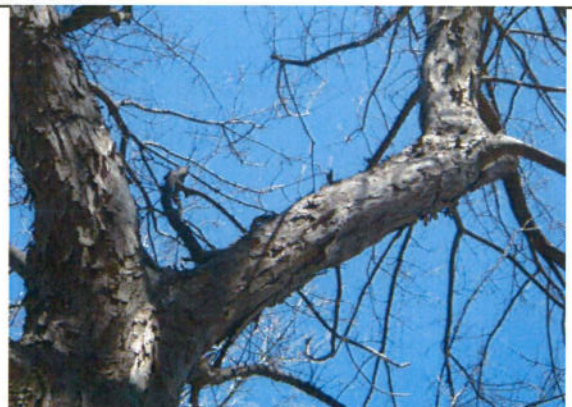
樹種名	とうかえで	樹木番号	T30
形状寸法	幹周り 167 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯枝あり剪定要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①枯枝



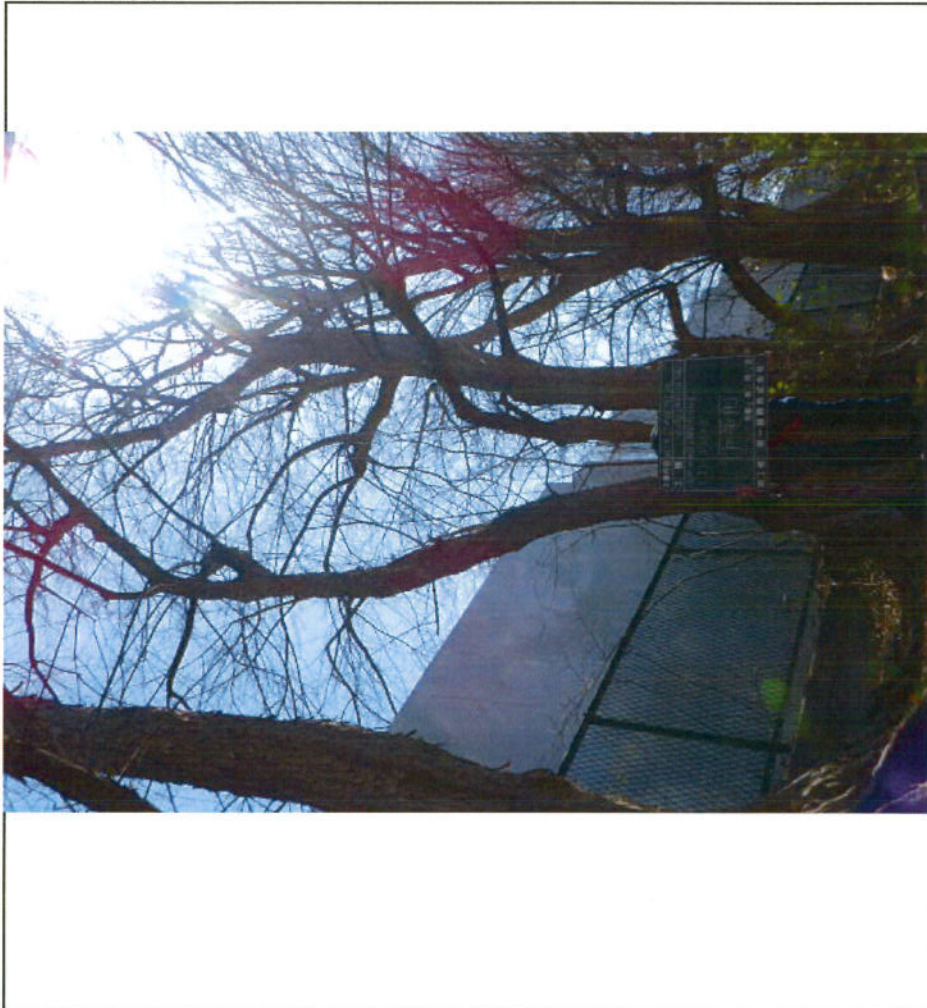
②同上

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T31 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



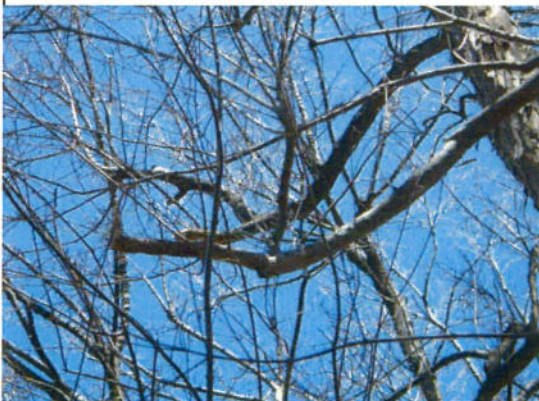
樹木点検調査シート

みどり政策課

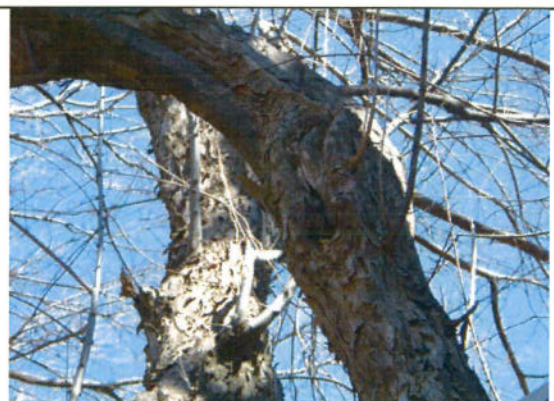
樹種名	とうかえで	樹木番号	T31
形状寸法	幹周り 106+62 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯れ枝あり剪定要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①枯枝



②開口空洞

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T32 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T32
形状寸法	幹周り 48+170+66 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 樹皮の腐朽あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

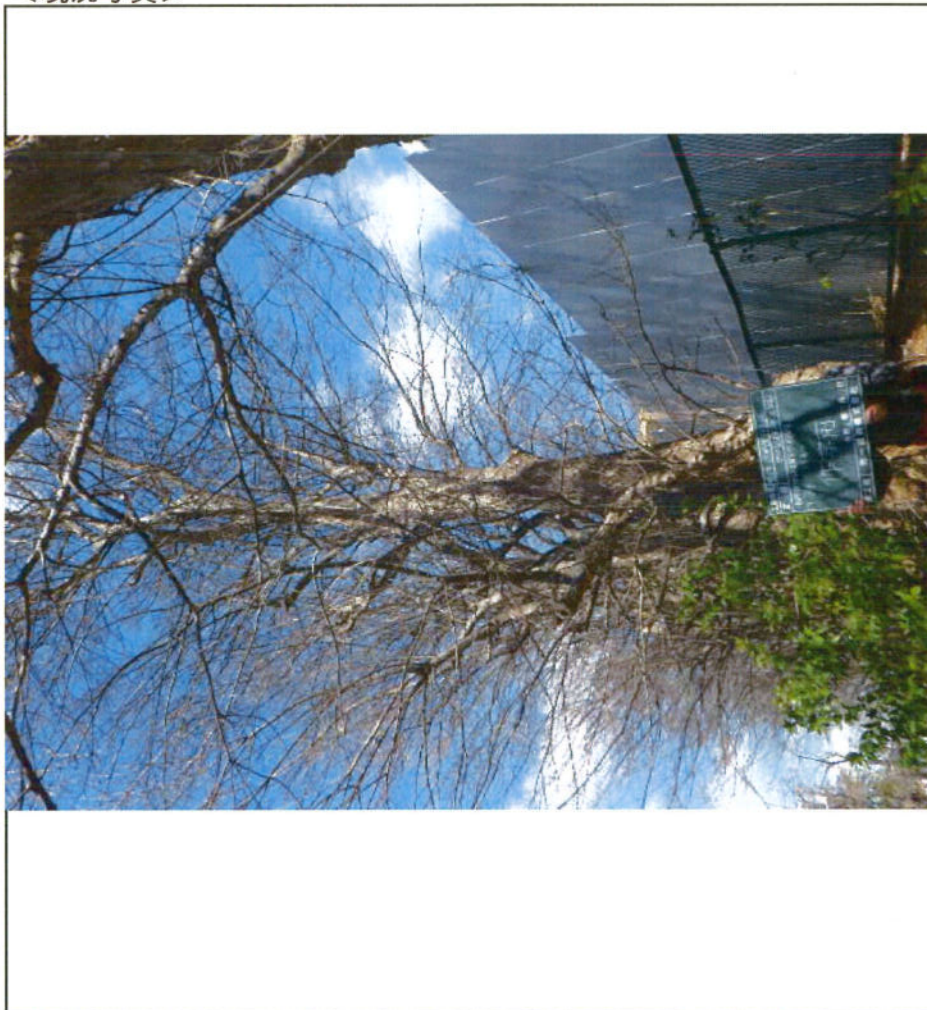


診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和5年度
樹 木 No.	T33 とうかえで
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和6年3月13日
点 検 者 名	竹内克己

<現況写真>



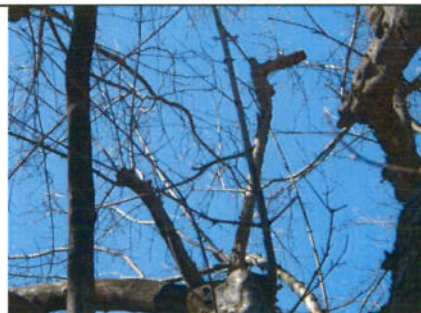
樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	どうかえで	樹木番号	T33
形状寸法	幹周り 63+220+90 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯死から腐朽がみられツルの絡まりがある。 実生樹のネズミモチの伐採要。(③写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①枯死からの腐朽とツルの絡まり

②枯枝

③実生樹

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	四方に根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T34 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

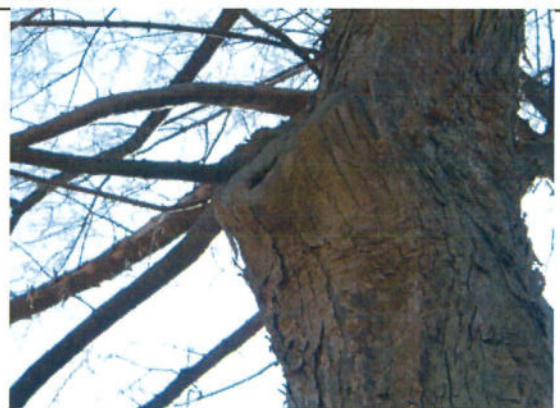
樹種名	とうかえで	樹木番号	T34
形状寸法	幹周り 210 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 開口空洞あり。			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞あり



②同上

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	四方に根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T35 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

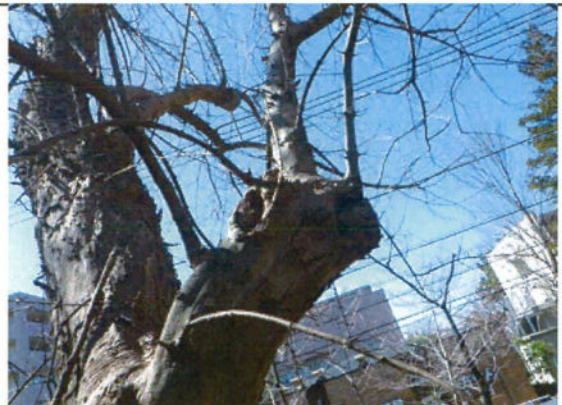
樹種名	とうかえで	樹木番号	T35
形状寸法	幹周り 122 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 根元に開口空洞あり将来的に倒木の可能性があるので経過観察が必要。			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 10 cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞



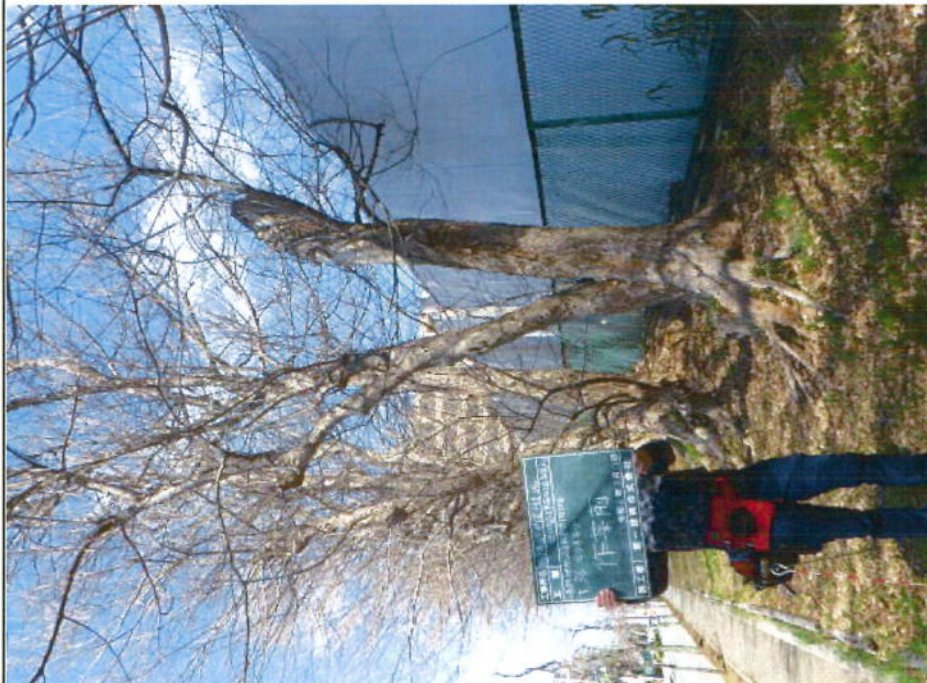
②樹皮の腐朽

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T36 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とかえで	樹木番号	T36
形状寸法	幹周り 167 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
枯死から腐朽がみられるためキノコがある幹は伐採要。			
(②写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①キノコと枯死から腐朽がみられる



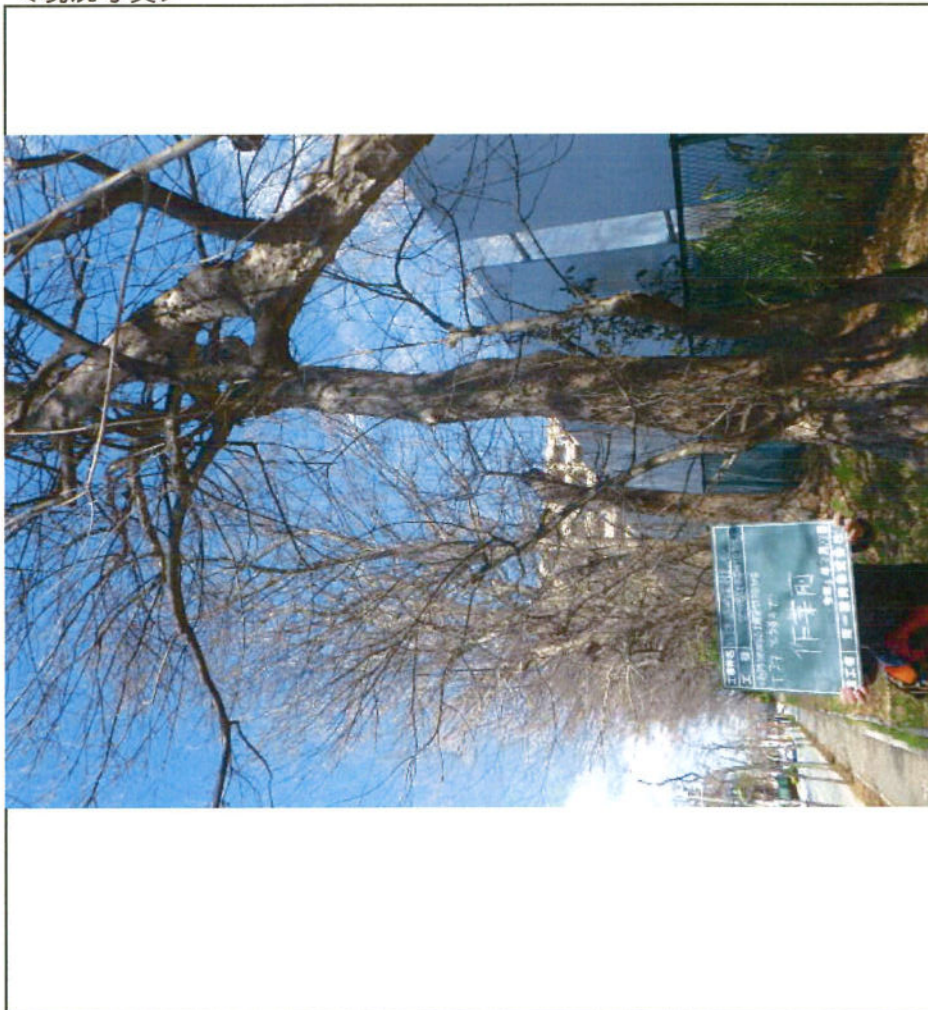
②キノコのある幹

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	四方に根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T37 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



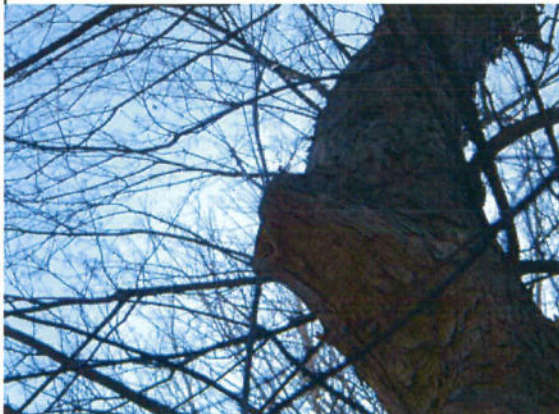
樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T37
形状寸法	幹周り 180+44+43 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
樹皮の腐朽あり。			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞



②樹皮腐朽

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	四方に根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T38
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

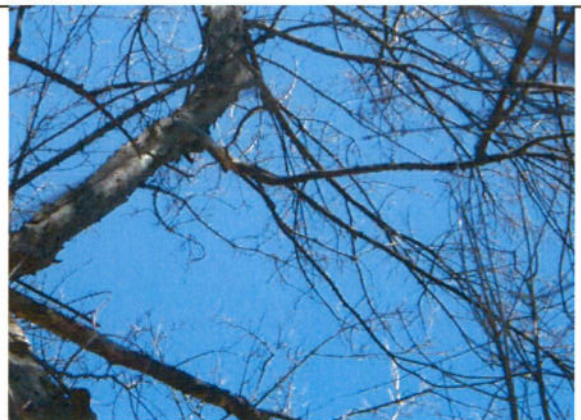
樹種名	とうかえで	樹木番号	T38
形状寸法	幹周り 122+82 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 開口空洞あり、枯枝が歩道側にあるので剪定要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 8 cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞



②枯枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	四方に根が露出しており根鉢径の確保が困難。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T39 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	どうかえで	樹木番号	T39
形状寸法	幹周り 162 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 全体的に枯枝が多いので早めに剪定要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

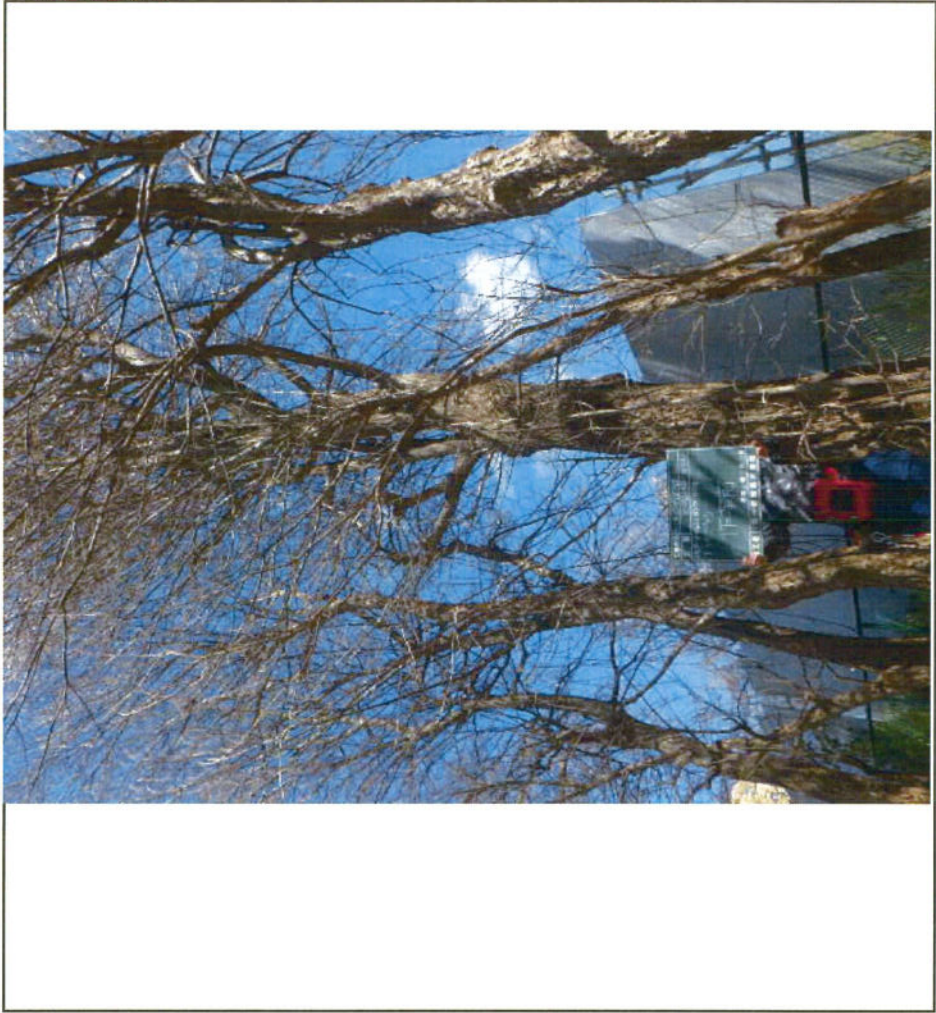


診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和5年度
樹 木 No.	T40 いちょう
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和6年3月13日
点 検 者 名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	いちよう	樹木番号	T40
形状寸法	幹周り 230 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
開口空洞あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)			(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)			約 cm

現況写真(異常箇所)



①開口空洞



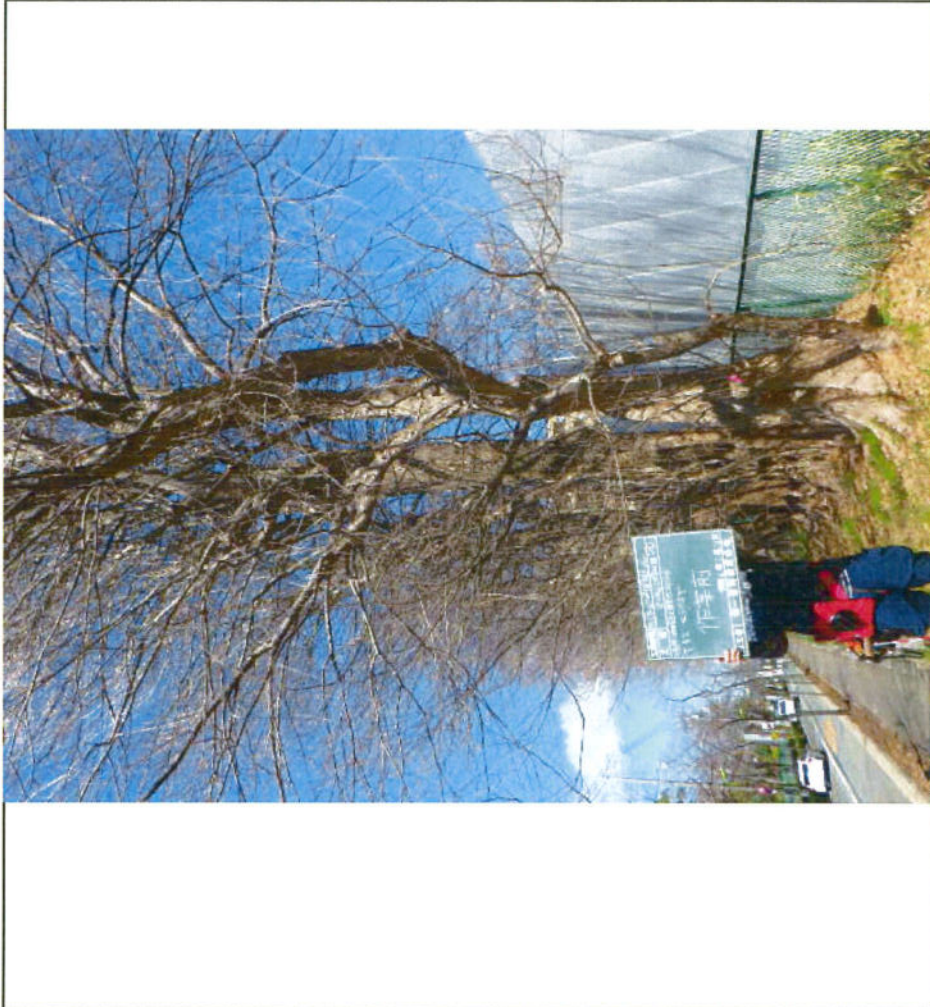
②同上

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているため根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T42 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



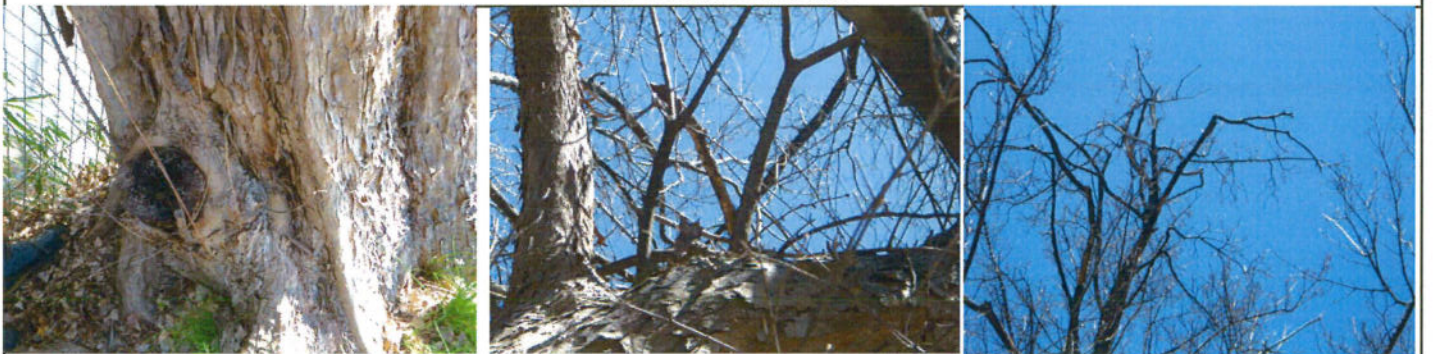
樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T42
形状寸法	幹周り 255 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯死、枯枝あり剪定要。			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 8cm	

現況写真(異常箇所)



①開口空洞

②枯死

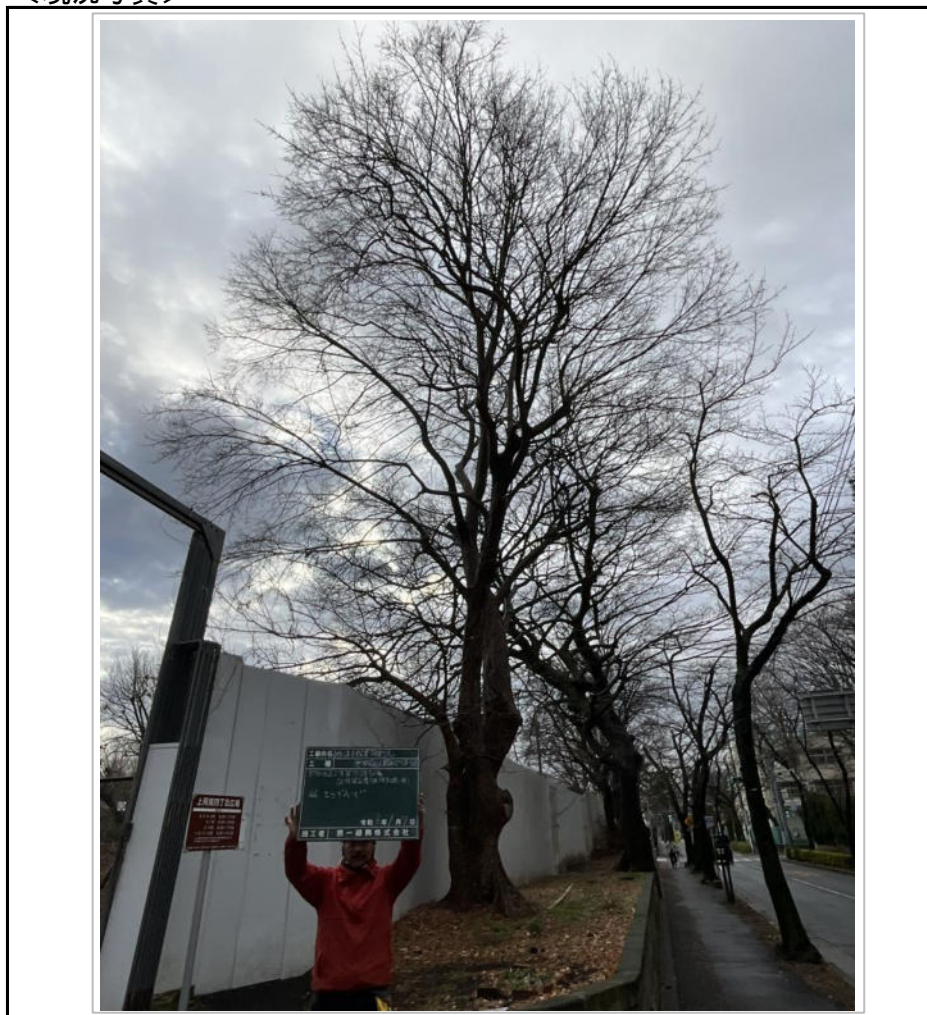
③同上

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO1- 46
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	とうかえで	樹木番号	NO1-46
形状寸法	幹周り 280 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 ①幹、開口空洞 ②大枝、樹皮欠損腐朽 ③枯枝(スタブカット)剪定が必要 打音異常範囲(A該当の場合必須) (~ m) 鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入) 約 cm			

現況写真(異常箇所)



診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO2- 47
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO2-47
形状寸法	幹周り 259 cm	樹高	1500 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、開口空洞			
②大枝、樹皮欠損腐朽			
③コウヤクタケが発生している			
④枯枝(スタブカット)歩道上部に枯れ枝至急剪定が必要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 大枝、樹皮欠損腐朽



③ 大枝 コウヤクタ

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO3-48
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

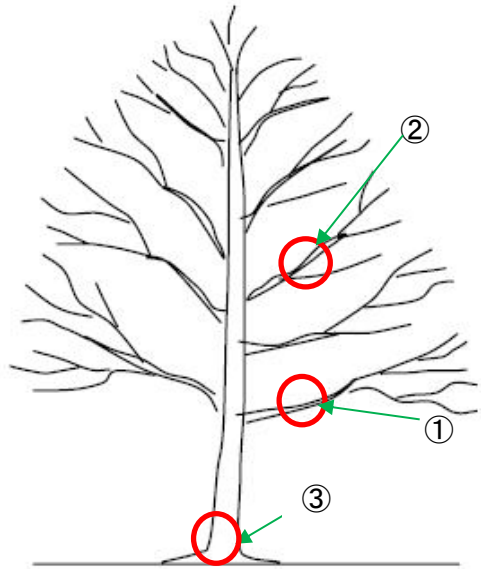
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO3-48
形状寸法	幹周り 162 cm	樹高	1100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①大枝、樹皮欠損腐朽	
②枯枝、歩道上部に枯れ枝至急剪定が必要(多数あり)	
③幹、癒合あり	
ツルの巻き付き有り	
根元にヤマブキ有り	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 大枝、樹皮欠損腐朽



③ 大枝 コウヤクタ

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO4- 51
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	とうかえで	樹木番号	NO4-51
形状寸法	幹周り 191 cm	樹高	1300 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか	○	
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①幹、広場側に傾きあり			
②幹、フェンス接触(接触部フェンス撤去必要あり)			
③枯枝、歩道上部に枯れ枝至急剪定が必要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、広場側に傾きあり



② 幹、フェンス接触



③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO5- 52
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

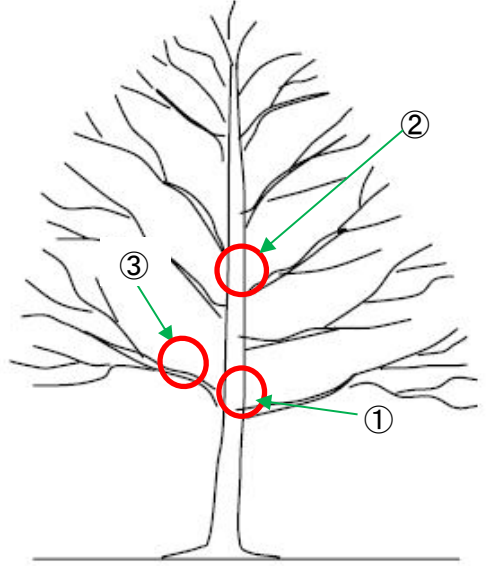
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO5-52
形状寸法	幹周り 124 cm	樹高	1100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞 (多数あり)	
②大枝、樹皮欠損腐朽	
③枯枝、歩道上部に枯れ枝至急剪定が必要	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 大枝、樹皮欠損腐朽



③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO6-55
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	はりえんじゅ	樹木番号	NO6-55
形状寸法	幹周り 119 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)	○	
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、開口空洞 (著しい被害がみられる)	
②根元、樹皮欠損	
③幹、樹皮欠損	
打診音異常0~1m(大)	
打音異常範囲(A該当の場合必須) (0 ~ 1 m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入) 約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 根元、開口空洞



②根元、樹皮欠損



③幹、樹皮欠損

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	大谷石の擁壁近くに植栽されていて、根鉢径の確保が困難であり、根元の開口空洞の被害が著しい為	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO7- 59
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	とうかえで	樹木番号	NO7-59
形状寸法	幹周り 143 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか	○	
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、樹皮欠損	
②幹の傾きあり	
※大谷石擁壁押し出しあり	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



② 幹の傾きあり

診断結果	
1 健全度	A ・ B ・ C
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。

健全度判断基準	
A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
B(被害がみられる)→1つ以上該当	
C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO8- 64
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

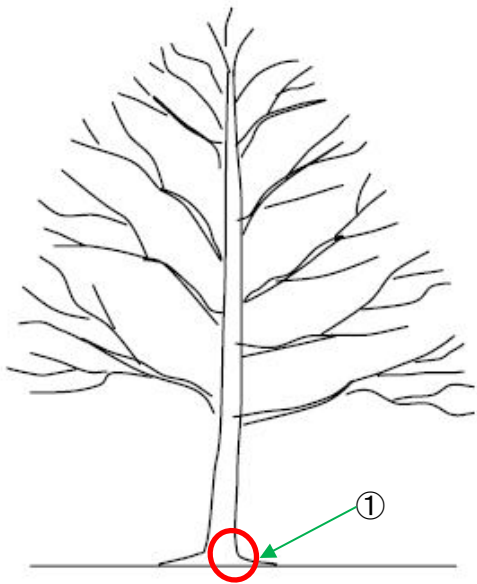
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO8-64
形状寸法	幹周り cm	樹高	cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①伐採処理済み	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 伐採処理済み

診断結果	
1 健全度	A ・ B ・ C
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)
3 判断理由	伐採処理済みのため

健全度判断基準	
A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
B(被害がみられる)→1つ以上該当	
C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO9- 65
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

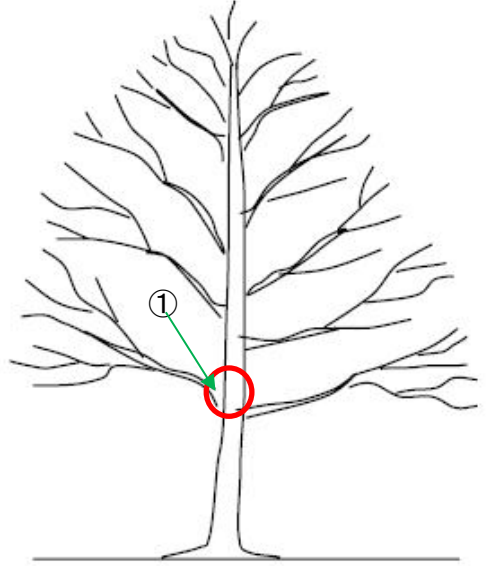
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO9-65
形状寸法	幹周り 148 cm	樹高	1300 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、樹皮欠損			
※被圧をうけ片枝樹形			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO10- 66
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	はりえんじゅ	樹木番号	NO10-66
形状寸法	幹周り 117 cm	樹高	1250 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 ①根元、開口空洞(著しい被害がみられる) ②幹、樹皮欠損 ③枯枝、至急剪定が必要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 根元、開口空洞



② 幹、樹皮欠損



③ 枯枝、至急剪定が必要

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	大谷石の擁壁近くに植栽されていて、根鉢径の確保が困難であり、根元の開口空洞の被害が著しい為	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO11-71
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

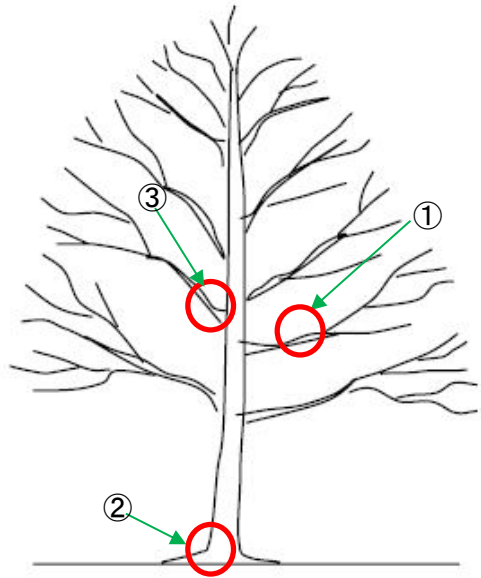
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	はりえんじゅ	樹木番号	NO11-71
形状寸法	幹周り 413 cm	樹高	1500 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)	○	
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①大枝、開口空洞			
②鋼棒貫入異常L=25cm			
③大枝、樹皮欠損			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 25 cm	

現況写真(異常箇所)



① 大枝、開口空洞



②鋼棒貫入異常



③大枝、樹皮欠損

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO12- 73
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

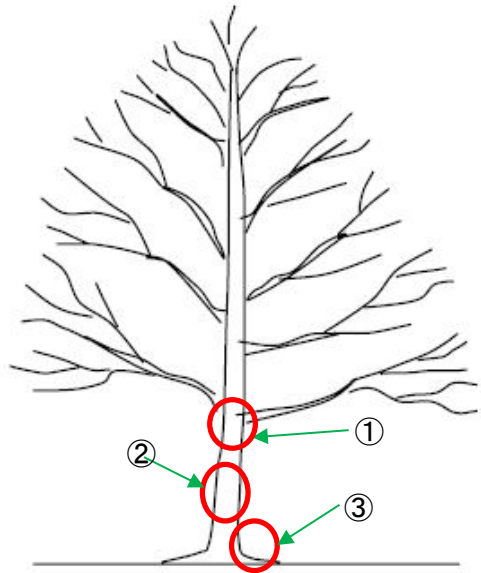
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	とうかえで	樹木番号	NO12-73
形状寸法	幹周り 238 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)	○	
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、樹皮欠損	
②幹、樹皮欠損	
③鋼棒貫入異常L=25cm	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 25 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



② 幹、樹皮欠損



③ 鋼棒貫入異常

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO13-75
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	はりえんじゅ	樹木番号	NO13-75
形状寸法	幹周り 193 cm	樹高	1900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 被圧を受け片枝樹形であるが、概ね良好である。			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)		

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A・B・C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可・不可・要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO14-76
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

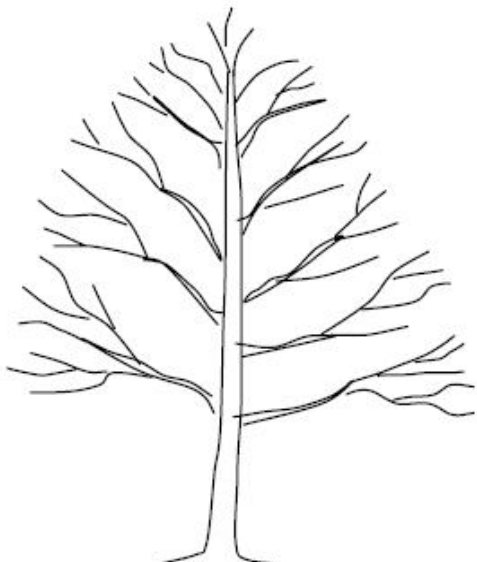
<現況写真>

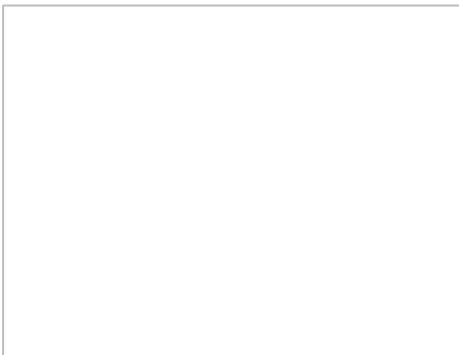
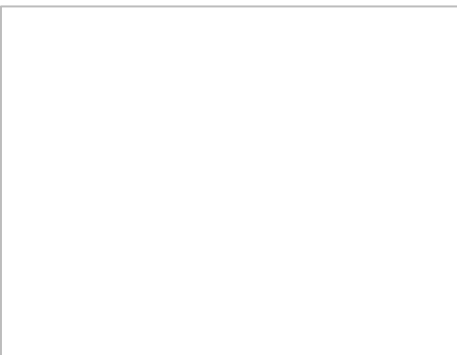
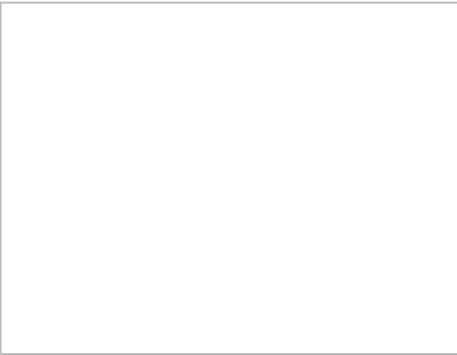


樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	はりえんじゅ	樹木番号	NO14-76
形状寸法	幹周り 208 cm	樹高	1900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 被圧を受け片枝樹形であるが、概ね良好である。			
打音異常範囲 (A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長 (B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

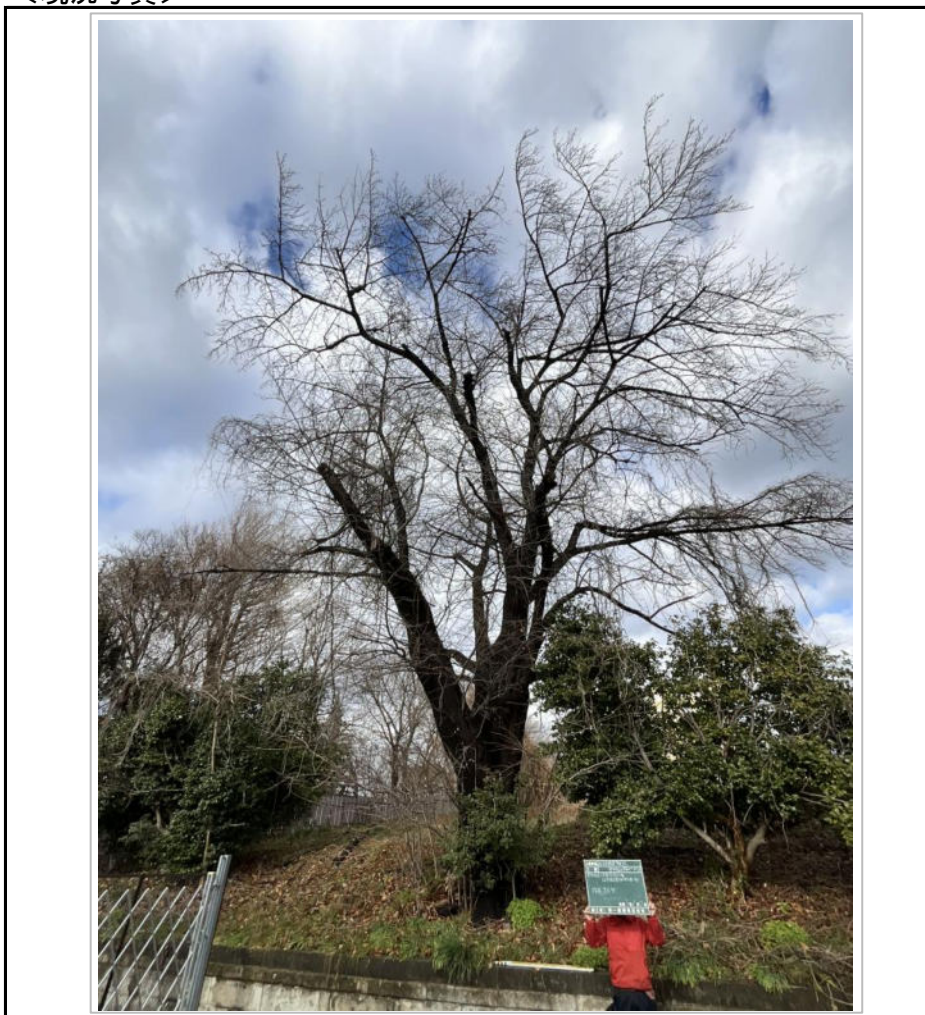
現況写真(異常箇所)		
		
		

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A・B・C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可・不可・要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	歩道側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO15-126
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO15-126
形状寸法	幹周り 342 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①大枝、樹皮欠損腐朽			
②大枝、コウヤクタケが発生			
③枯枝、至急剪定が必要(多数あり)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損腐朽



②大枝、コウヤクタケ



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	通路側に大谷石の擁壁があり、植栽地が狭く、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO16- 135
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO16-135
形状寸法	幹周り 284 cm	樹高	1100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①大枝、樹皮欠損腐朽	
②根元、樹皮欠損	
③枯枝、至急剪定が必要(多数あり)(かかり枝あり)	
※大谷石の押し出しあり	
※つるの巻き付きあり	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損腐朽



②根元、樹皮欠損腐朽



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	通路側大谷石の擁壁際に、植栽されている為、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO17-156
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	とうかえで	樹木番号	NO17-156
形状寸法	幹周り 429 cm	樹高	1100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①枯枝、至急剪定が必要(多数あり)	
②ツルの巻き付きあり(撤去が必要)	
③根元、石飲み込み	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 枯枝



②ツルの巻き付きあり



③石の飲み込みあり

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが片側がのり面になっている為、注意が必要である。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO18- 160
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO18-160
形状寸法	幹周り 172 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①大枝、、開口空洞	
②枯枝、至急剪定が必要(多数あり)	
③根元周辺ササが密に生えている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、開口空洞



② 枯枝



③ 根元にササが生えてい

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが根元にササが密に生えている為、撤去が必要である。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO19-163
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO19-163
形状寸法	幹周り 158 cm	樹高	800 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①大枝、樹皮欠損			
②枯枝、剪定が必要(多数あり)			
③ツルの巻き付きあり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)			(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)			約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損



② 枯枝



③ ツルの巻き付きあり

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが根元周辺に実生木・ササが多い為、注意が必要である。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO20-164
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO20-164
形状寸法	幹周り 198 cm	樹高	800 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①根元、マンネンタケが発生している			
②大枝、開口空洞			
③枯枝、剪定が必要(多数あり)			
④大枝、樹皮欠損腐朽(多数)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 根元、マンネンタケ



②大枝、開口空洞



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが根元周辺に実生木・ササが多い、また、根元にマンネンタケが発生してる為、精密診断の結果をみて判断する必要がある。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO21- 166
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひまらやすぎ	樹木番号	NO21-166
形状寸法	幹周り 256 cm	樹高	2000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①枯枝、スタブカット剪定が必要(多数あり)			
②かかり枝あり剪定が必要			
③根元周辺ササが密に生えている			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 枯枝、スタブカット



② かかり枝



③ 根元周辺ササが密

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	22ヒマラヤスギと近接して植栽されている為、根が競合し根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO22- 167
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひまらやすぎ	樹木番号	NO22-167
形状寸法	幹周り 327 cm	樹高	2100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①枯枝、スタブカット剪定が必要(多数あり)			
②根元周辺ササが密に生えている			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 枯枝、スタブカット

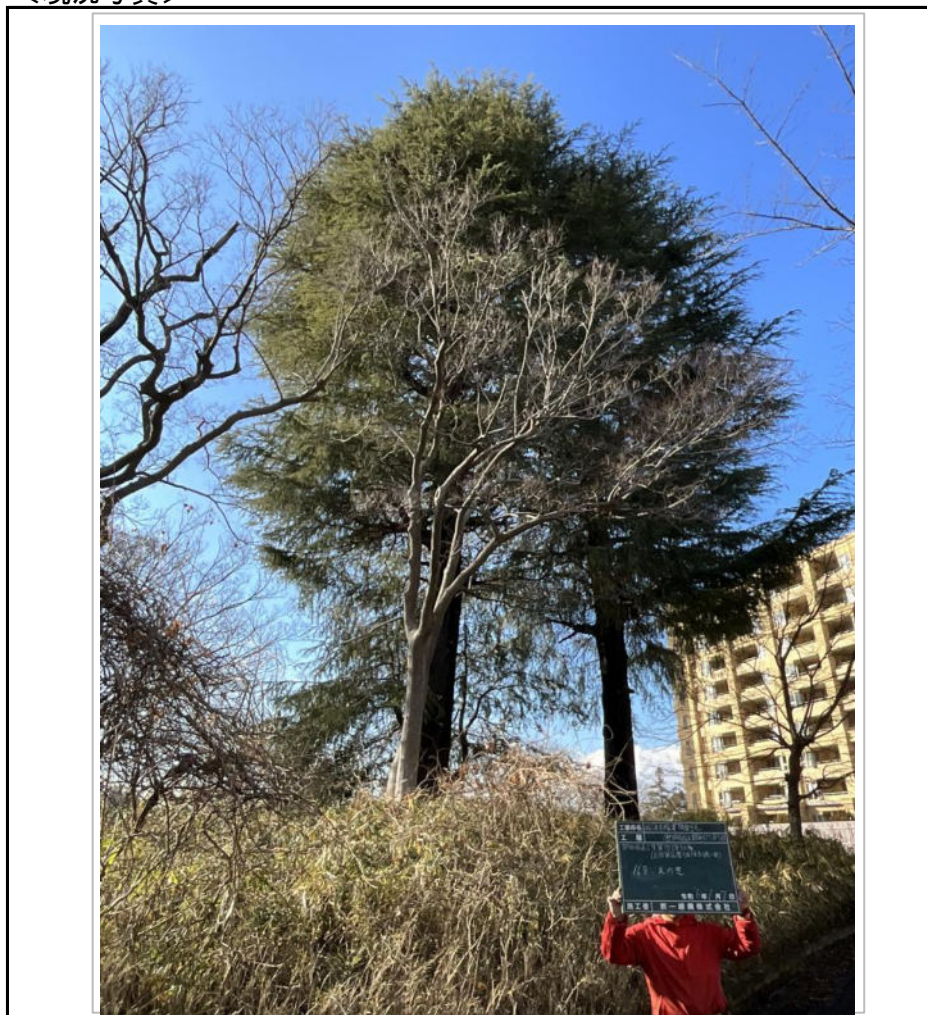
②根元周辺ササが密

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	21ヒマラヤスギと近接して植栽されている為、根が競合し根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO23-168
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO23-168
形状寸法	幹周り 127 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①枯枝、剪定が必要(多数あり)			
②根元周辺ササが密に生えている			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 枯枝



②根元周辺ササが密

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが根元にササが密に生えている為、撤去が必要である。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO24-179
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO24-179
形状寸法	幹周り 351 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①コフキタケが発生している(多数)			
②幹、樹皮欠損腐朽			
③大枝、樹皮欠損腐朽(多数)(コウヤクタケが発生)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① コフキタケ多数



② 樹皮欠損腐朽



③ 樹皮欠損腐朽(コウヤクタ

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	大谷石の擁壁近くに植栽されていて、根鉢径の確保が困難であり、根元・幹にコフキタケが多数発生している為	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO25- 182
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

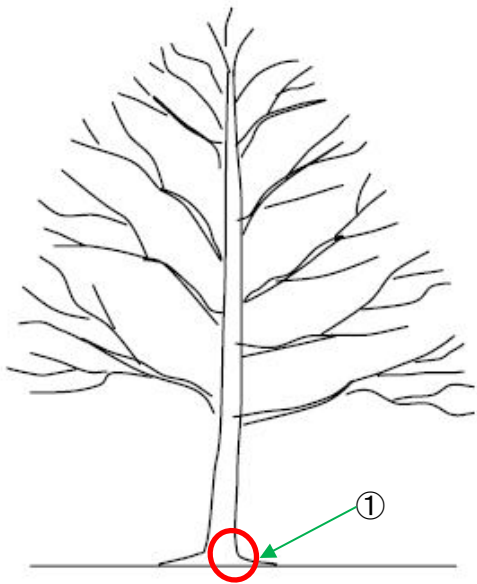
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO25-182
形状寸法	幹周り cm	樹高	cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①伐採処理済み	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 伐採処理済み

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	伐採処理済みのため	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO26- 188
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

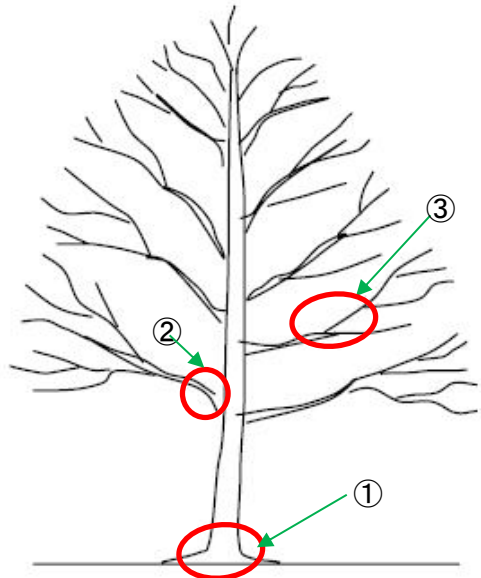
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO26- 188
形状寸法	幹周り 224 cm	樹高	1300 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、樹皮欠損	
②幹、ツタ巻き付き	
③大谷石側のり面	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



② 幹、ツタ巻き付き



③ 大谷石側のり面

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	大谷石の擁壁近くに植栽されていて、根鉢径の確保が困難である為	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO27- 189
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	はりえんじゅ	樹木番号	NO27-189
形状寸法	幹周り 130 cm	樹高	800 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、開口空洞	
②幹、樹皮欠損腐朽	
③幹、開口空洞	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、開口空洞



② 幹、樹皮欠損腐朽



③ 幹、開口空洞

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	大谷石の擁壁近くに植栽されていて、根鉢径の確保が困難である為	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO28- 199
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO28-199
形状寸法	幹周り 365 cm	樹高	1300 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①根元、ベッコウタケが多数発生している			
②大枝、開口空洞			
③大枝、樹皮欠損腐朽			
打音異常範囲(A該当の場合必須) (~ m)			
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入) 約 cm			

現況写真(異常箇所)



① 根元、ベッコウタケ



②大枝、開口空洞



③大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	片側がのり面で、変形になるが根鉢径の確保は出来るが、根元にベッコウタケが発生している為、精密診断の結果をみて判断する必要がある。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO29-202
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO29-202
形状寸法	幹周り 274 cm	樹高	830 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、ベッコウタケが多数発生している	
②大枝、開口空洞多数あり	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
④幹、コフキタケが発生している	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、ベッコウタケ



②大枝、開口空洞



③大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	根鉢径の確保は出来るが、根元にベッコウタケ幹にコフキタケが発生している為、精密診断の結果をみて判断する必要がある。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO30-214
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

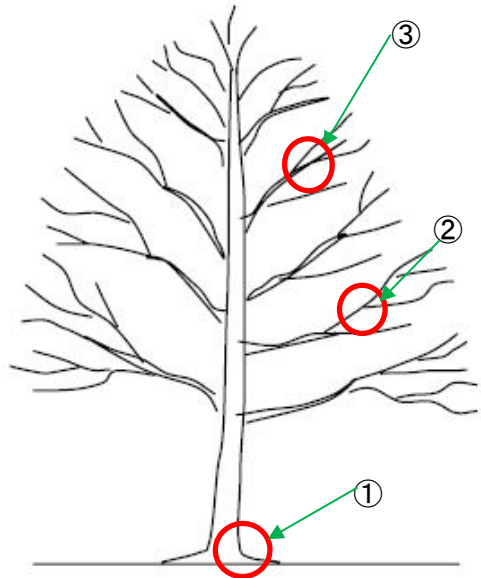
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO30-214
形状寸法	幹周り 157 cm	樹高	950 cm

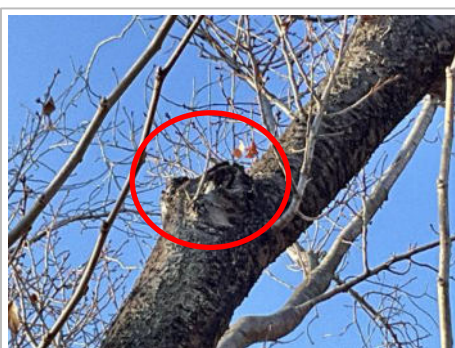
箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、開口空洞	
②大枝、樹皮欠損腐朽	
③枯枝、至急剪定が必要	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、開口空洞



②大枝、樹皮欠損腐朽



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	根鉢径の確保は出来るが、片側が傾斜地になっている為注意が必要である。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO31- 215
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

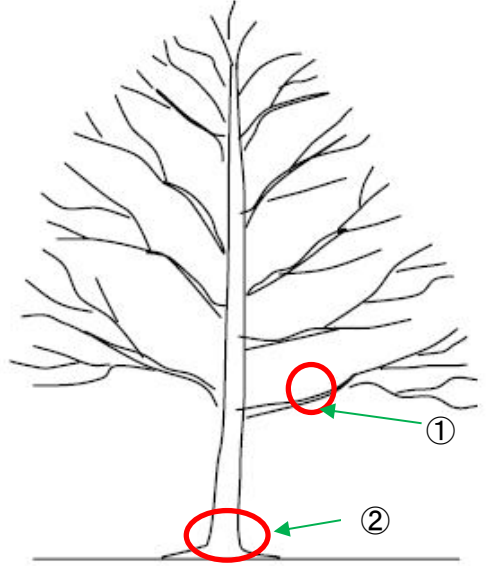
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO31-215
形状寸法	幹周り 140 cm	樹高	1100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②根元周辺ササが密に生えている	
※216エノキと根元共合している	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



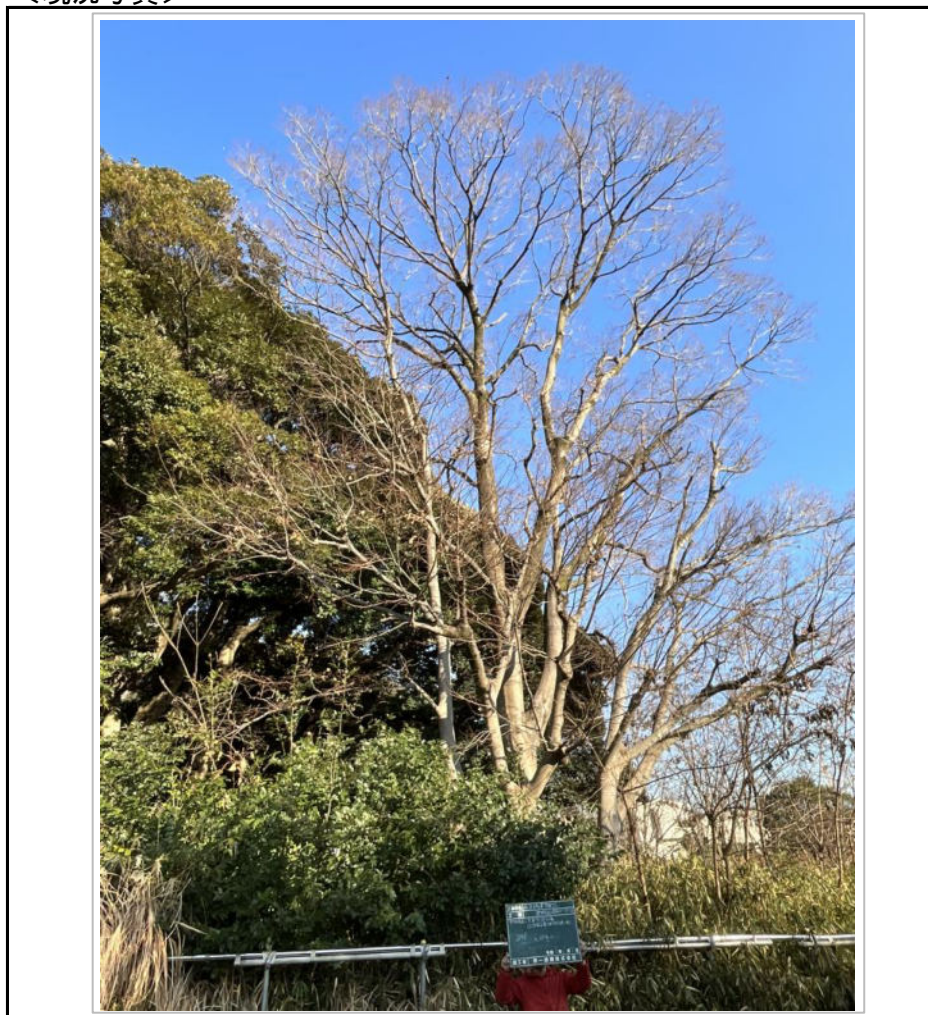
②根元周辺ササが密に生えてい

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	32エノキと根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO32- 216
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

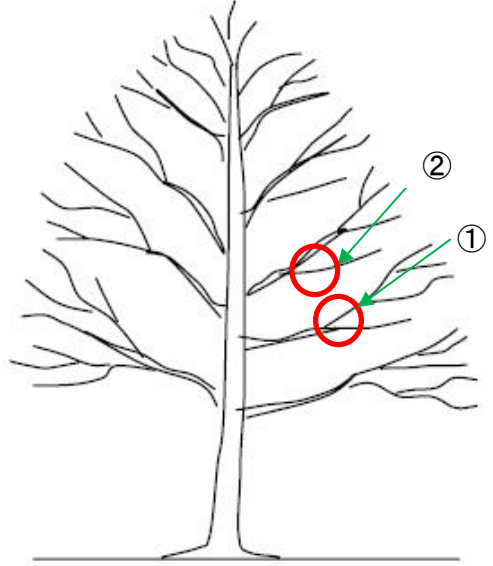
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO32-216
形状寸法	幹周り 275 cm	樹高	1700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①大枝、樹皮欠損	
③枯枝剪定が必要(多数あり)	
※215エノキと根元共合している	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠



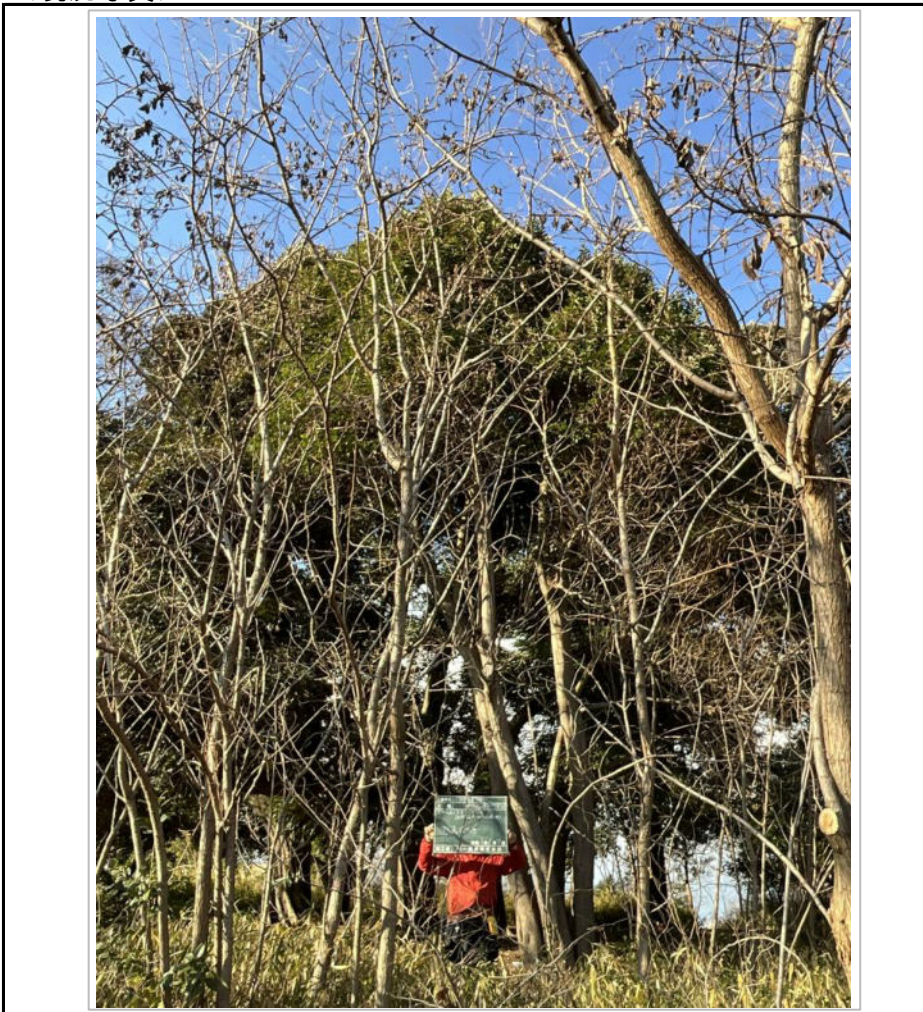
② 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	31エノキと根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO33- 217
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	もちのき	樹木番号	NO33-217
形状寸法	幹周り 173 cm	樹高	1000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹枯れ	
②大枝、樹皮欠損腐朽	
③幹、開口空洞	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹枯れ



② 大枝、樹皮欠損腐朽



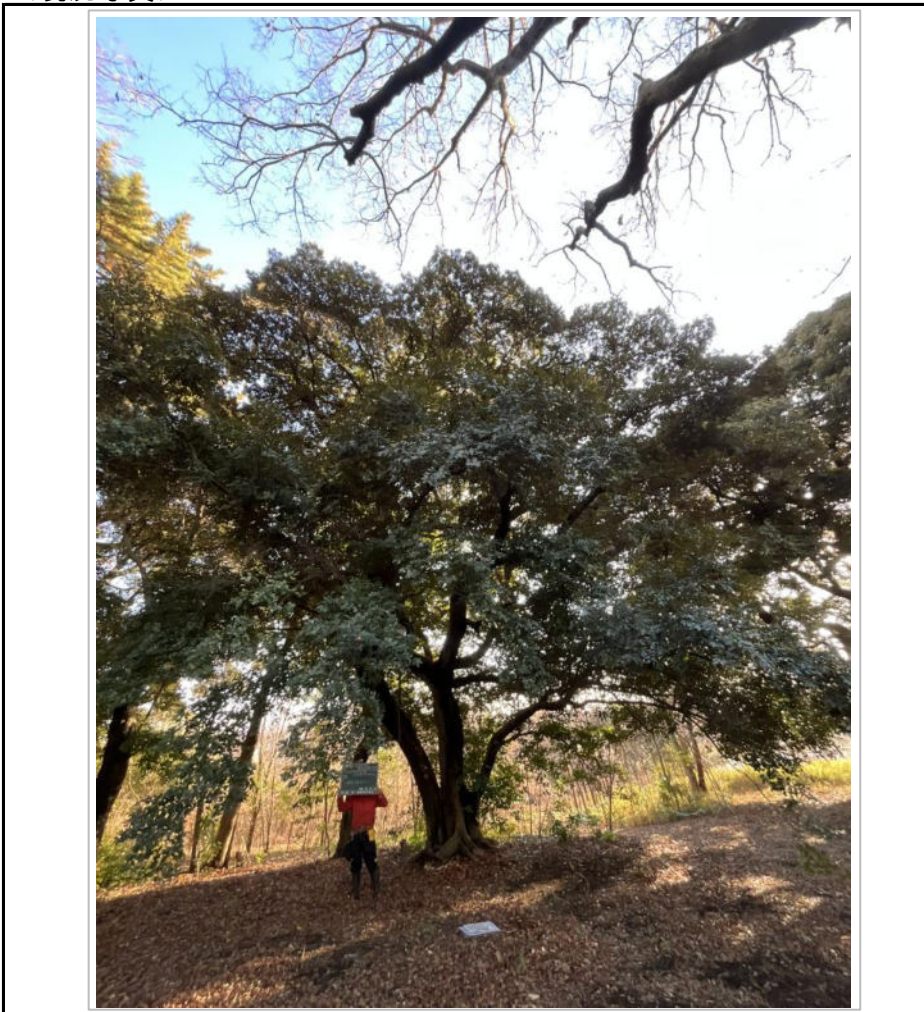
③ 幹、開口空洞

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ <u>C</u>	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ <u>不可</u> ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	根鉢径は確保できるが、幹枯れや開口空洞、樹皮欠損腐朽の被害が著しく進行している為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO34- 223
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO34-223
形状寸法	幹周り 275 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、開口空洞			
②大枝、シイサルノコシカケが発生している			
③枯枝、剪定が必要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 大枝、シイサルノコシカ



③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木35すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO35- 224
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月7日
点検者名	竹内 克巳

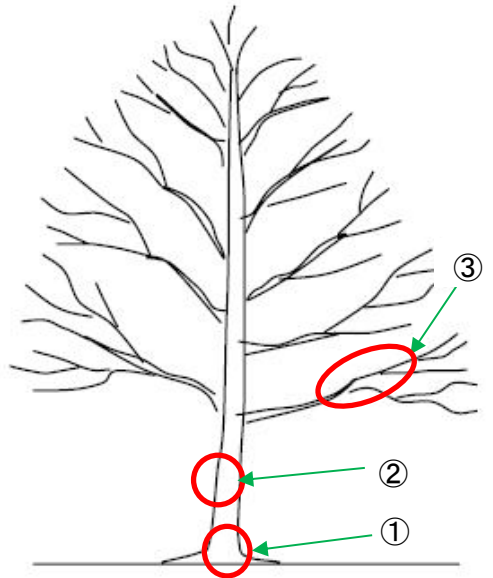
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO35-224
形状寸法	幹周り 142 cm	樹高	1150 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)	○	
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特 記 事 項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①根元、開口空洞（多数あり）		
②幹、開口空洞		
③枯枝、剪定が必要		
※223すだじいに被圧されている		
※ 打診音異常(大)1.2～2.0m		
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(1.2 ～2.0 m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約	cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、開口空洞



② 幹、開口空洞



③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木34すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO36- 225
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月7日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	もちのき	樹木番号	NO36-225
形状寸法	幹周り 119 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元・幹、樹皮欠損腐朽	
②幹、コウヤクタケが発生している	
③枯枝、剪定が必要	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、樹皮欠損腐朽



② 幹、コウヤクタケ



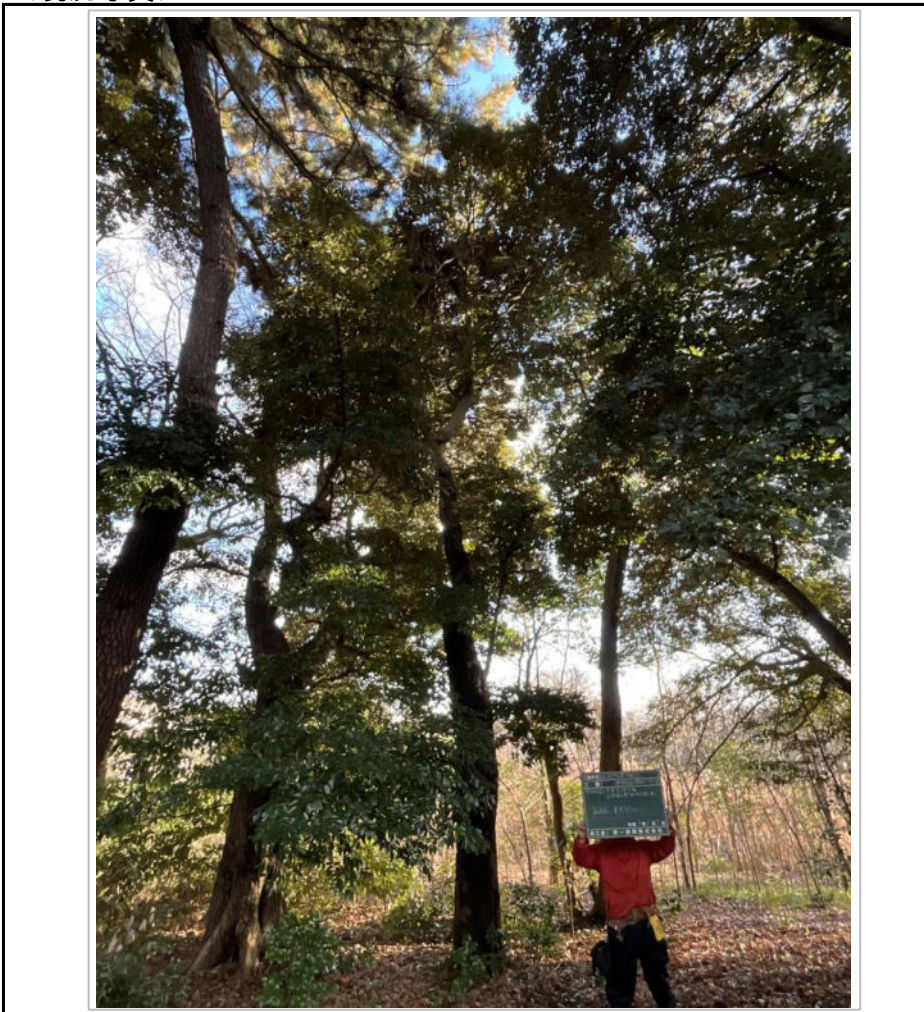
③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが根元・幹に著しい被害がみられる為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO37- 226
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO37-226
形状寸法	幹周り 136 cm	樹高	1300 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①根元、コウヤクタケが発生している			
②幹、樹皮欠損腐朽			
③枯枝、剪定が必要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 根元、コウヤクタケ



② 幹、樹皮欠損腐朽



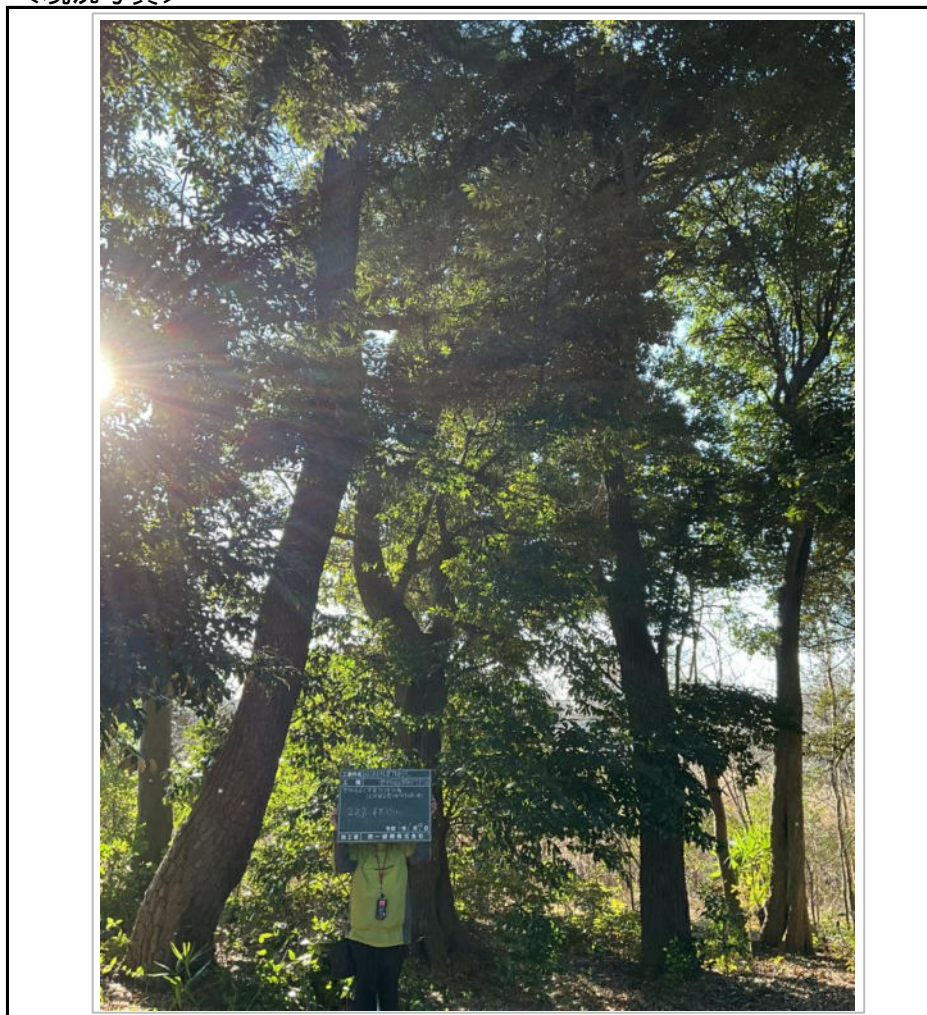
③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木38すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO38- 227
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO38-227
形状寸法	幹周り 185 cm	樹高	1300 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか	○	
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①大枝、樹皮欠損腐朽	
②大枝、開口空洞(多数あり)	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
※打診音異常(大)0~2.5m	
※被圧で傾いている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(0 ~2.5m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損腐朽



②大枝、開口空洞



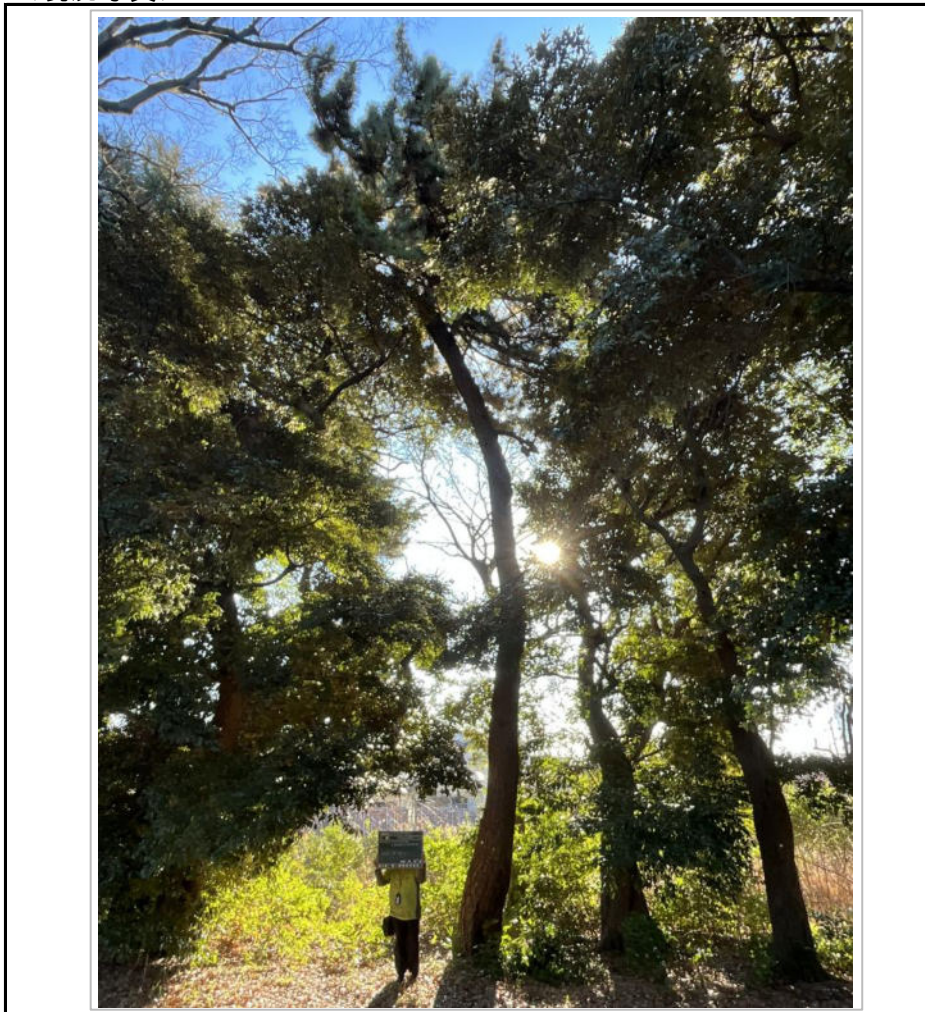
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木37すだじい.38すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難で、開口空洞等の被害が著しい為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO39-228
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

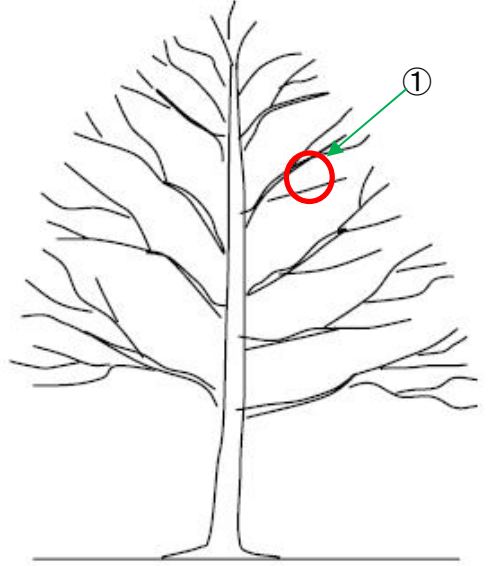
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	あかまつ	樹木番号	NO39-228
形状寸法	幹周り 186 cm	樹高	1750 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①枯枝、剪定が必要	
※下枝が無く、上部に枝が集中している	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木38すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO40- 229
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

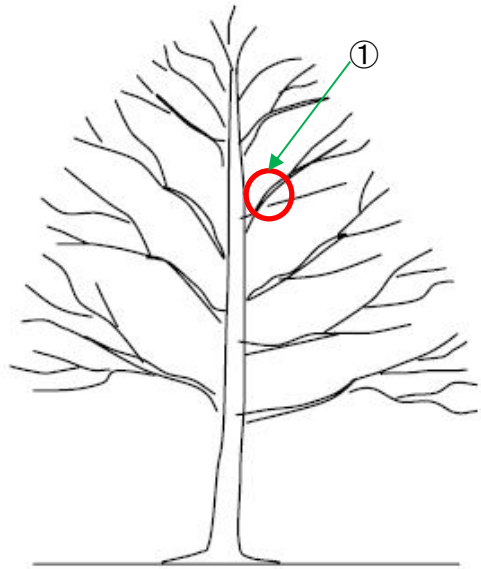
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	けやき	樹木番号	NO40-229
形状寸法	幹周り 139 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①枯枝、剪定が必要	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 枯枝

診断結果	
1 健全度	A ・ B ・ C
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)
3 判断理由	近接樹木39と距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。

健全度判断基準	
A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
B(被害がみられる)→1つ以上該当	
C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO41- 230
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

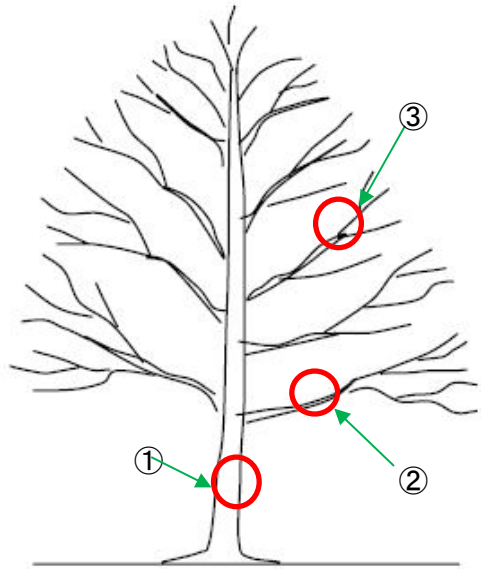
<現況写真>



樹木点検調査シート

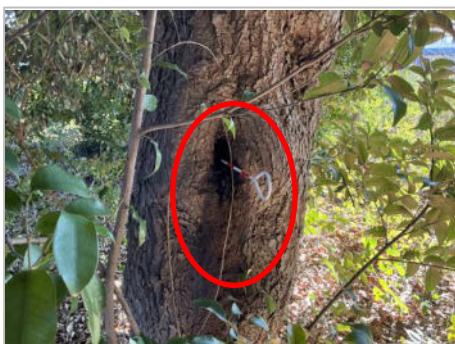
公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO41-230
形状寸法	幹周り 178 cm	樹高	1500 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)	○	
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②大枝、開口空洞	
③枯枝	
打診音異常(大)1~2m	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(1 ~ 2 m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



②大枝、開口空洞



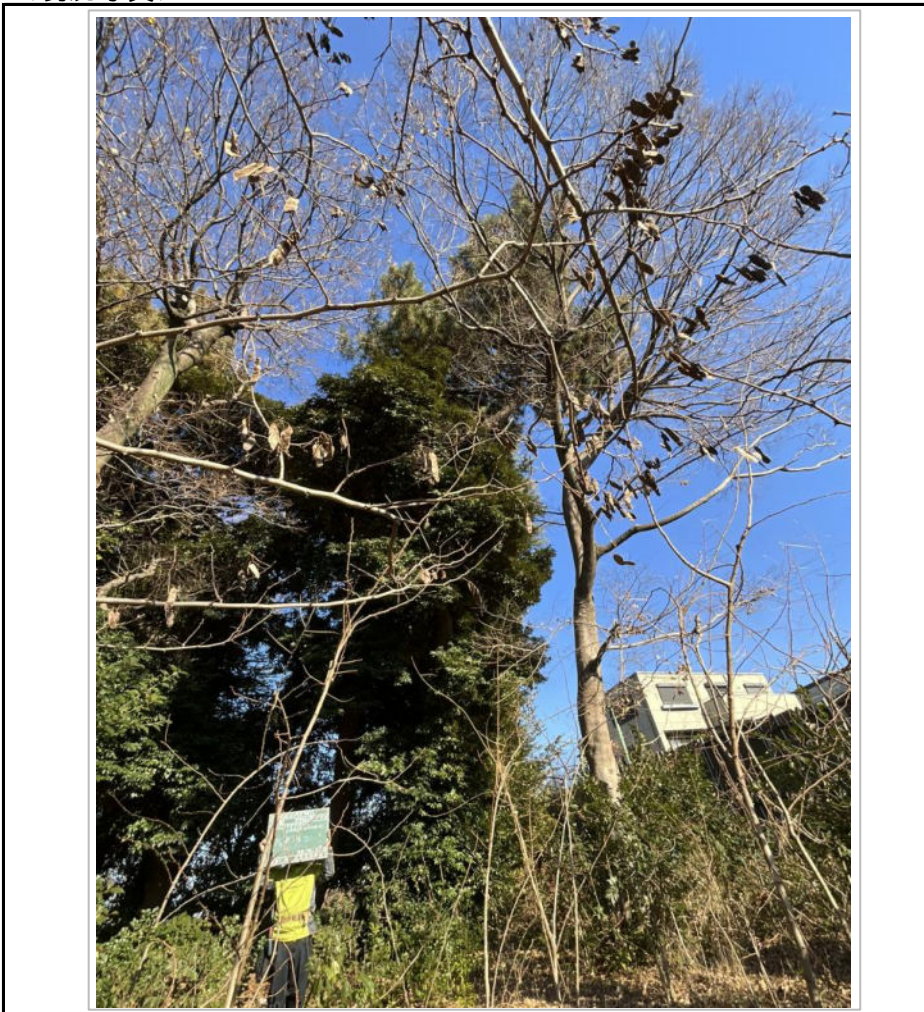
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木42あかまつと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO42- 233
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	あかまつ	樹木番号	NO42-233
形状寸法	幹周り 171 cm	樹高	1900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか	○	
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、樹皮欠損			
②枯枝(スタブカット)剪定が必要(多数)			
※幹に傾斜がある			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



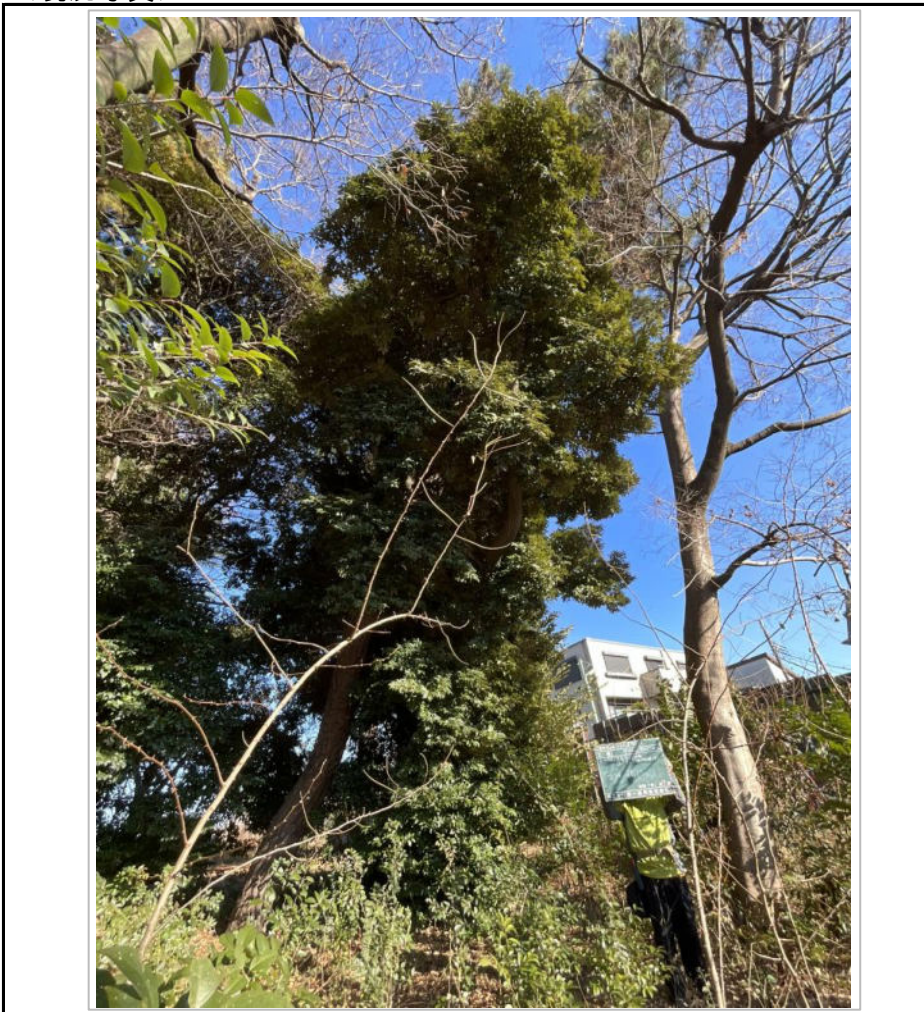
② 枯枝(スタブカット)

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木41すだじい.43すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO43- 234
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO43-234
形状寸法	幹周り 206 cm	樹高	1600 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②大枝、開口空洞(多数あり)	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 幹、開口空洞



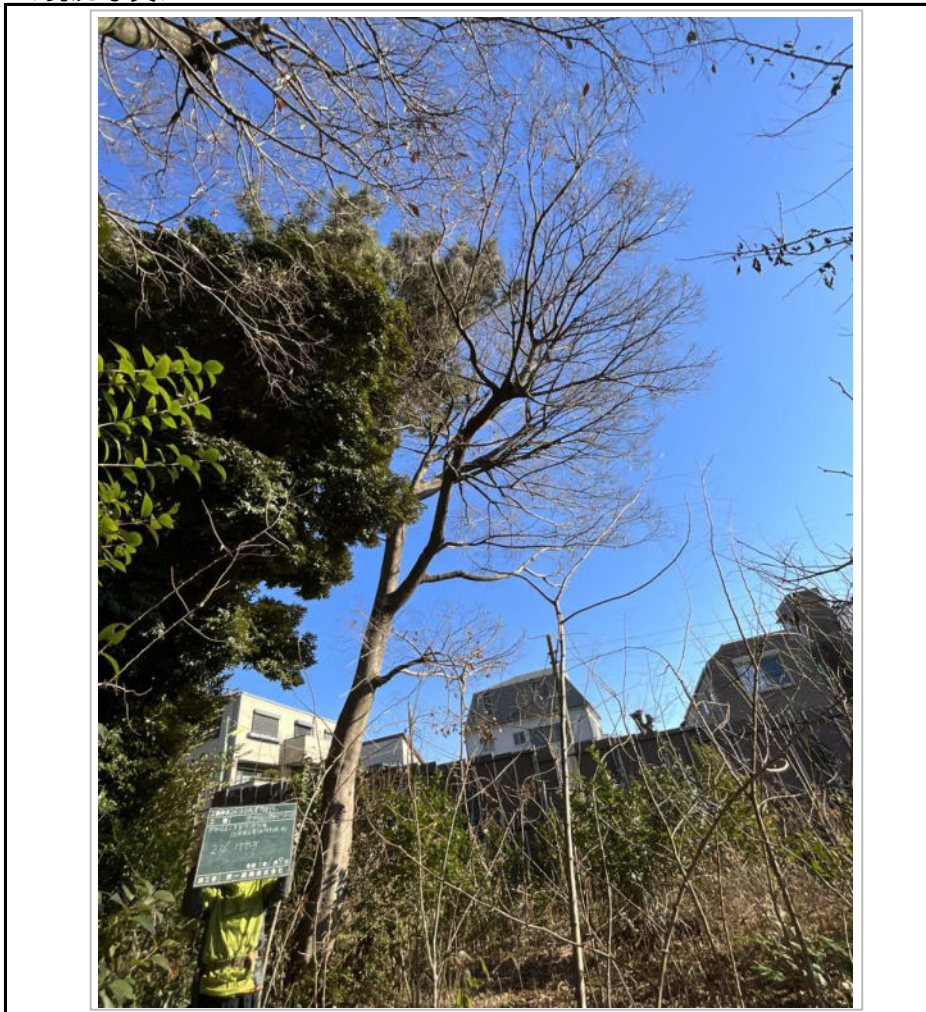
③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木42あかまつ.45ひまらやすぎと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO44- 236
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

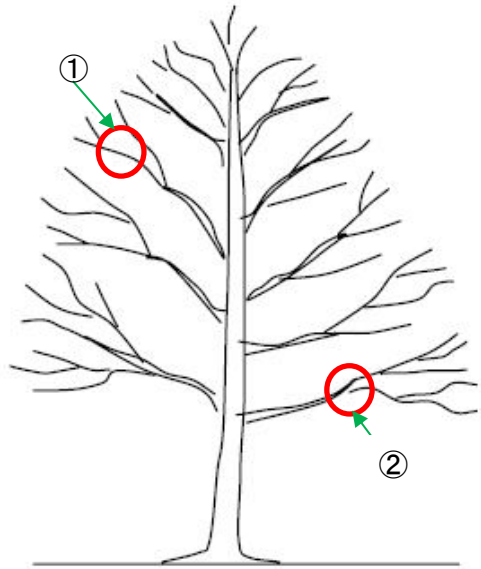
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	けやき	樹木番号	NO44-236
形状寸法	幹周り 147 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①枯枝、剪定が必要	
②かかり枝、剪定が必要	
※42あかまつ.43すだじいに被圧され片枝樹形である	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



①枯枝



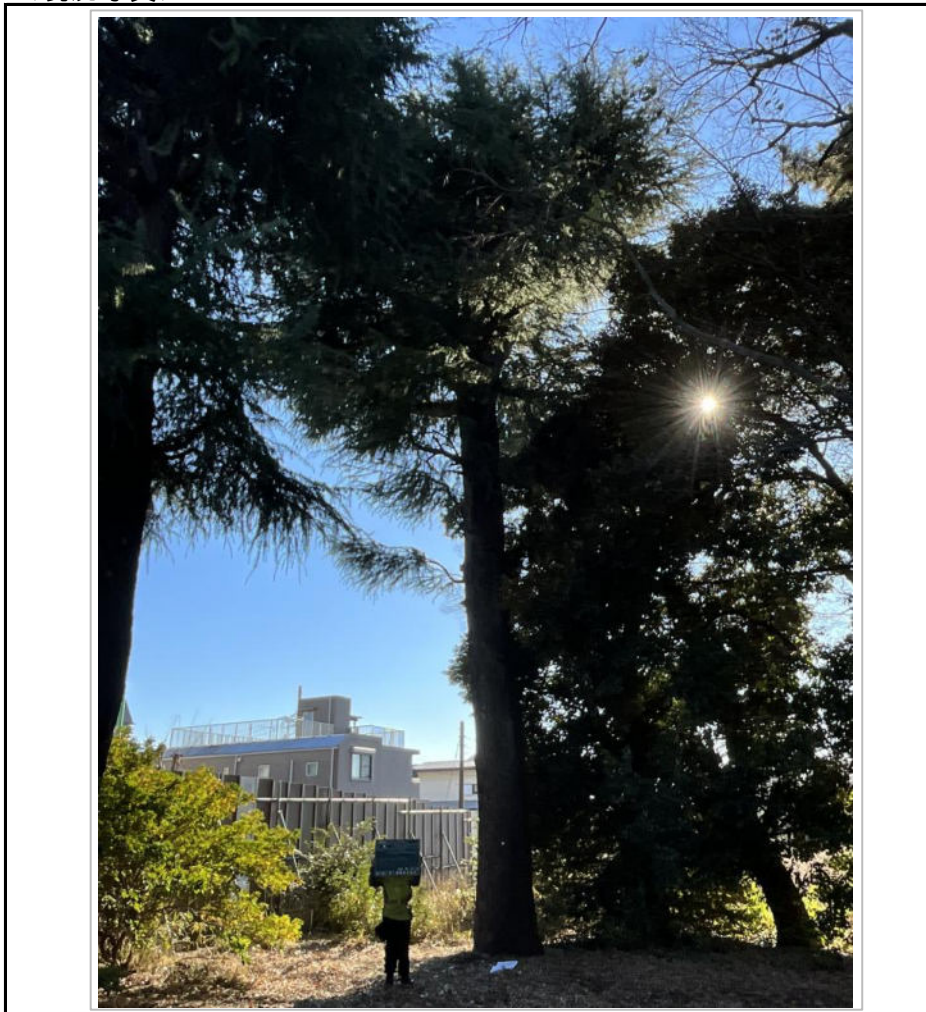
②かかり枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできる為、移植は可能である。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO45- 239
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

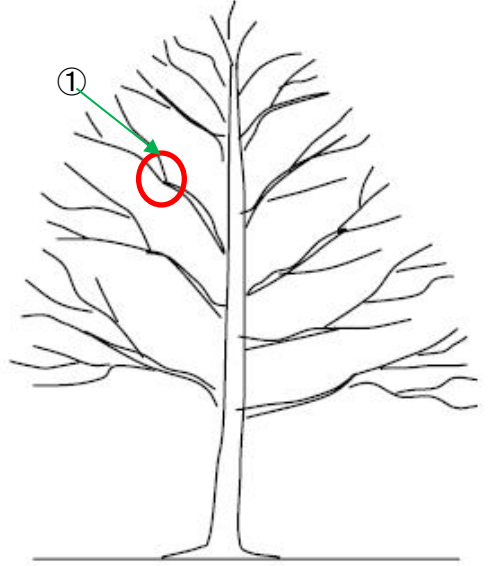
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひまらやすぎ	樹木番号	NO45-239
形状寸法	幹周り 278 cm	樹高	2100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①スタブカット(多数あり)剪定が必要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)		
		
① スタブカット多数		

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木43すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO46- 240
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひまらやすぎ	樹木番号	NO46-240
形状寸法	幹周り 270 cm	樹高	2100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
③枯枝・スタブカット、剪定が必要(多数あり)			
③大枝、樹皮欠損			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 枯枝、スタブカット(多数)

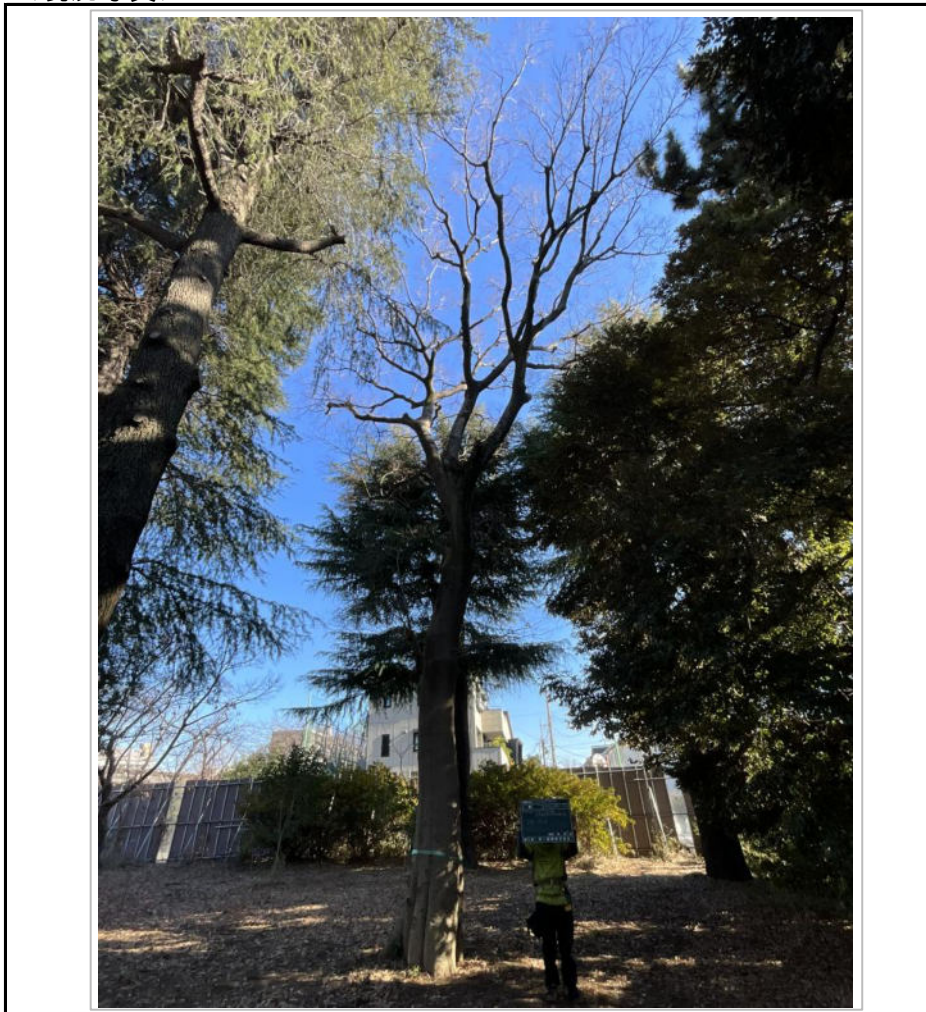
② 大枝、樹皮欠損

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に実生木はあるが、根鉢径の確保はできる為、移植は可能である。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO47- 241
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

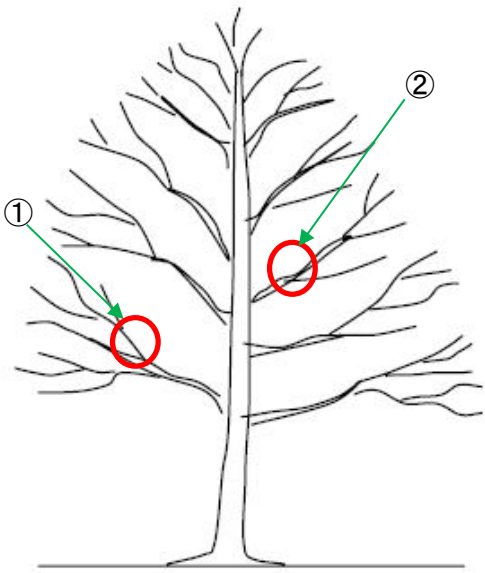
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO47-241
形状寸法	幹周り 203 cm	樹高	2100 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①大枝、樹皮欠損腐朽			
②大枝、樹皮欠損腐朽			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①大枝、樹皮欠損腐朽



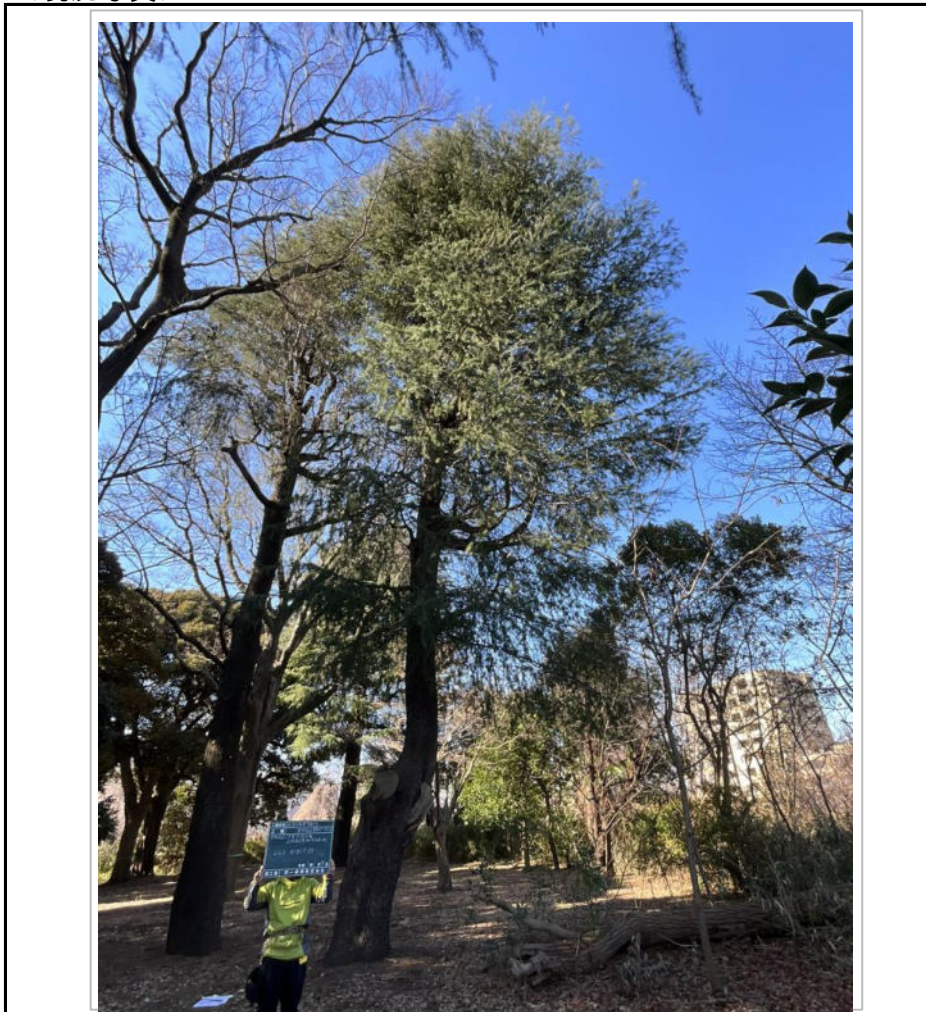
②大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木48ひまらやすぎ、49ひまらやすぎと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO48- 242
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひまらやすぎ	樹木番号	NO48-242
形状寸法	幹周り 256 cm	樹高	2000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、樹皮欠損			
③枯枝・スタブカット、剪定が必要(多数あり)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損

②スタブカット多数

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木49ひまらやすぎと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO49- 243
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

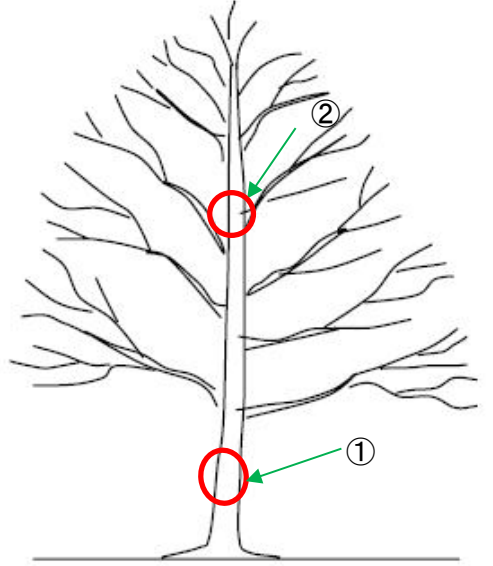
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひまらやすぎ	樹木番号	NO49-243
形状寸法	幹周り 230 cm	樹高	2000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、樹皮欠損	
②大枝、樹皮欠損	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



②大枝、樹皮欠損

診断結果	
1 健全度	A ・ B ・ C
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)
3 判断理由	近接樹木48ひまらやすぎと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。

健全度判断基準	
A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
B(被害がみられる)→1つ以上該当	
C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO50- 244
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

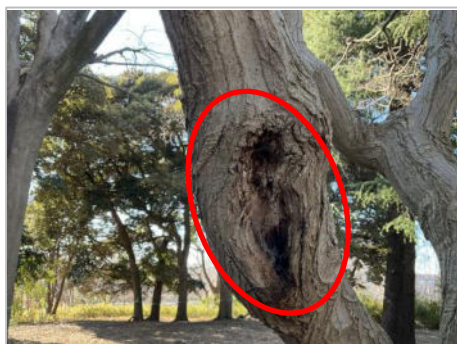
公園整備利活推進課

樹種名	もみじ	樹木番号	NO50-244
形状寸法	幹周り 102 cm	樹高	570 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①大枝、開口空洞	
②根元、樹皮欠損腐朽	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
※幹分岐部プレート飲み込みあり	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、開口空洞



②根元、樹皮欠損腐朽



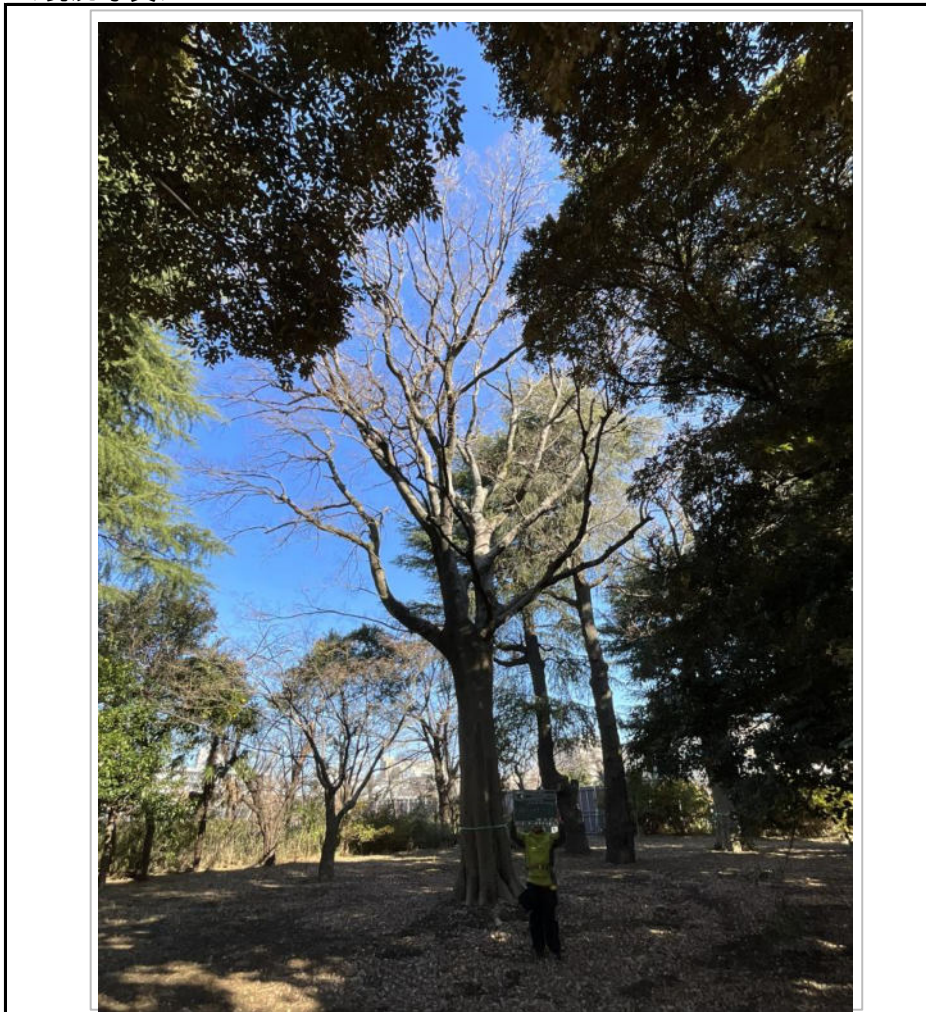
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが、根元の樹皮欠損腐朽の被害が著しい為	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO51- 245
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO51-245
形状寸法	幹周り 287 cm	樹高	2000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①大枝、樹皮欠損腐朽(多数あり)			
②枯枝、剪定が必要(多数あり)			
③大枝の癒合あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損腐朽(多数あり)



② 枯枝



③ 大枝の癒合あり

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保が出来る為、移植は可能である。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO52- 246
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO52-246
形状寸法	幹周り 152 cm	樹高	1250 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか	○	
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①大枝、樹皮欠損腐朽			
②枯枝、剪定が必要(多数あり)			
※被圧され幹が傾斜している			
打音異常範囲(A該当の場合必須)			(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)			約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損腐朽



② 枯枝、剪定が必要(多数あり)



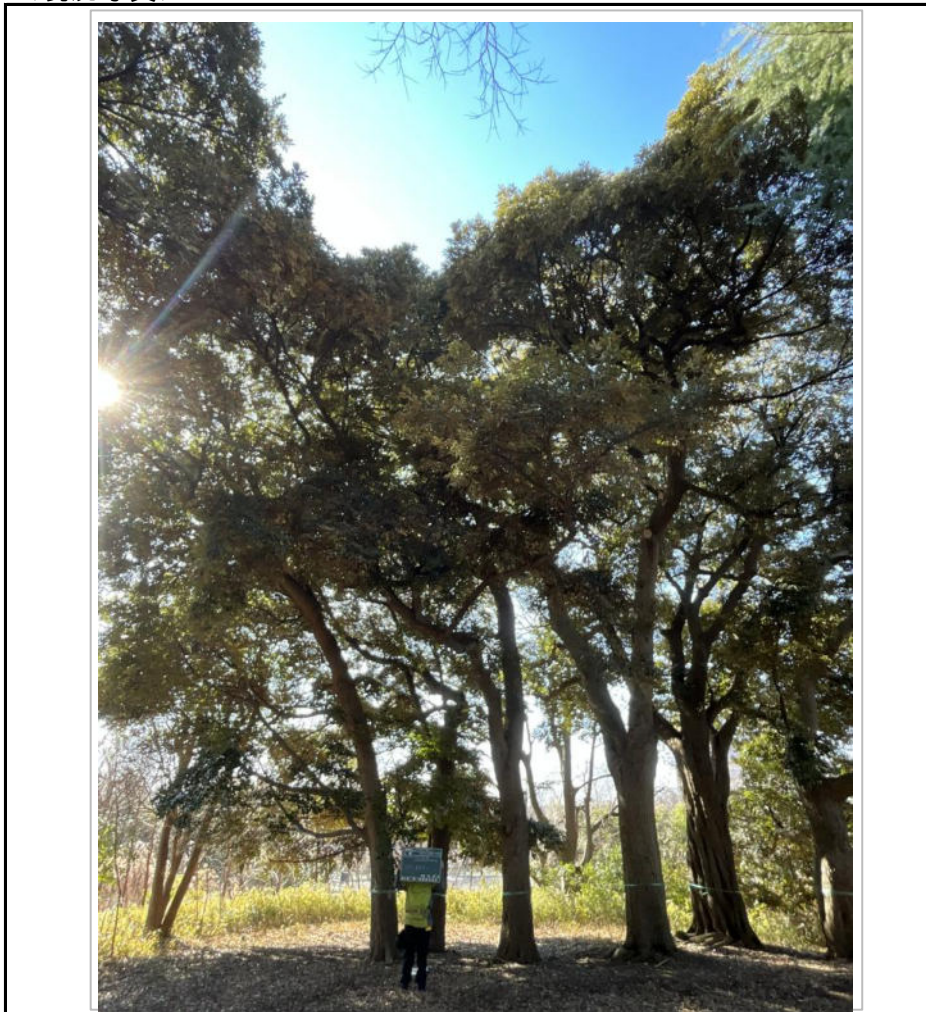
被圧され幹が傾斜している

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木53すだじい.55すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO53- 247
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

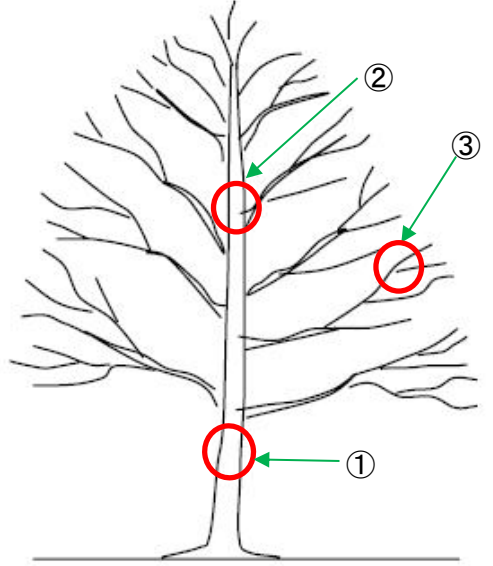
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO53-247
形状寸法	幹周り 179 cm	樹高	1350 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか	○	
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②大枝、樹皮欠損	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
54に被圧されて幹傾斜している	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



②大枝、樹皮欠損



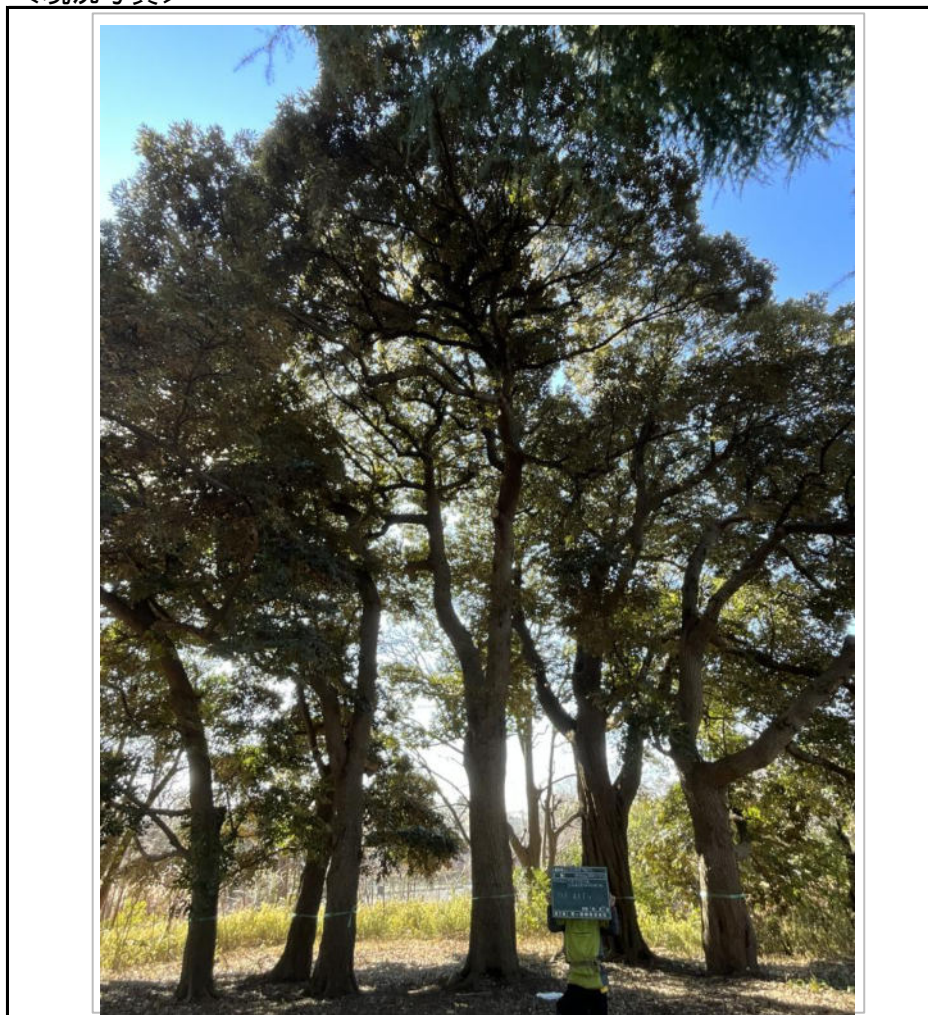
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木52すだじい.54すだじい.55すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO54 -248
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

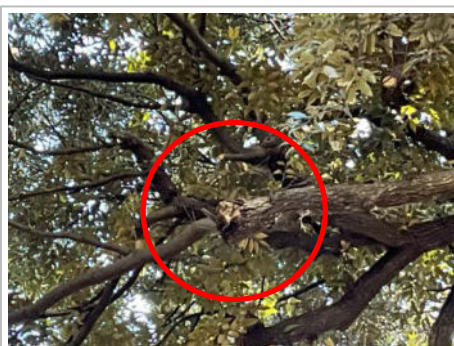
樹種名	すだじい	樹木番号	NO54-248
形状寸法	幹周り 254 cm	樹高	1700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか	○	
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①大枝、分岐部樹皮欠損			
②大枝、樹皮欠損			
③枯枝、剪定が必要(多数あり)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 大枝、分岐部樹皮欠



②大枝、樹皮欠損



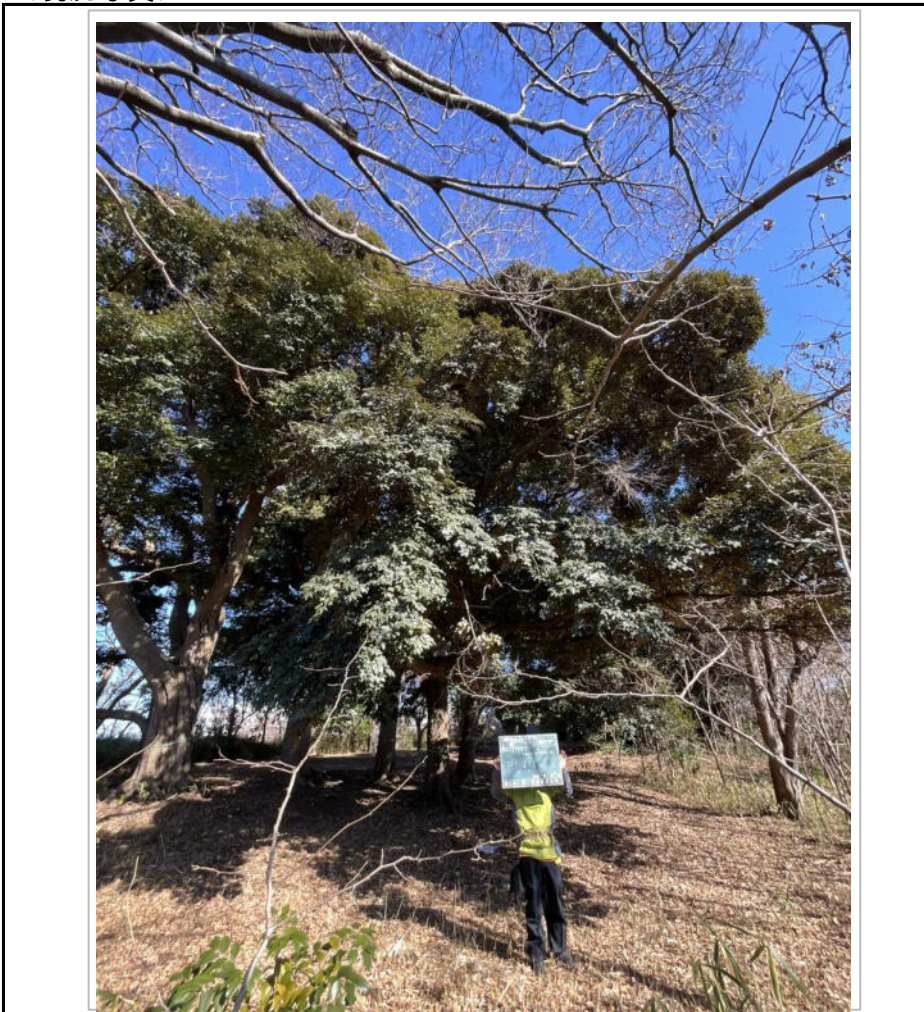
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木53すだじい.56すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO55- 249
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO55-249
形状寸法	幹周り 195 cm	樹高	1450 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、開口空洞			
②大枝、樹皮欠損			
③枯枝、剪定が必要(多数あり)			
④種不明子実体あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



②大枝、樹皮欠損



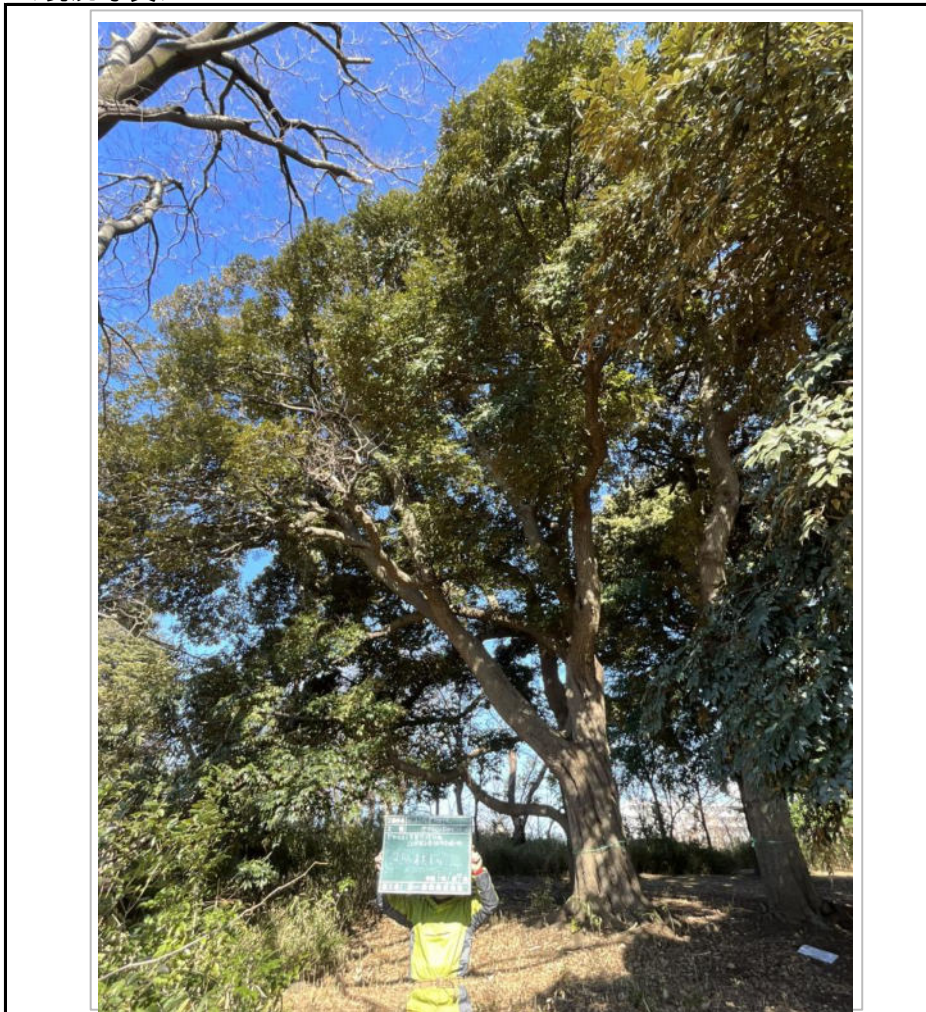
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木52すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO56- 250
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO56-250
形状寸法	幹周り 337 cm	樹高	1700 cm

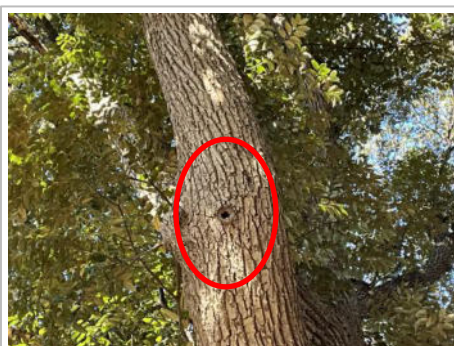
箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞 (多数)	
②大枝、開口空洞	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



②大枝、開口空洞



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木54すだじい.58すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO57- 251
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO57-251
形状寸法	幹周り 133 cm	樹高	800 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①幹、樹皮欠損腐朽			
②大枝、開口空洞			
③枯枝、剪定が必要(多数あり)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



②大枝、開口空洞



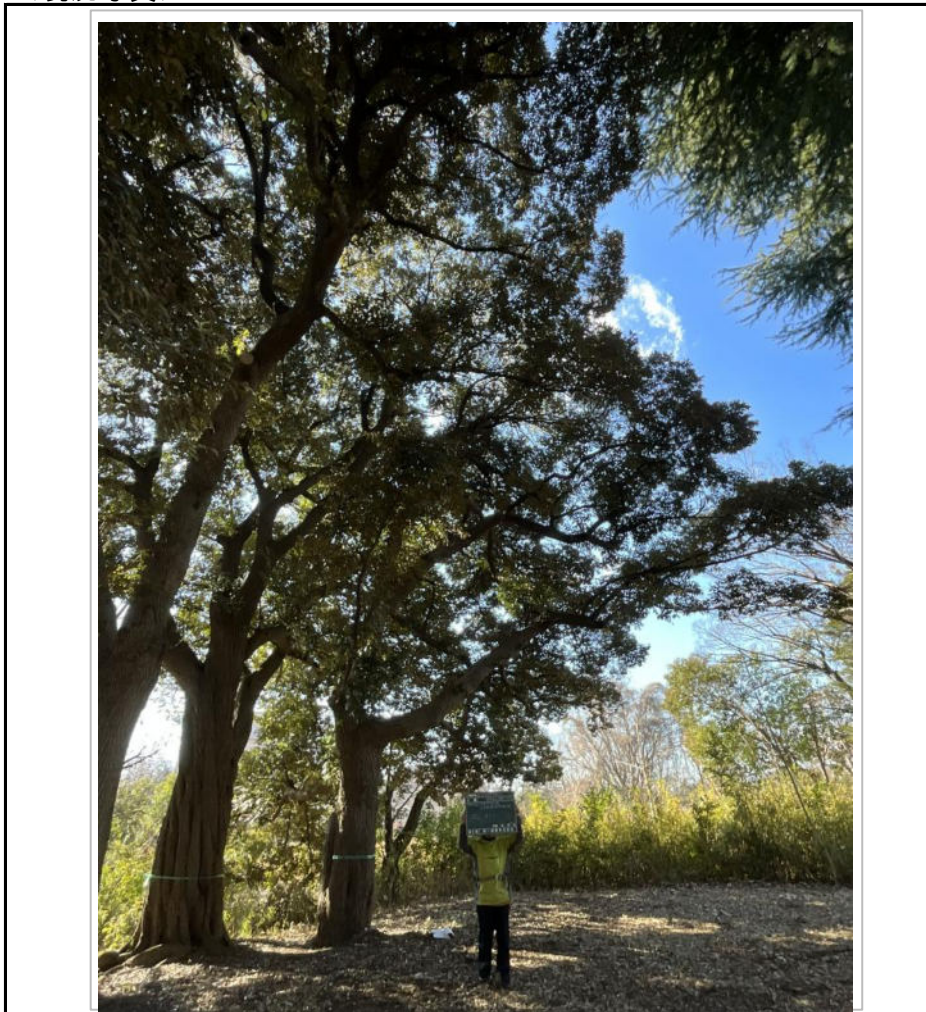
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	根鉢径の確保は出来るが、被害が著しく樹形も崩壊している為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO58-252
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	すだじい	樹木番号	NO58-252
形状寸法	幹周り 203 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②大枝、樹皮欠損	
③大枝、樹皮欠損腐朽	
④枯枝、剪定が必要(多数あり)	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



②大枝、樹皮欠損



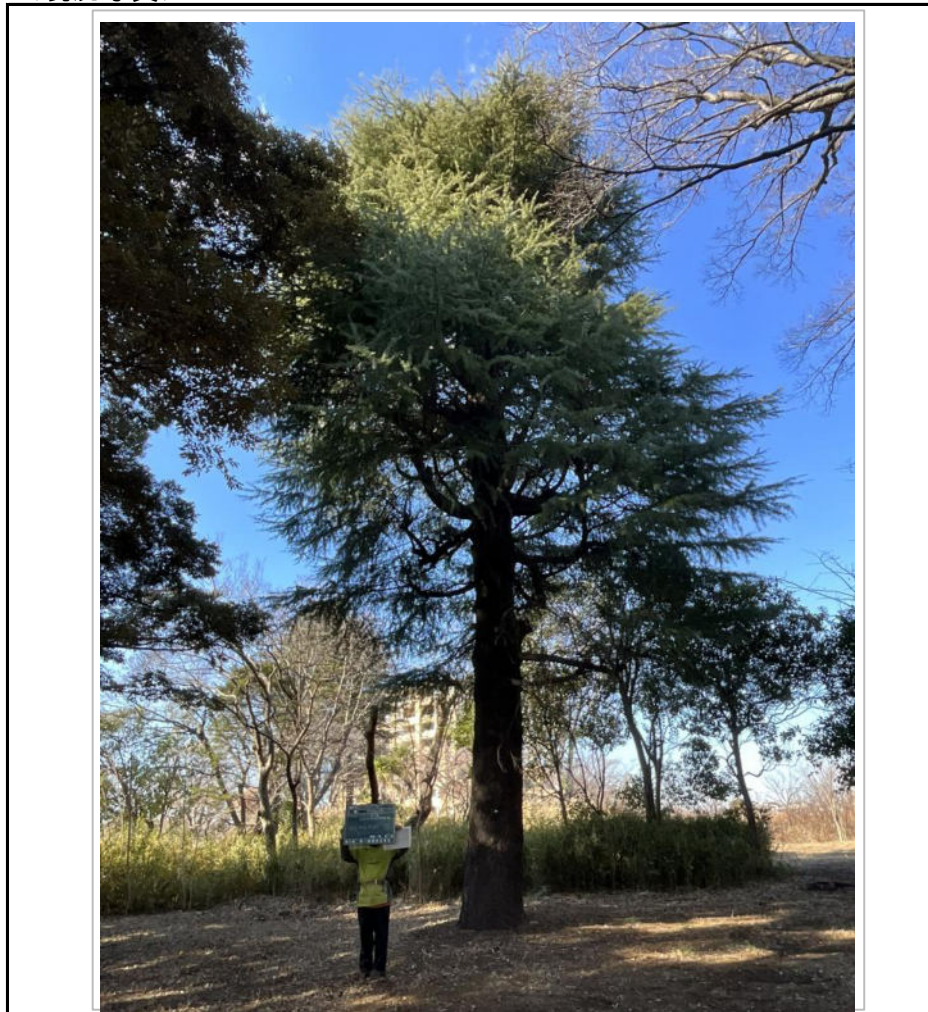
③大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木54すだじい.56すだじいと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO59-253
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

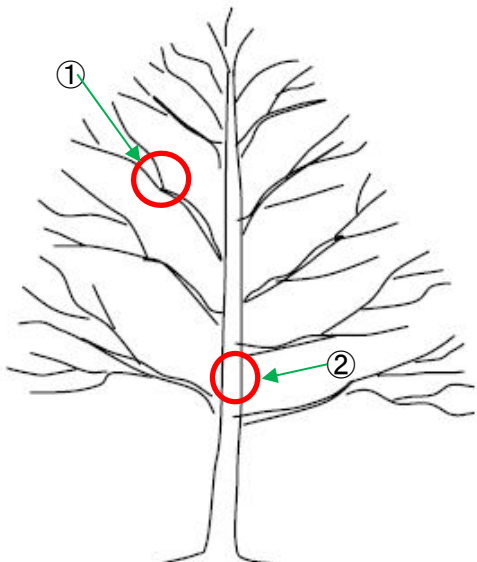
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひまらやすぎ	樹木番号	NO59-253
形状寸法	幹周り 283 cm	樹高	2000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等) 立面図 
全体	①開口空洞はないか		
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①枯枝、剪定が必要(多数あり)			
②スタブカット、剪定が必要(多数あり)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 枯枝



②スタブカット

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無く、根鉢径の確保が出来る為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO60-256
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO60-256
形状寸法	幹周り 116 cm	樹高	850 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、樹皮欠損			
②大枝、樹皮欠損			
③大枝、開口空洞			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



②大枝、樹皮欠損



③大枝、開口空洞

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木61えのきと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO61- 257
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

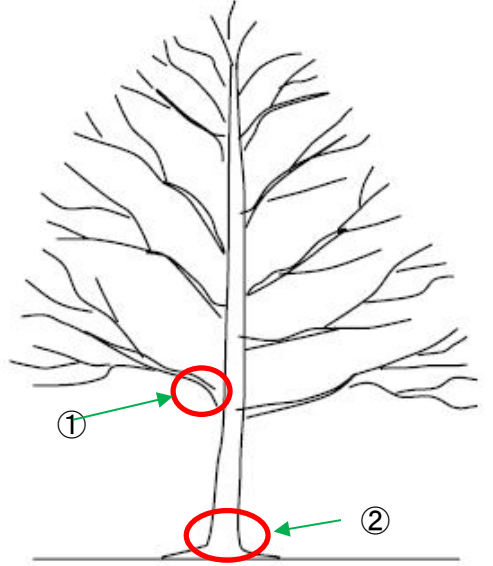
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO61-257
形状寸法	幹周り 109 cm	樹高	850 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか	○	
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、樹皮欠損腐朽	
②根元、入皮	
※根元周囲ササが密に生えている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損腐朽



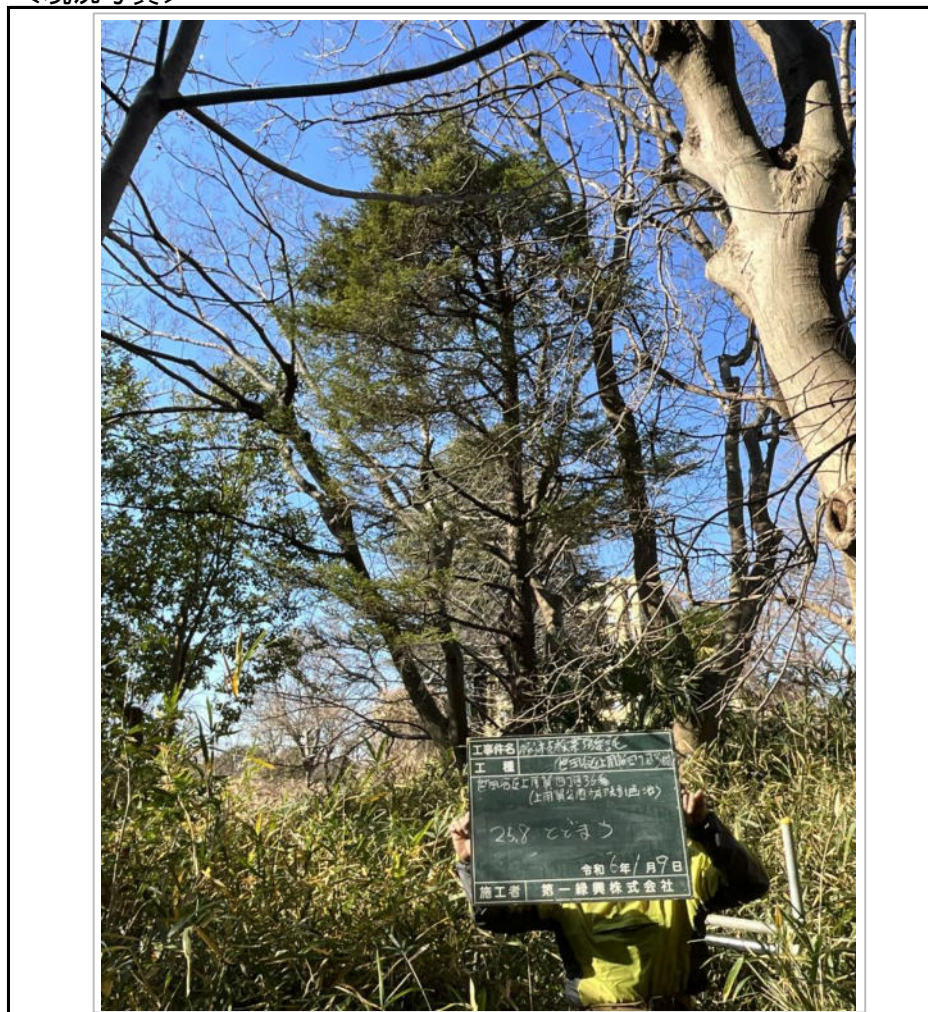
②根元、入皮

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木62とどまつ.63えのきと距離が近く根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO62- 258
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	とどまつ	樹木番号	NO62-258
形状寸法	幹周り 67 cm	樹高	700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、樹皮欠損			
③枯枝剪定が必要(多数あり)			
※根元周囲ササが密に生えている			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損

② 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木61えのき.62ととどまつと距離が近く根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO63- 259
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

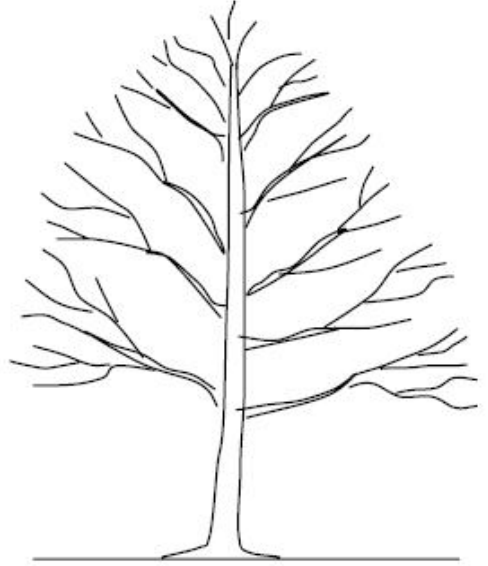
<現況写真>



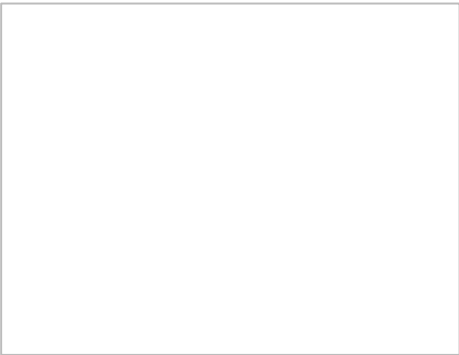
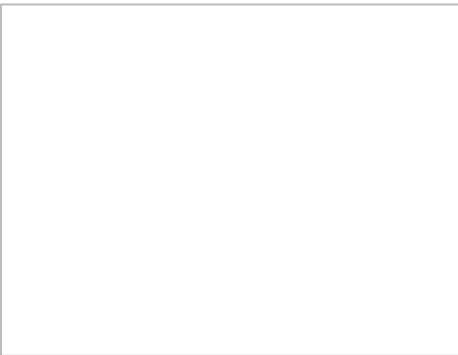
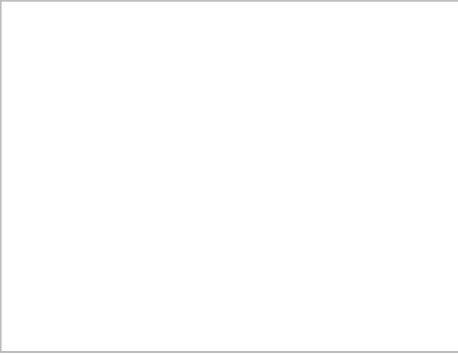
樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO63-259
形状寸法	幹周り 105 cm	樹高	950 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
※根元周囲ササが密に生えている	
概ね異常無し	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)		
		
		

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木61えのき.62とどまつと距離が近く根が共合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO64- 260
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

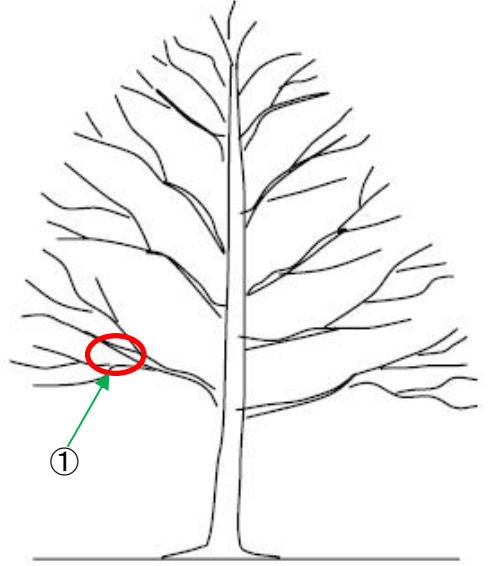
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	かき	樹木番号	NO64-260
形状寸法	幹周り 61 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①枯枝、剪定が必要	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



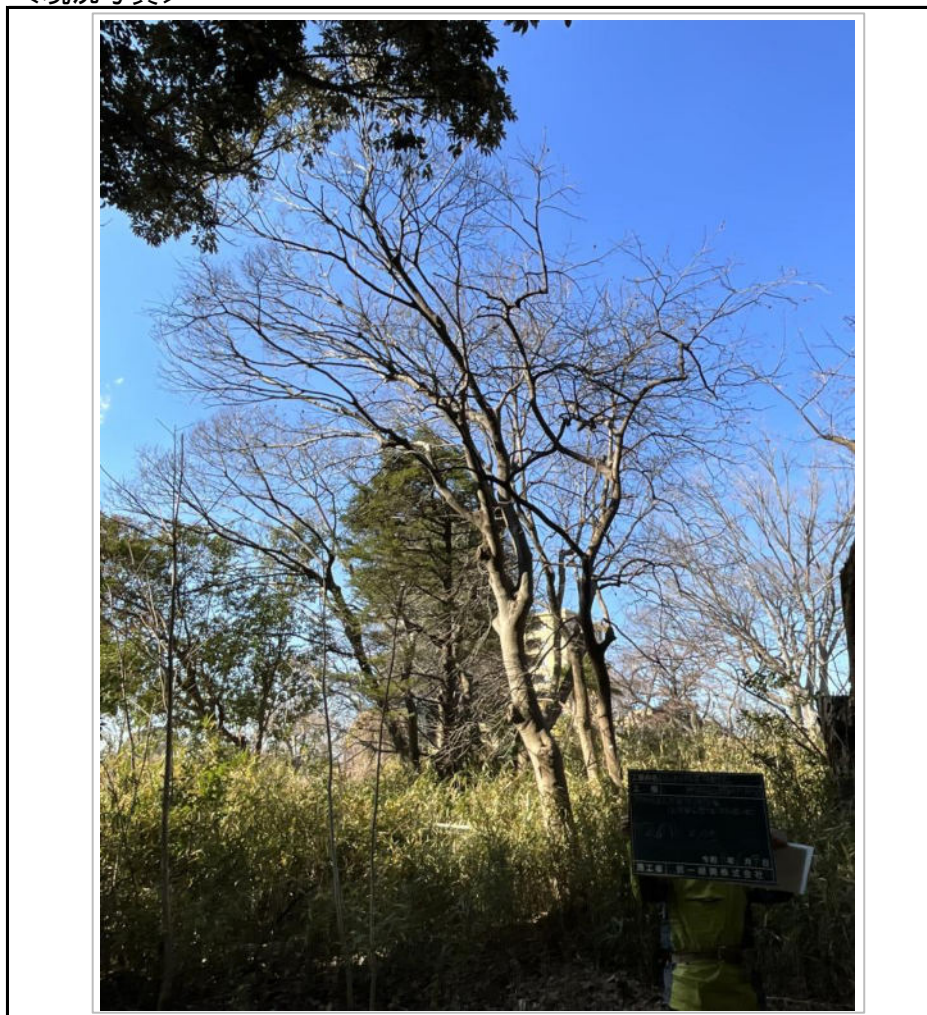
① 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木63えのきと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO65- 261
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

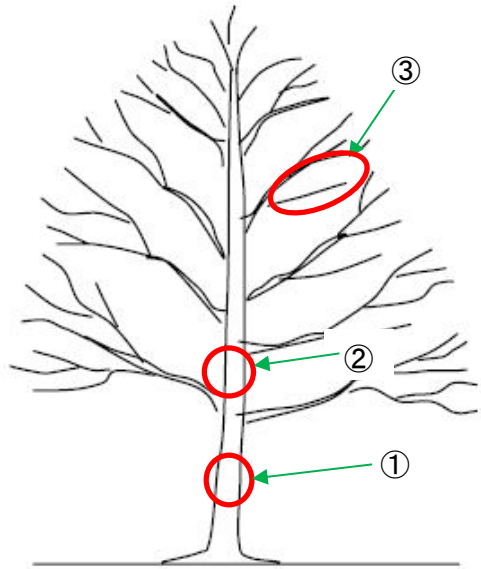
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO65-261
形状寸法	幹周り 94 cm	樹高	1000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞 (多数あり)	
②幹、開口空洞(多数あり)	
③枯枝、剪定が必要	
※根元周囲ササが密に生えている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 幹、開口空洞



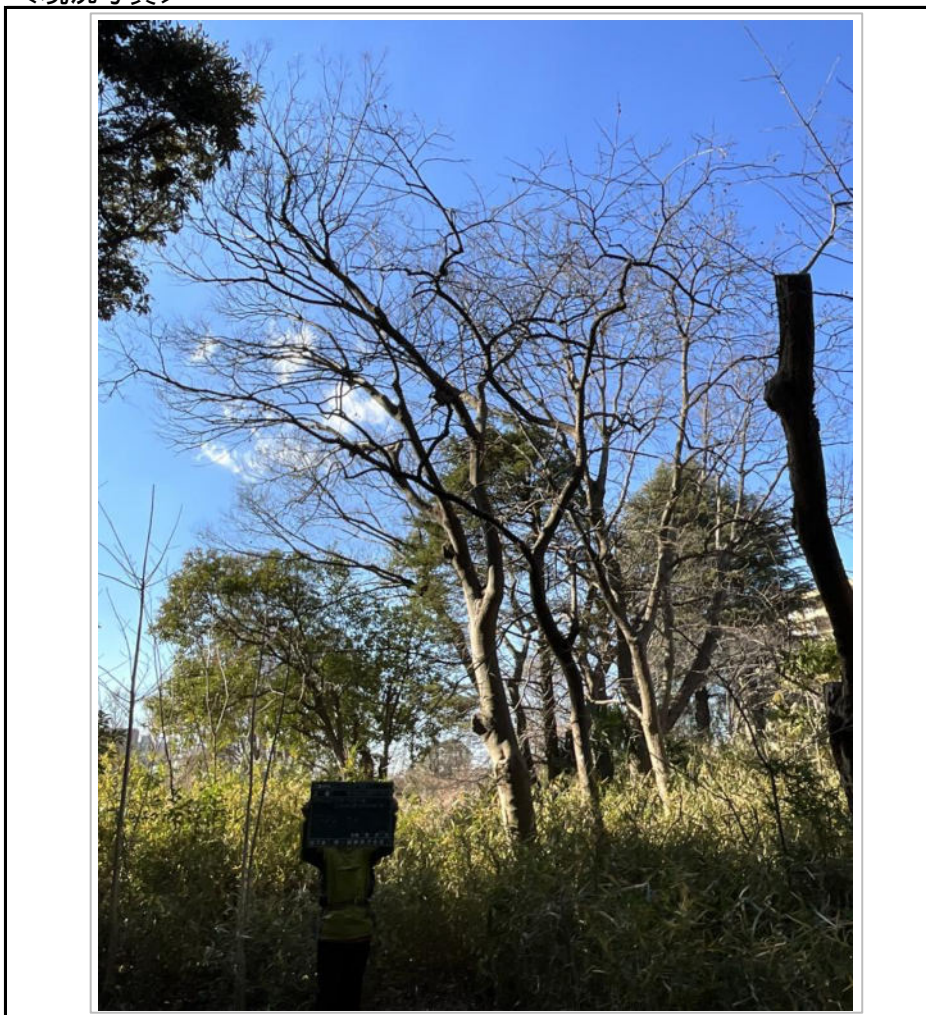
③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木66かきと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO66- 262
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	かき	樹木番号	NO66-262
形状寸法	幹周り 48 cm	樹高	700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、樹皮欠損	
②枯枝(かかり枝)、剪定が必要	
③根元周囲ササが密に生えている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



② 枯枝



③ 根元ササ

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木65えのきと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO67- 263
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

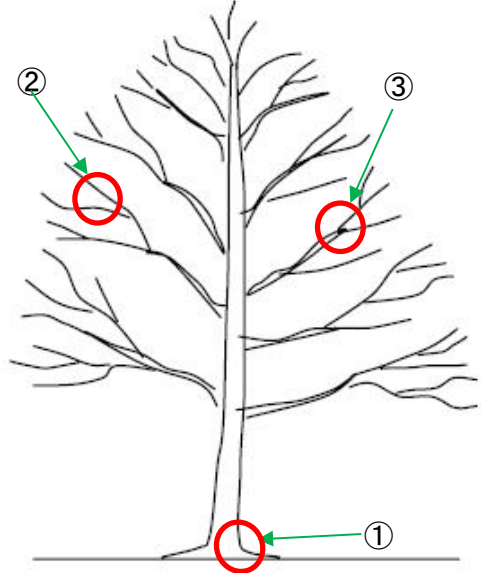
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO67-263
形状寸法	幹周り 214 cm	樹高	700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、樹皮欠損腐朽	
②大枝、樹皮欠損腐朽	
③大枝、樹皮欠損腐朽	
※樹形が崩壊している	
※根元周囲ササが密に生えている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、樹皮欠損腐朽



②大枝、樹皮欠損腐朽



③大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木66かきと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難であり、樹形が崩壊していて、樹皮欠損腐朽の被害が著しい為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO68- 267
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	もちのき	樹木番号	NO68-267
形状寸法	幹周り 95 cm	樹高	800 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)	○	
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②大枝、樹皮欠損腐朽	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
※根元周囲ササが密に生えている	
※打診音異常0~2.5m(大)	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(0 ~2.5m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



②大枝、樹皮欠損腐朽



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが、幹、開口空洞や大枝の樹皮欠損腐朽の被害が著しい為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO69-272
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月9日
点検者名	竹内 克巳

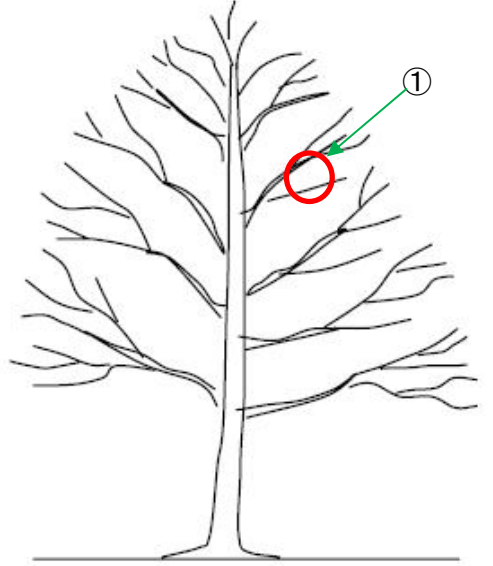
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	はりえんじゅ	樹木番号	NO69-272
形状寸法	幹周り 46 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①枯枝、剪定が必要	
※根元周囲ササが密に生えている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO70- 273
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO70-273
形状寸法	幹周り 153 cm	樹高	700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②大枝、樹皮欠損腐朽	
③枯枝、剪定が必要	
※樹形が崩壊している	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 樹皮欠損腐朽



③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが、幹、開口空洞や大枝の樹皮欠損腐朽の被害が著しい為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO71- 275
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	もちのき	樹木番号	NO71-275
形状寸法	幹周り 107 cm	樹高	830 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)	○	
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 ①幹、樹皮欠損腐朽 ②大枝、樹皮欠損腐朽 ③枯枝			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損腐朽



②大枝、樹皮欠損腐朽



③枯枝

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが、幹、大枝の樹皮欠損腐朽の被害が著しい為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO72- 277
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月9日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO72-277
形状寸法	幹周り 185 cm	樹高	1150 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 ①枯枝剪定が必要(多数あり) ②大枝、樹皮欠損腐朽 ③コウヤクタケが発生している			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 枯枝(多数)



②大枝、樹皮欠損腐朽



③コウヤクタケ

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	サンゴジュが周囲にあるが、根鉢径の確保はできる為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO73- 289
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月21日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	もみじ	樹木番号	NO73-289
形状寸法	幹周り 176 cm	樹高	980 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞(多数あり)	
②幹、開口空洞(多数あり)	
③枯枝(スタブカット)、剪定が必要(多数あり)	
※根元周囲ササが密に生えている	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 幹、開口空洞



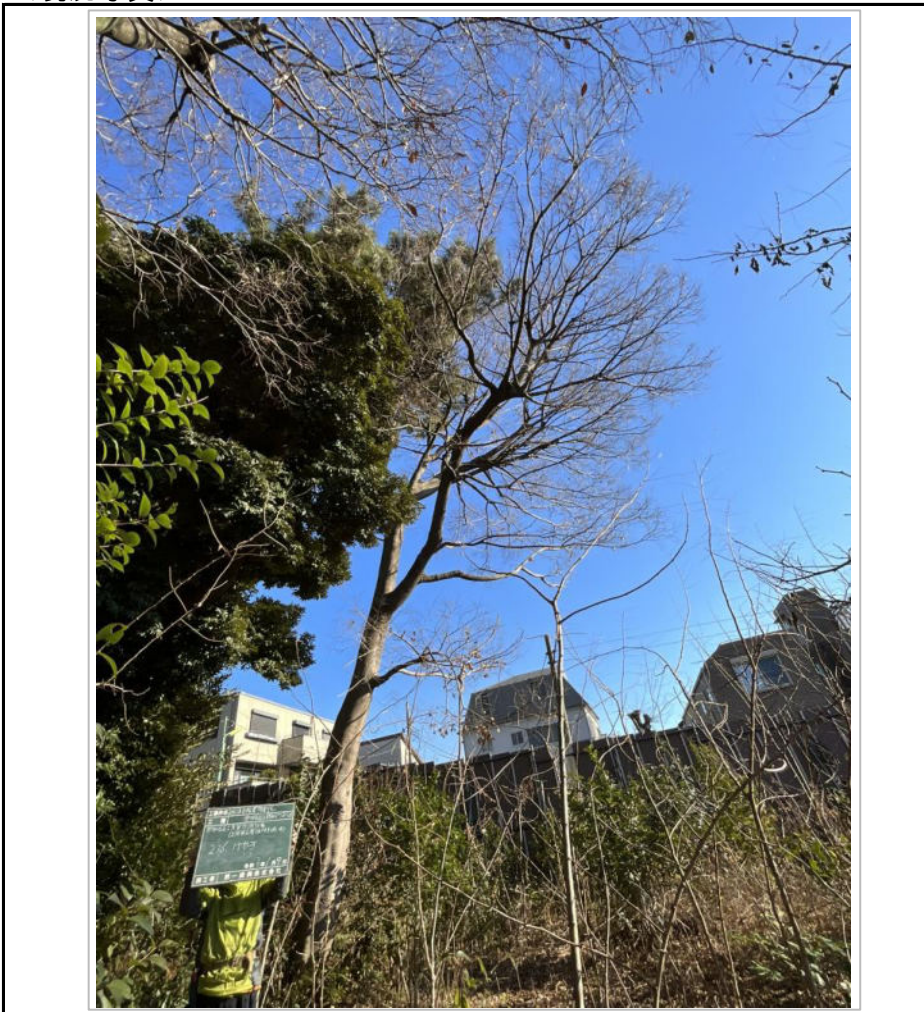
③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが、幹、開口空洞の被害が著しい為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO74- 290
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

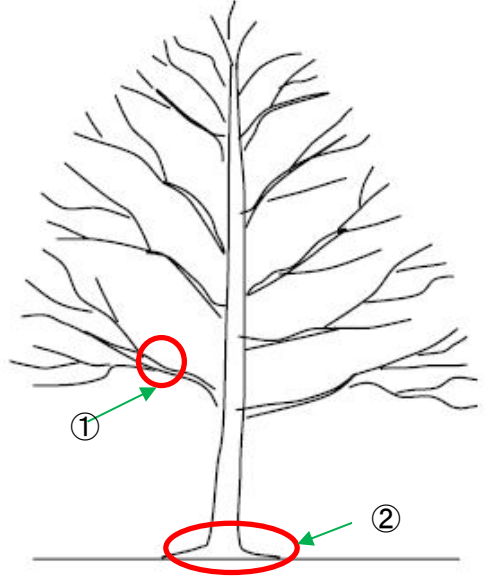
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO74-290
形状寸法	幹周り 171 cm	樹高	1500 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①枯枝、剪定が必要	
②根元周囲ササが密に生えている	
※75に被圧され片枝樹形である	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)

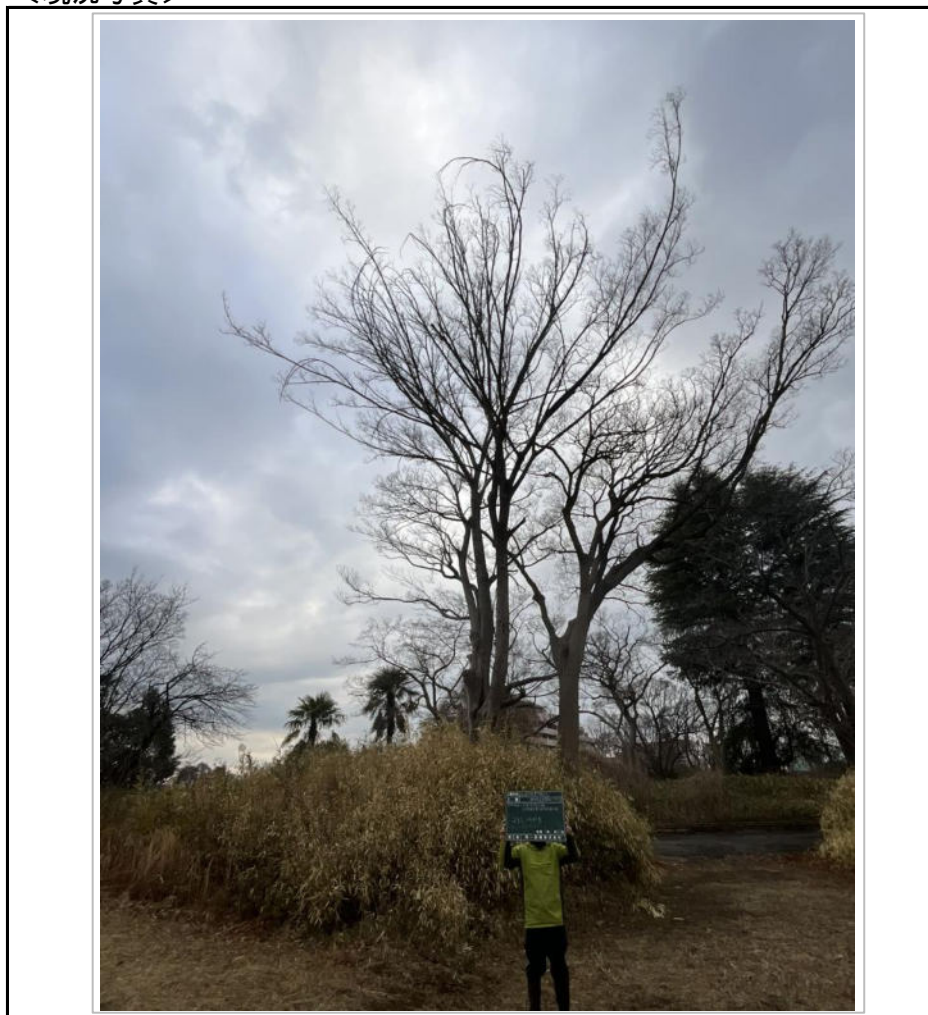
		
①枯枝	②根元周辺ササ	

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木75けやきと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO75- 291
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	けやき	樹木番号	NO75-291
形状寸法	幹周り 225 cm	樹高	1800 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①根元、樹皮欠損			
②幹、樹皮欠損腐朽(多数)			
③枯枝、剪定が必要(多数)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①根元、樹皮欠損



②幹、樹皮欠損腐朽



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	近接樹木74えのきと距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO76- 294
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO76-294
形状寸法	幹周り 189 cm	樹高	1250 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 ①幹、樹皮欠損(多数あり) ②大枝、開口空洞(多数あり) ③枯枝、剪定が必要(多数あり)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損



② 大枝、開口空洞



③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	のり面地で、大谷石の擁壁が近くにあり、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO77- 297
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	えのき	樹木番号	NO77-297
形状寸法	幹周り 313 cm	樹高	1600 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①幹、開口空洞(多数あり)			
②大枝、樹皮欠損腐朽			
③枯枝、剪定が必要(多数あり)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①幹、開口空洞



②大枝、樹皮欠損腐朽



③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に大きな樹木が無い為、根鉢径の確保はできるが露出根の樹皮欠損や根上り、実生木が多数ある為、注意が必要がある。		
		C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO78- 301
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

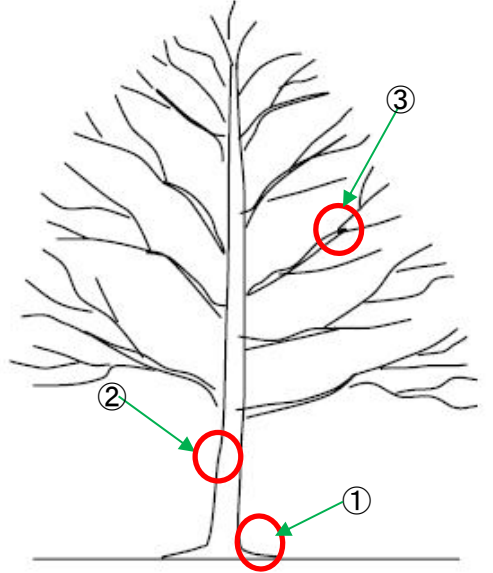
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	ひのき	樹木番号	NO78-301
形状寸法	幹周り 114 cm	樹高	1150 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、開口空洞	
③幹、樹皮欠損腐朽	
③枯枝、剪定が必要(多数あり)	
打診音異常0~2m	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	
	(0 ~ 2 m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	
	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、開口空洞



② 幹、樹皮欠損腐朽



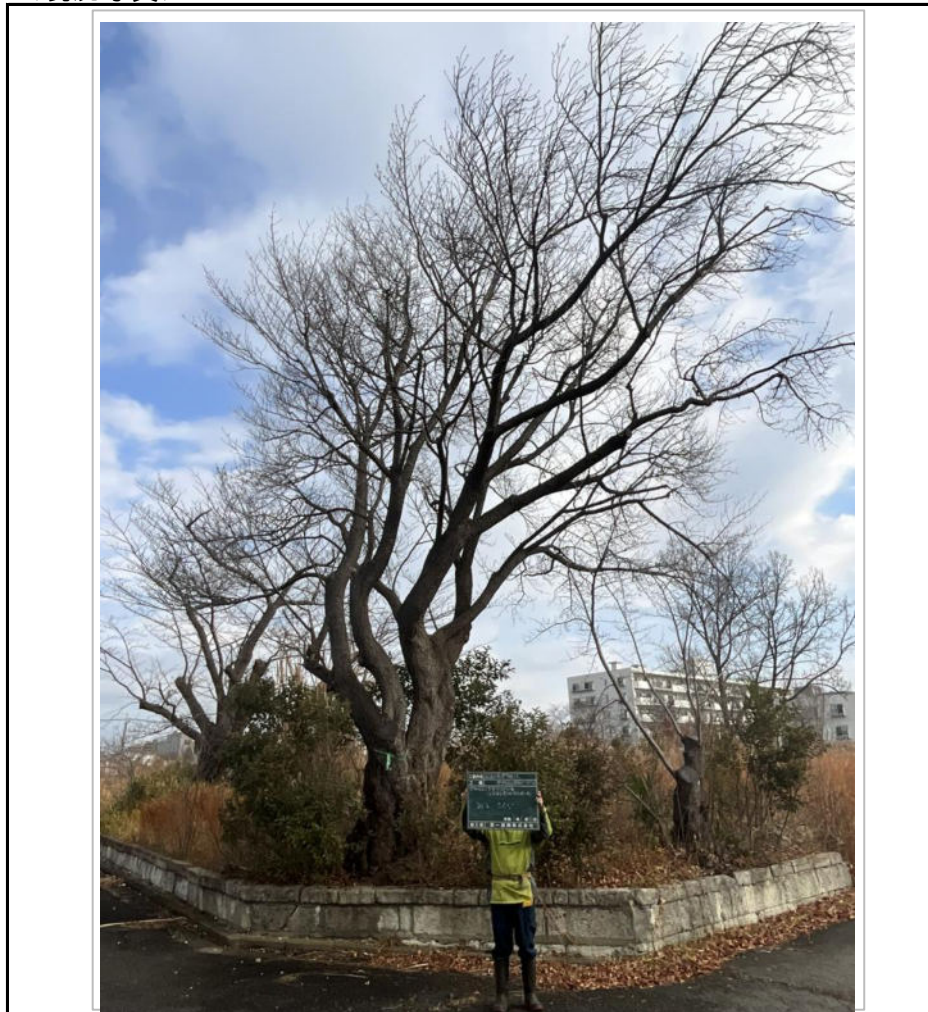
③ 枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	幹、根元に著しい被害があり、近接樹木と距離が近く、根が競合していて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO79- 302
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月21日
点検者名	竹内 克巳

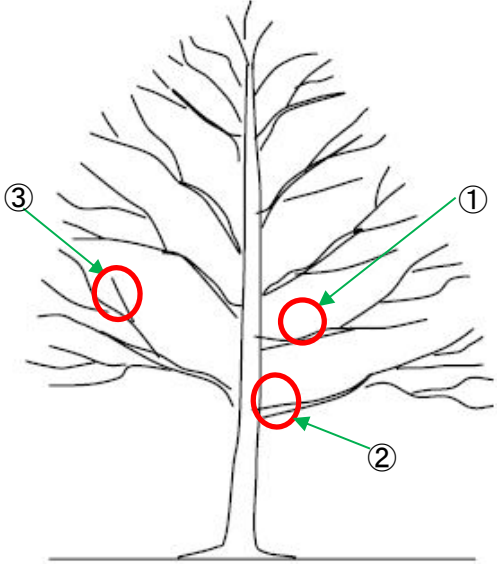
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO79-302
形状寸法	幹周り 326 cm	樹高	1200 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①大枝、樹皮欠損腐朽	
②大枝、開口空洞	
①大枝、樹皮欠損	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 大枝、樹皮欠損腐朽



②大枝、開口空洞



大枝、樹皮欠損

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	大谷石の擁壁が近くにあり、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO80- 304
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月21日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO80-304
形状寸法	幹周り 124 cm	樹高	400 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、開口空洞	
②根元、樹皮欠損	
打診音異常0~0.5m(大)	
※樹形崩壊している	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(0 ~ 0.5 m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、開口空洞



②根元、樹皮欠損

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ ○C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ ○不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	大谷石の擁壁が近くにあり、根鉢径の確保が困難であり、樹形が崩壊していて、打診音異常(大)、根元開口空洞の被害が著しい為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO81-305
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO81-305
形状寸法	幹周り 236 cm	樹高	700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、コフキタケが発生している	
②幹、樹皮欠損腐朽	
③大枝、樹皮欠損腐朽(多数)	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、コフキタケ



② 幹、樹皮欠損腐朽



③ 大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	道路の脇に植栽されている為、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO82- 318
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	くぬぎ	樹木番号	NO82-318
形状寸法	幹周り 226 cm	樹高	1900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①根元、樹皮欠損			
②大枝、樹皮欠損			
②枯枝、剪定が必要			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

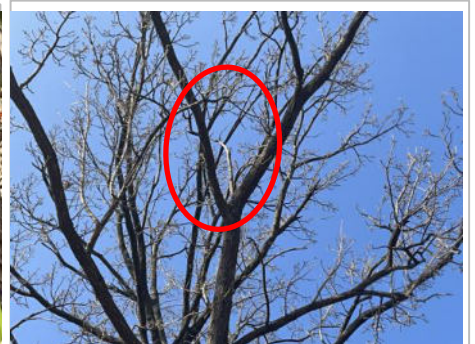
現況写真(異常箇所)



① 根元、樹皮欠損



②大枝、樹皮欠損



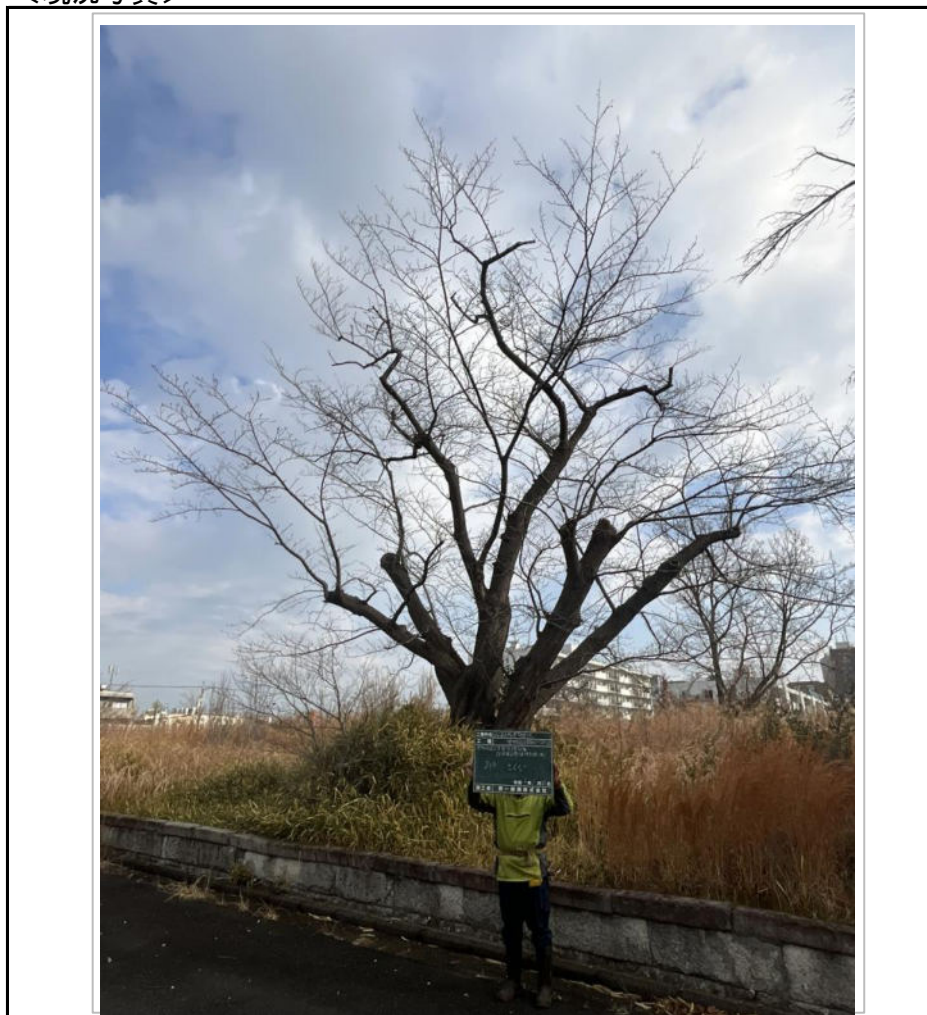
③枯枝

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	周囲に実生木が多数あるが、根鉢径の確保はできる為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO83- 319
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月21日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO83-319
形状寸法	幹周り 336 cm	樹高	700 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)	○	
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特 記 事 項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。		
①コフキタケが発生している			
②根元、開口空洞			
③大枝、樹皮欠損腐朽			
④大枝、開口空洞(多数)			
打診音異常0～1m(大)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(0 ～ 1 m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約	cm

現況写真(異常箇所)



①コフキタケ



②根元、開口空洞



③大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	根元の被害が著しく、大谷石の擁壁が近くにあり、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO84 -323
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO84-323
形状寸法	幹周り 322 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。			
①幹、コフキタケが発生している			
②大枝、開口空洞(多数)			
③大枝、樹皮欠損腐朽(多数)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①コフキタケ



②大枝、開口空洞(多数)



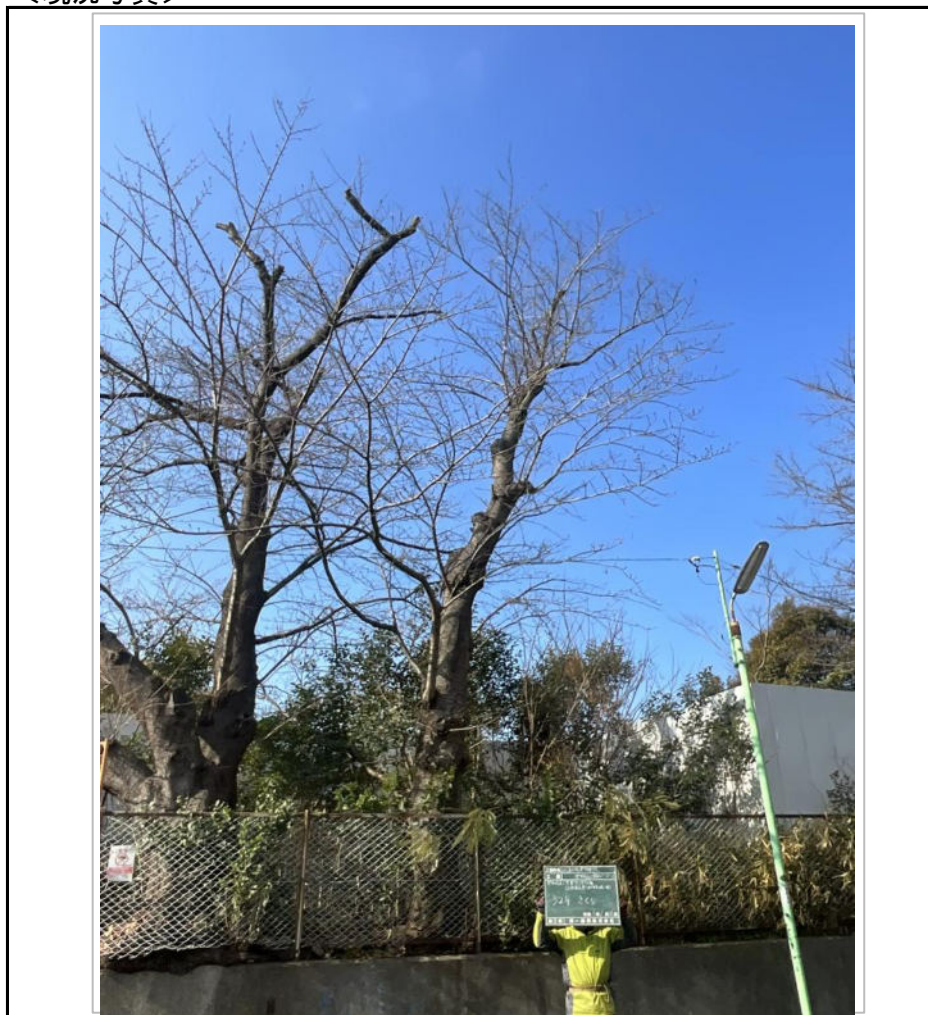
③大枝、樹皮欠損腐朽(多数)

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	幹にコフキタケが発生、大枝の開口空洞(多数)等被害が著しく、擁壁脇に植栽されている為、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO85- 324
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月21日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO85-324
形状寸法	幹周り 176 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか	○	
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)	○	
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか	○	
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①根元、ベッコウタケが多数発生している	
②鋼棒貫入異常L=25cm	
③大枝、樹皮欠損腐朽(カワラタケが発生)	
④枯枝、剪定が必要(多数あり)	
※次回作業までに時間が空く場合、被害が著しい為、なんらかの処置が必要。	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(0 ~ 0.5 m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 25 cm

現況写真(異常箇所)



① 根元、ベッコウタケ



②鋼棒貫入異常



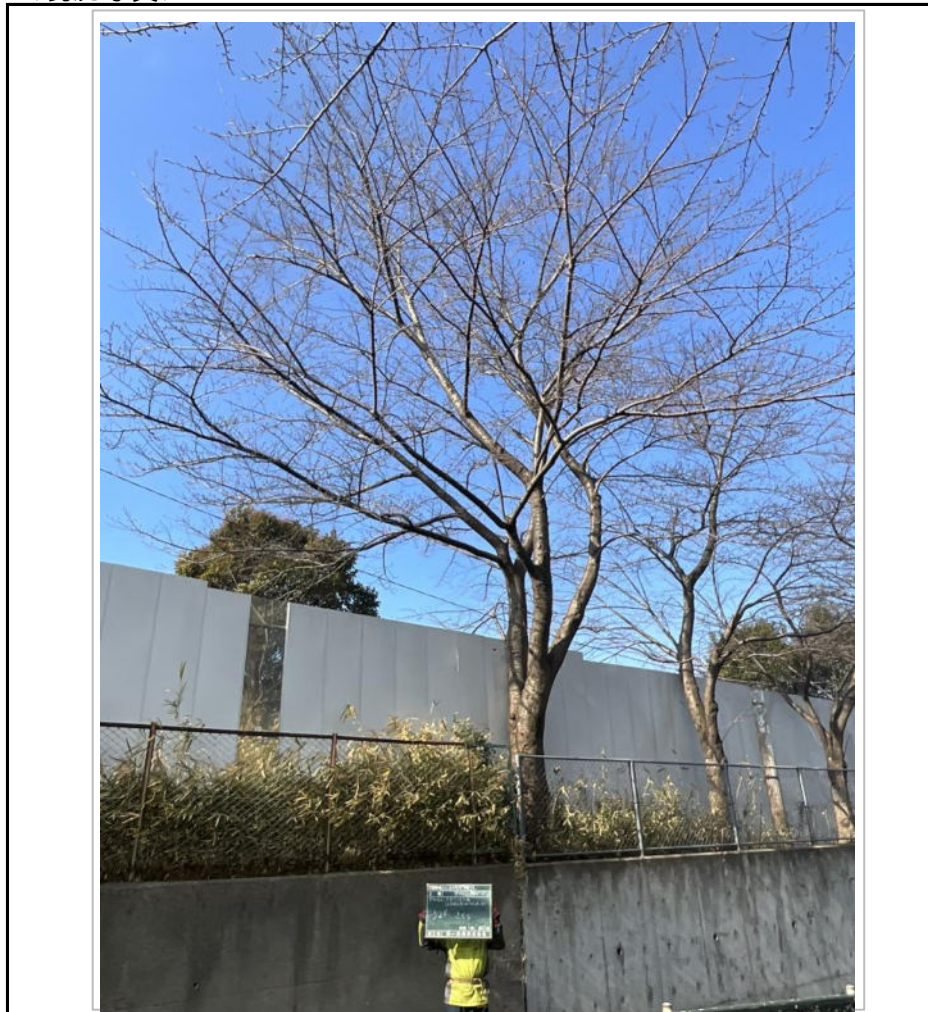
③大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	根元にベッコウタケ、鋼棒貫入異常があり被害が著しく、擁壁脇に植栽されていて、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO86-326
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月21日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO86-326
形状寸法	幹周り 157 cm	樹高	1000 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①幹、樹皮欠損			
②大枝、樹皮欠損(フェンス接触)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損

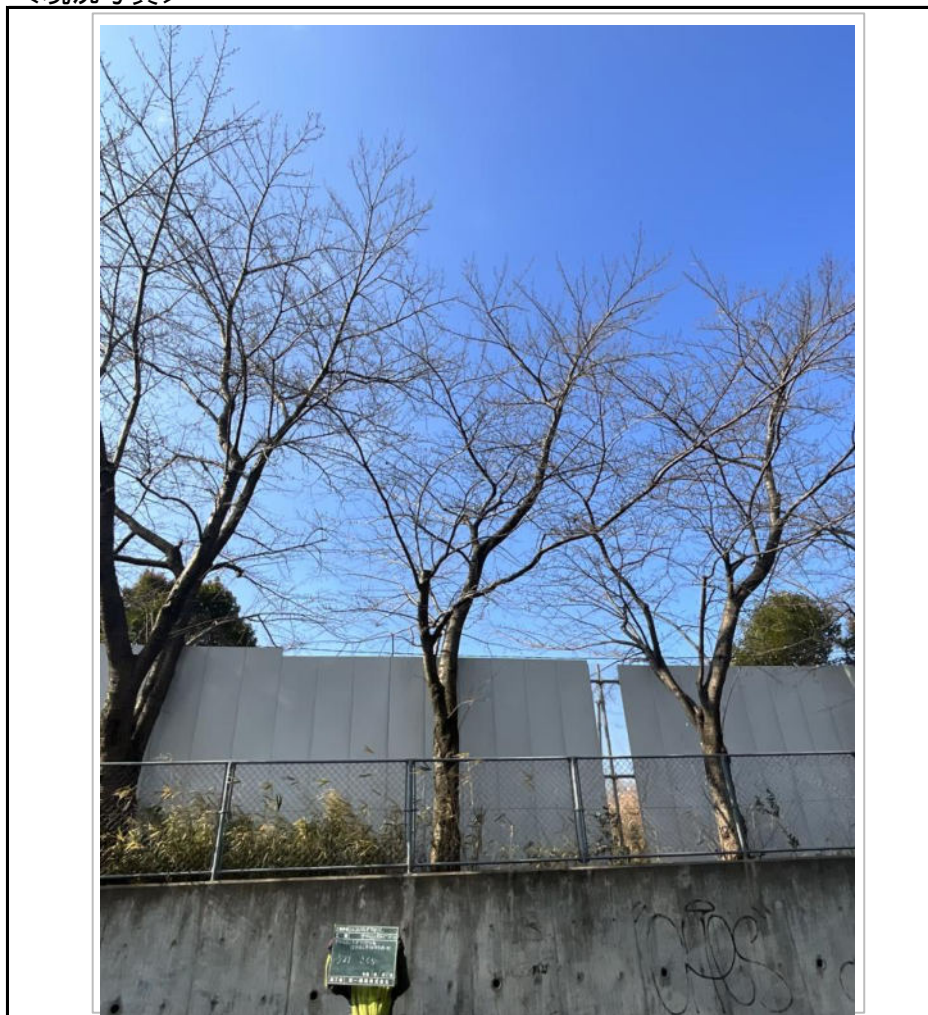
②大枝、樹皮欠損(フェンス接

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	擁壁脇に植栽されている為、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO87- 327
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO87-327
形状寸法	幹周り 97 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
①大枝、樹皮欠損腐朽			
②大枝、樹皮欠損			
③根元状況			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①大枝、樹皮欠損腐朽



②大枝、樹皮欠損



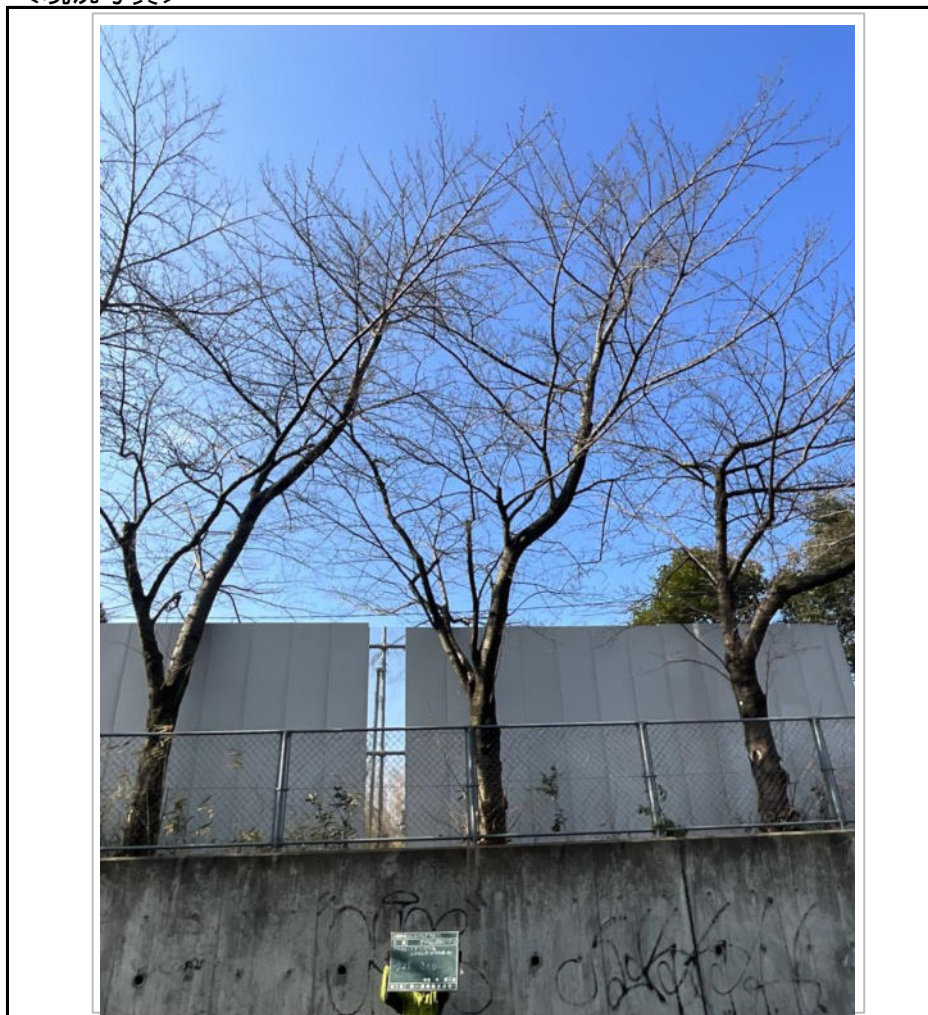
③根元状況

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	擁壁脇に植栽されている為、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹 木 点 検 調 査 書

実施年度	令和6年度
樹 木 No.	NO88-328
所 在 地	世田谷区上用賀四丁目36番
点 検 日	令和7年1月21日
点 検 者 名	竹内 克巳

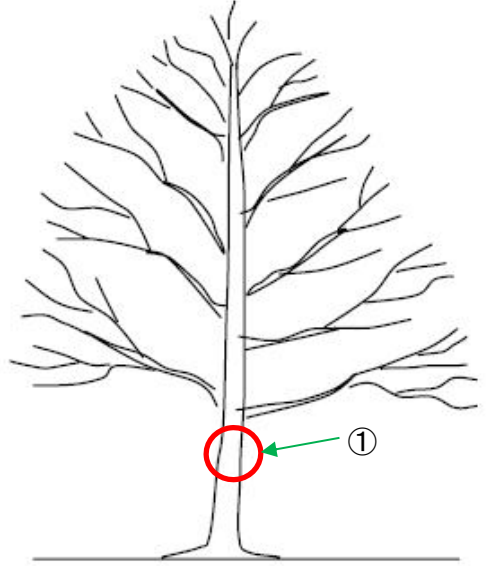
<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO88-328
形状寸法	幹周り 104 cm	樹高	900 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、樹皮欠損腐朽	
②根元状況	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、樹皮欠損腐朽

②根元状況

診断結果	
1 健全度	A ・ B ・ C
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)
3 判断理由	擁壁脇に植栽されている為、根鉢径の確保が困難な為。

健全度判断基準	
A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
B(被害がみられる)→1つ以上該当	
C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和6年度
樹木 No.	NO89-329
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和7年1月21日
点検者名	竹内 克巳

<現況写真>



樹木点検調査シート

公園整備利活推進課

樹種名	さくら	樹木番号	NO89-329
形状寸法	幹周り 106 cm	樹高	800 cm

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		

特記事項	※特記事項:その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。
①幹、開口空洞	
②幹、樹皮欠損	
③大枝、樹皮欠損腐朽	
打音異常範囲(A該当の場合必須)	(~ m)
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)	約 cm

現況写真(異常箇所)



① 幹、開口空洞



② 幹、樹皮欠損



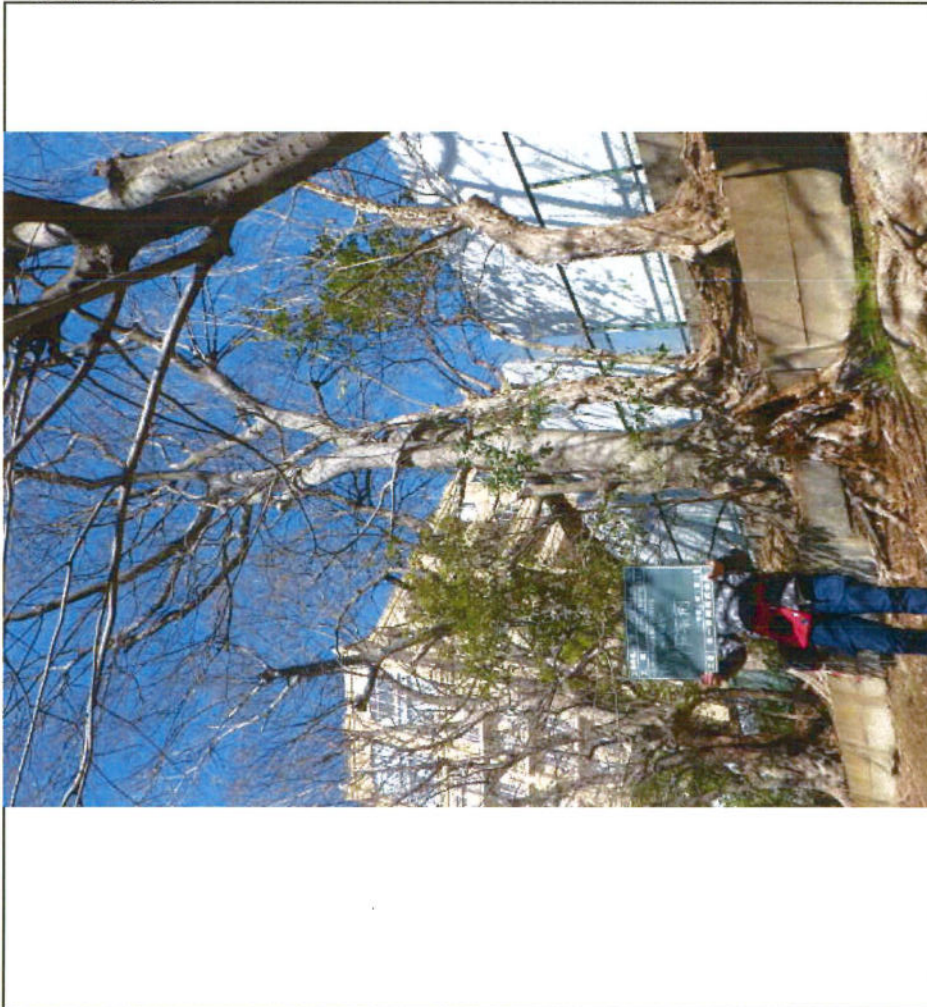
③ 大枝、樹皮欠損腐朽

診断結果		健全度判断基準	
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし	
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当	
3 判断理由	擁壁脇に植栽されている為、根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの	

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T402 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

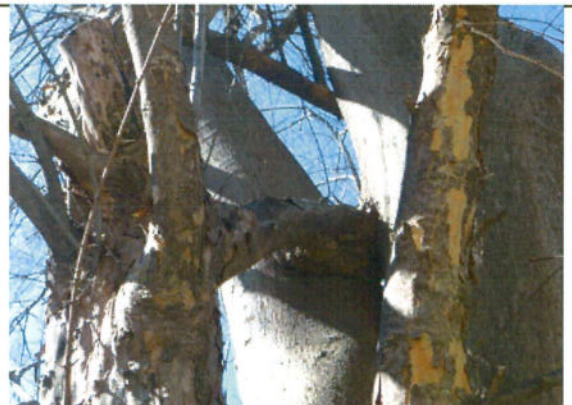
樹種名	とうかえで	樹木番号	T402
形状寸法	幹周り 86 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか		立面図
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか	○	
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項 ※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。 枯死あり。 枝がT15との融合があり剪定要。(②写真参照)			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 cm	

現況写真(異常箇所)



①枯死



②枝のT15との融合

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	近接樹木と距離が近く、根が融合しているので根鉢径の確保が困難な為。	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの

樹木点検調査書

実施年度	令和5年度
樹木 No.	T403 とうかえで
所在地	世田谷区上用賀四丁目36番
点検日	令和6年3月13日
点検者名	竹内克己

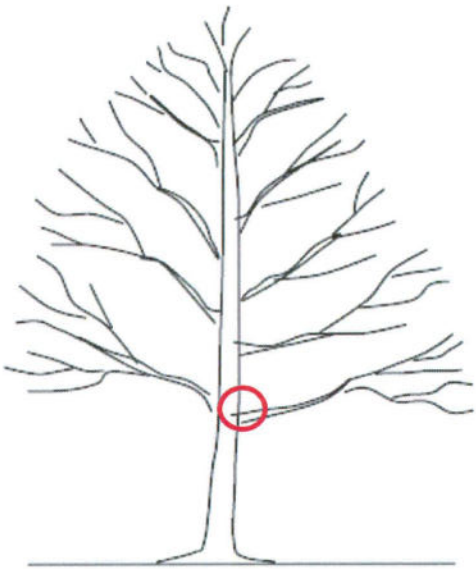
<現況写真>



樹木点検調査シート

みどり政策課

樹種名	とうかえで	樹木番号	T403
形状寸法	幹周り 85 cm		

箇所	点検項目	あり (○記入)	「あり」の場合の詳細(箇所図示・状況説明等)
全体	①開口空洞はないか	○	立面図 
	②キノコがはえていないか		
	③樹皮の異常(凹み・変色・枯死等)がないか		
	A 打音異常がないか(上記該当の場合)		
	B 鋼棒貫入異常がないか(上記該当の場合)		
幹・根元	④木を押したら揺れないか		
	⑤不自然に幹が傾いていないか		
枝	⑥枯れている枝がないか		
	⑦枝の分岐部に異常がないか		
	⑧建築限界を超えている枝はないか		
特記事項		※特記事項: その他気がついた点、キノコの種類など点検項目で【あり】となったものの補足説明すること。	
開口空洞あり			
打音異常範囲(A該当の場合必須)		(~ m)	
鋼棒貫入長(B該当の場合必須、最大値記入)		約 5 cm	

現況写真(異常箇所)	
	
開口空洞	

診断結果		健全度判断基準
1 健全度	A ・ B ・ C	A(概ね良好・異常なし)→点検項目該当なし
2 移植の可否	可 ・ 不可 ・ 要診断(外観・精密診断)	B(被害がみられる)→1つ以上該当
3 判断理由	四方に根が露出しており根鉢径の確保が困難	C(著しい被害がみられる)→該当があり、その被害の程度が大きいもの